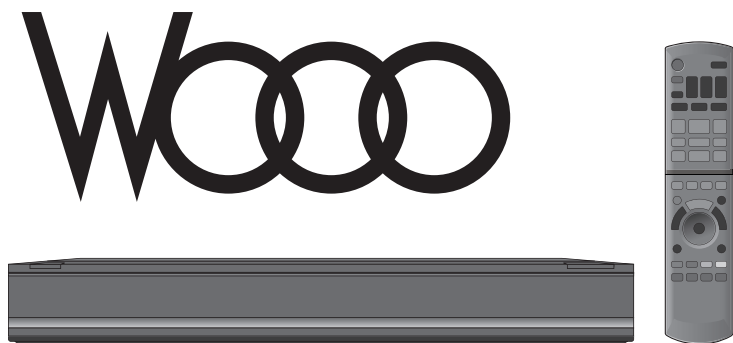
HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

操作編

ディーブイエル　ビーアールティー 11
DVL-BRT11

このたびは、日立ブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。
万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDDの内容（録画済みの番組データなど）の補償や損失、直接･間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

本取扱説明書の内容は2011年2月現在の放送運用に基づいて作成されています。今後の放送運用の変更により、一部内容が異なる場合があります。

本機では地上アナログ放送の受信はできません。

保証書別添付

TSBRT601
VQT3M68

本機の「特長」

「ハイビジョンで楽しむ」

デジタル放送のハイビジョン番組をハイビジョン画質で録画できます。

「録画が便利!」

複数番組同時録画

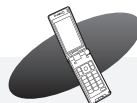
▶ 42ページ

見たいデジタル放送の番組が重なっても、両方ともハイビジョン画質で録画できます。

「3D映像を楽しむ」

▶ 54ページ

3D対応テレビと接続し、臨場感にあふれた、迫力ある3D映像をお楽しみいただけます。

「番組を持ち出す」

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出して楽しむことができます。

「思い出を見よう!残そう!」

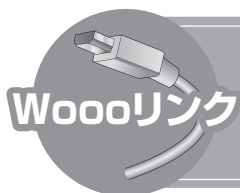
動　画

▶ 46,80ページ

ビデオカメラなどで撮影した動画の取り込みができます。
ハイビジョン動画(AVCHD)の場合、再生もできます。

写　真

▶ 87,90ページ

デジタルカメラなどで撮った写真の再生や取り込みができます。

HDMIケーブルでWoooとつなげば、

Woooのリモコン1つで本機の操作を行うことができます　➜ 102ページ

「ネットワークにつないで楽しむ」

アクトビラ ▶ 98ページ

テレビでいろいろな情報を見ることができます。

1ヵ月の番組表 ▶ 27ページ

1ヵ月の番組表を表示することができます。※1

※1 ネットワークで番組情報を提供している
放送局のみ（2011年2月現在、WOWOWのみ）

ホームサーバー機能 ▶ 104ページ

本機に録画した映像を別の部屋で見ることができます。

注目番組 ▶ 29ページ

注目番組を表示することができます。※2

※2 ネットワークで番組情報を提供している
放送局のみ（2011年2月現在、NHK、WOWOWのみ）

スカパー! HD録画 ▶ 78ページ

対応チューナーから本機にハイビジョン番組をそのままの画質で録画できます。

もくじ

番組

視聴

録画

再生

編集

ダビング

CATV

他の機器と

(➜ 次ページにつづく)

写真

音楽

その他

便利機能

必要なとき

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

[電源⏻/I]を3秒以上押す

本機の電源が切れます。

故障かな !? と思った場合 ➜ 139

本機を廃棄/譲渡するときは

132ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。詳しくは98ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編を参照していただくページを(➜準備編 ○○)で示しています。
●ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW

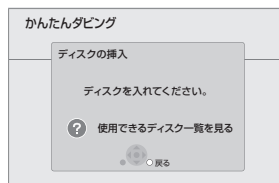
ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
+R	
+R DL	
+RW	
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB

※ DL、BDXL も含みます。

同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
●AVCREC 方式の場合:　例）RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
●VR 方式の場合:　例）RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
●ビデオ方式の場合:　例）-R(V) -RW(V)（ただしファイナライズ後は DVD-V）
●ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示

操作について

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

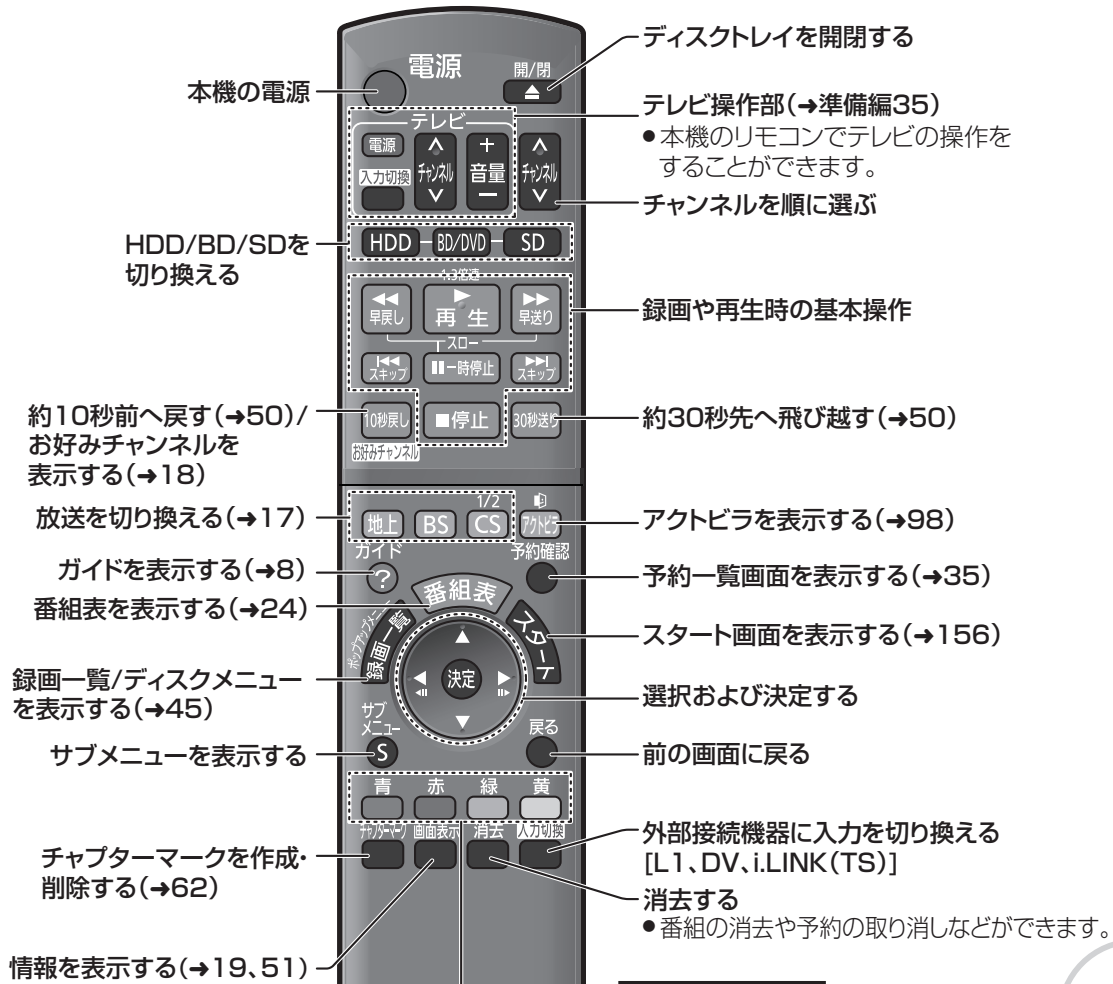
例)操作できるボタンの表示

補足説明

? マークが付いた画面が表示されたとき

ガイド ? ボタンを押すと、

操作に対する補足説明が確認できます。

各部のはたらき

リモコン

本体

点灯・消灯の設定ができます
(➜119「SDカードLED制御」)

録画中に点灯表示

電源を切／入する

本体表示窓(➜下記)

リモコン受信部
受信範囲
・正面…約7 m以内
・左右…各約30°
・上下…各約20°

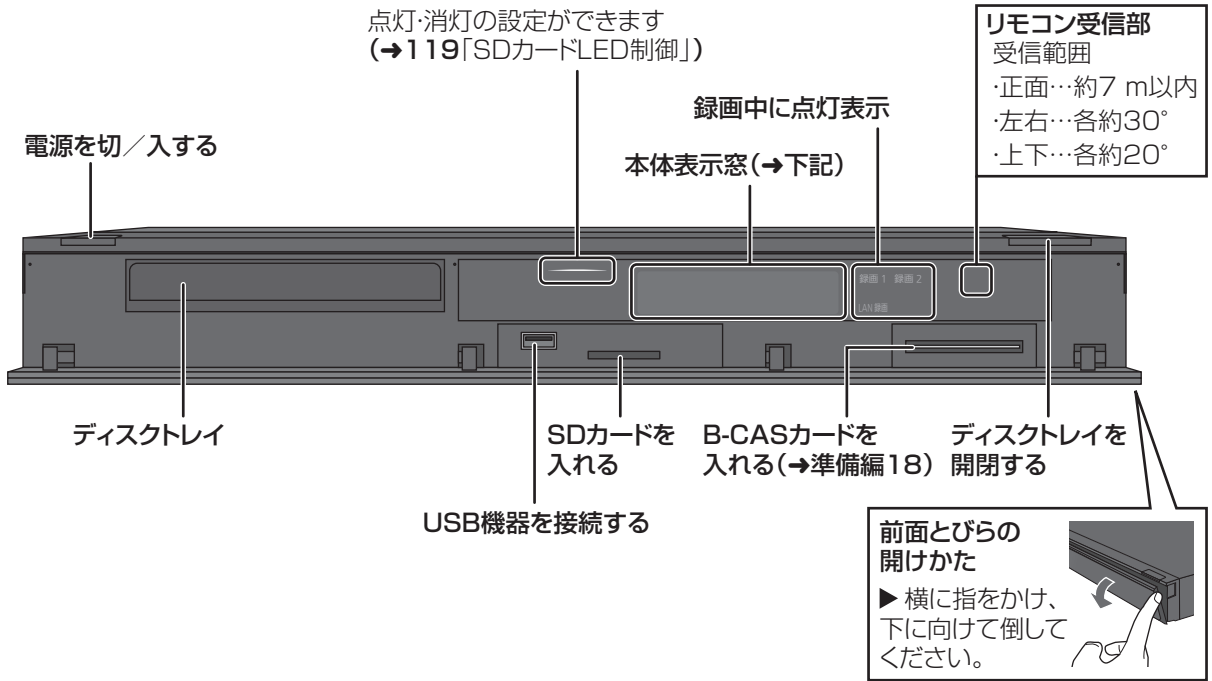
ディスクトレイ

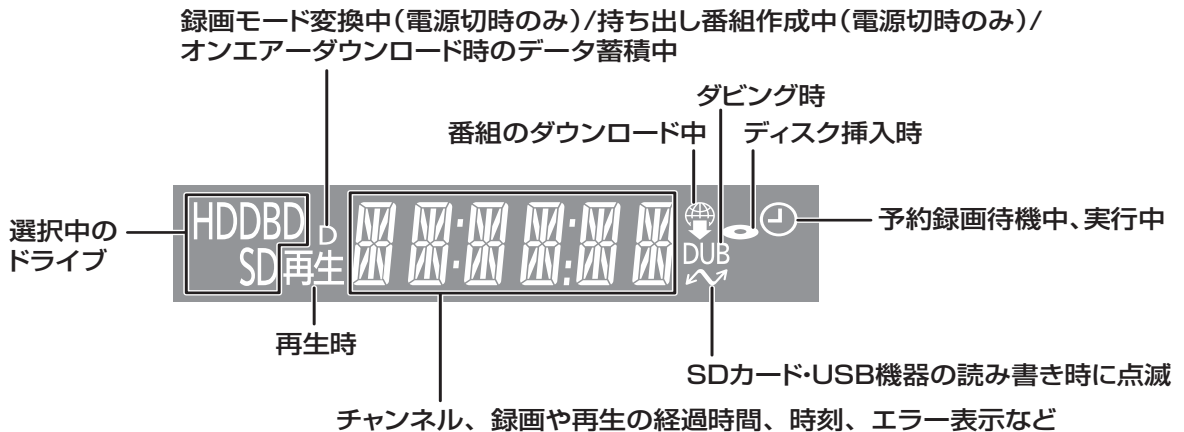
SDカードを入れる

B-CASカードを入れる(➜準備編18)

ディスクトレイを開閉する

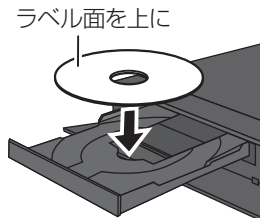
USB機器を接続する

前面とびらの開けかた
▶ 横に指をかけ、下に向けて倒してください。

本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

ディスク・SD カードを入れる

ディスク

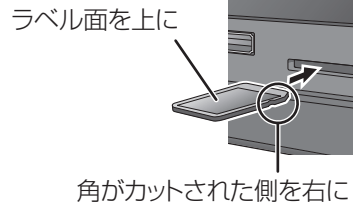
開/閉 ⏏ を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
- ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。(➜133)
- 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。
- **カートリッジ付きディスクについて**
  - ・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
  - ・DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイにのせてください。(➜ 下記)
    (TYPE1 は使えません)
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをおすすめします。

SD カード

❶ 本体前面のとびらを開ける

❷ カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

❸ 本体前面のとびらを閉じる

カードを取り出すには

上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

- **本体表示窓の“ ”(➜10)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりする恐れがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
- mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例）

カートリッジ付きディスクの取り出しかた例

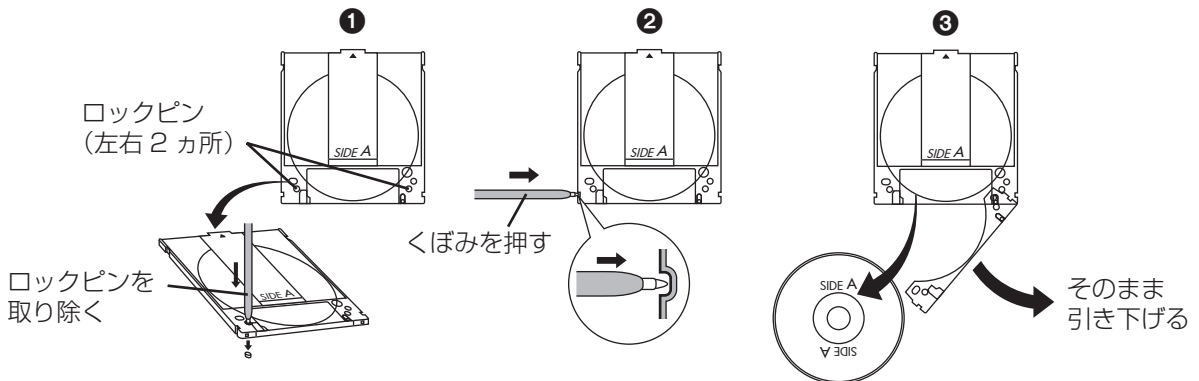
カートリッジからの取り出しかたはディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

❶ ロックピン（左右 2 ヵ所）
ロックピンを取り除く

❷ くぼみを押す

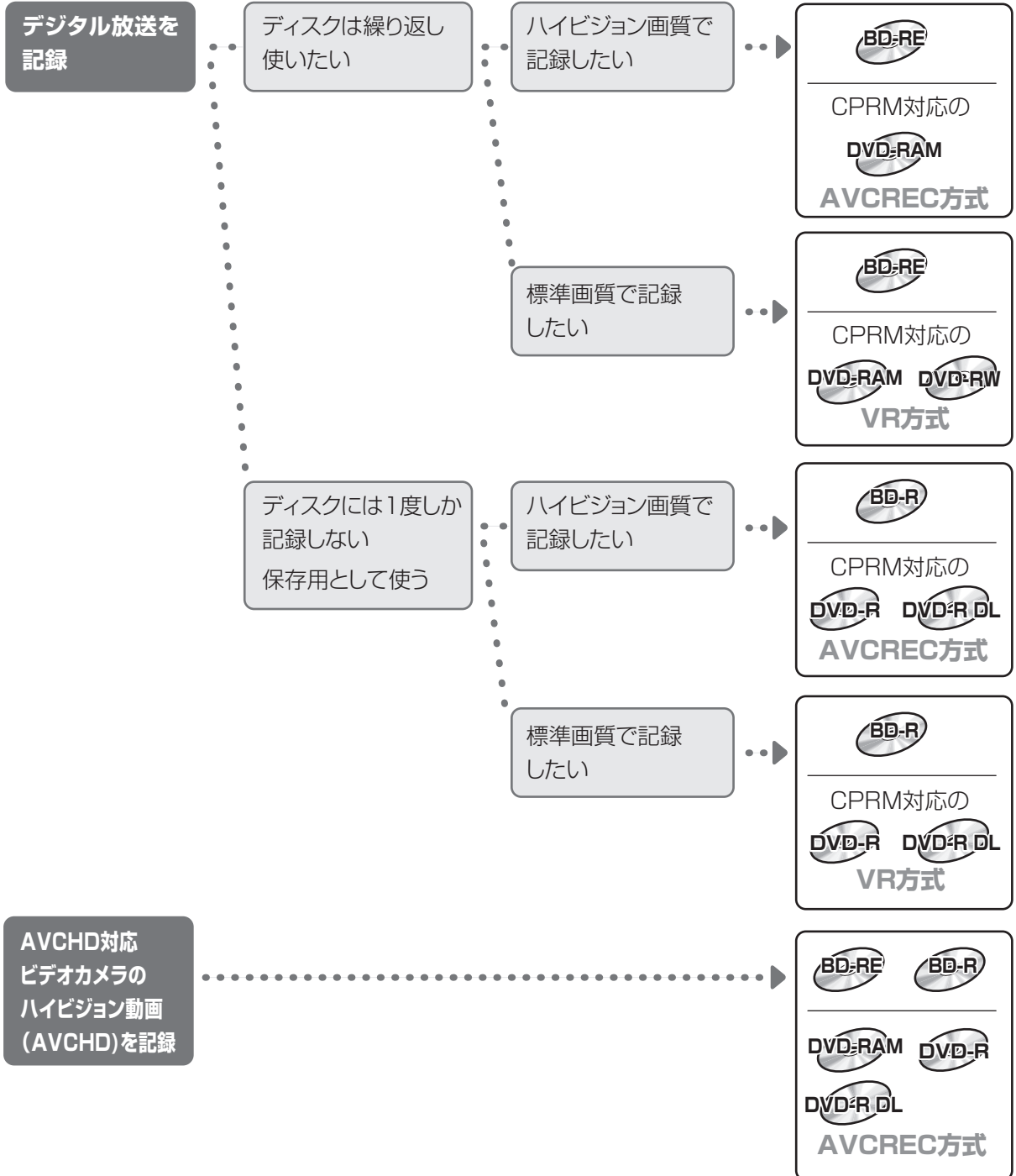
❸ そのまま引き下げる

はじめに

記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録方式	記録できる放送	記録できる画質
BD-RE	Blu-ray Disc	—	地上・BS・CS デジタル放送	ハイビジョン画質 標準画質
BD-R	Blu-ray Disc			
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	AVCREC方式	地上・BS・CS デジタル放送	ハイビジョン画質
		VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)	地上・BS・CS デジタル放送	標準画質
DVD-R DVD-R DL (片面2層)	DVD R R4.7 DVD R R DL	AVCREC方式	地上・BS・CS デジタル放送	ハイビジョン画質
		VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)	地上・BS・CS デジタル放送	標準画質
		ビデオ方式 (DVDビデオ規格)	デジタル放送は記録できません	標準画質
DVD-RW	DVD R W	VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)	地上・BS・CS デジタル放送	標準画質
		ビデオ方式 (DVDビデオ規格)	デジタル放送は記録できません	標準画質

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット(➜108)することで設定されます。

	記録できる録画モード	予約録画は?	フォーマットは?(➜108)	備考
	DR HG HX HE HL HM HB XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	必要	● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
	HG HX HE HL HM HB	できる (予約は1番組)	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。 ● カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)
	XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	不要 (データ用ディスクの場合、フォーマット必要)	
	HG HX HE HL HM HB	できる (予約は1番組)	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	必要	
	XP SP LP EP FR	できない	不要	● コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。
	XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	XP SP LP EP FR	できない	必要	● コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。

記録できるディスクについて(つづき)

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
- 2006 年春以前に発売された他社製機器では、BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応していないため、再生できません。
- HG、HX、HE、HL、HM、HBモードの番組や、本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)、スカパー! HD の番組は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
  - ・BDXL のブルーレイディスクの場合は、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- **記録したディスクの再生に対応**
- **記録したディスクの記録方式の再生に対応**
  - ・**AVCREC 方式の場合:**
    対応機器には右記のロゴが付いています。
    対応機器以外で使用しないでください。
    ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
    -R はファイナライズ(➜111)が必要です。

  - ・**ビデオ方式の場合:**
    記録後にファイナライズ(➜111)が必要です。
- **デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。**

お知らせ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

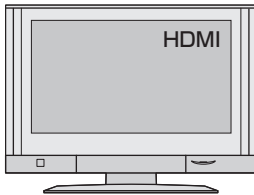
操作の前に

本機の映像をテレビに映す

1 **テレビの電源を入れる**

2 **テレビのリモコンで、入力切換の操作をする**

●本機を接続した入力に切り換えてください。（HDMI、ビデオ 1 など）

テレビ

3 **本機のリモコンの 電源 を押す**

本体表示窓

チャンネル表示

●テレビに映像が映っているか確認してください。

テレビに映像が表示されない場合

●テレビの入力を確認してください。

●接続を確認してください。

(➜ 準備編 4 ～ 19)

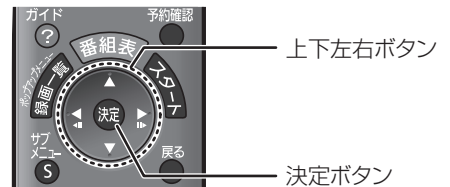
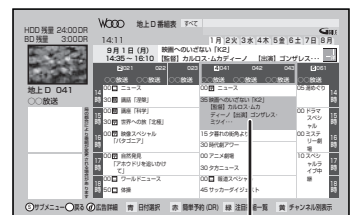
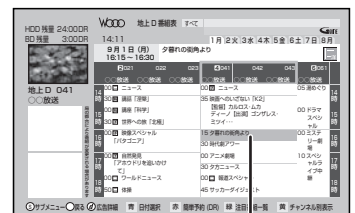
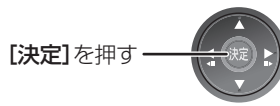
本機の電源を切る

本機のリモコンの **電源 を押す**

本体表示窓

時刻表示

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押すことで操作を行います。

例えば、番組を選びたい場合

[決定] を押す

番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、

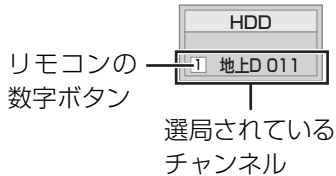
番組を選び、決定 を押す

と記載しています。

テレビ放送を見る

1 地上 BS CS **を押して、放送を選ぶ**

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 1 ～ 12（ふた内部）**または** チャンネル **を押して、チャンネルを選ぶ**

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- **本機では、データ放送を録画できません。**
  録画が始まるとデータ画面が消えます。

1 **データ放送のある番組を選局し、** データ（ふた内部）**を押す**

2 **見たい項目を選び、** 決定 **を押す**

例）

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには
[データ] を押す

お知らせ

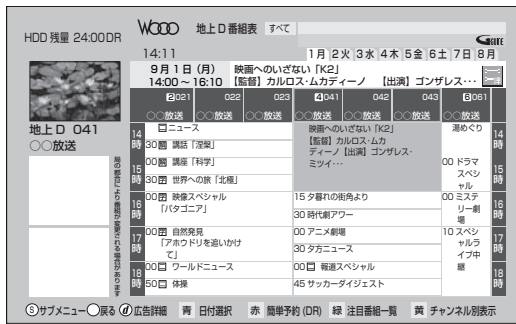
- 本機でワンセグ放送を視聴することはできません。

視聴

その他の選局方法

番組表から選局

❶ 番組表 を押す

❷ 放送中の番組を選び、決定 を押す

☞ 別の放送の番組表を見るには
[地上] [BS] [CS] を押す

❸「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

3けたチャンネル番号を入力して選局

❶ テレビ視聴中に、3桁入力（ふた内部）を押す

●押すごとに放送が切り換わります。

❷ 1 ～ 10（ふた内部）を押して、チャンネルを入力する

例）103 の場合…[1] → [10] → [3]

●画面が表示されている間に入力してください。

☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
(地上デジタル) (➜20「枝番選局」)

お好みチャンネルから選局

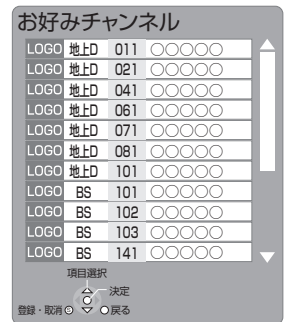
お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく１つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

❶ テレビ視聴中に、 を押す

❷ 放送局を選び、決定 を押す

お好みチャンネル

LOGO	地上D	011	○○○○○
LOGO	地上D	021	○○○○○
LOGO	地上D	041	○○○○○
LOGO	地上D	061	○○○○○
LOGO	地上D	071	○○○○○
LOGO	地上D	081	○○○○○
LOGO	地上D	101	○○○○○
LOGO	BS	101	○○○○○
LOGO	BS	102	○○○○○
LOGO	BS	103	○○○○○
LOGO	BS	141	○○○○○

項目選択 決定 登録・取消 戻る

■チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、
[10 秒戻し / お好みチャンネル] を押す
② [サブ メニュー] を押す
③「登録」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す
●リストの一番下に登録されます。
（最大 48 チャンネル）

■チャンネルの取り消し

① [10 秒戻し / お好みチャンネル] を押す
② 取り消す放送局を選び、[サブ メニュー] を押す
③「取消」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
●かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

❶ を押す

●表示されない場合、もう一度**[サブ メニュー]**を押してください。

❷ **「画面モード切換」を選び、決定を押す**

❸ **画面モードを選ぶ**

ノーマル:
元の映像で表示します。

サイドカット:
16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

ズーム:
4:3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。

お知らせ

●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切 / 入

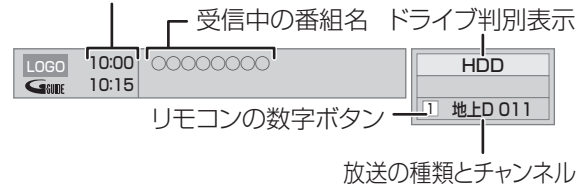
●番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。

●「TVアスペクト」(➜ **準備編 28**)を「4:3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

●テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

見ている番組の情報を表示

画面表示を押す

例)

表示を消すには
[画面表示] を数回押す

音声を切り換える

音声切換(ふた内部)を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

●録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

放送中の番組の 3D 設定をする

3D/2D 出力

●3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続時

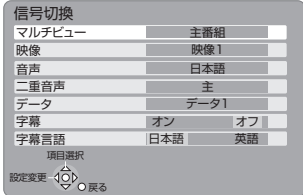
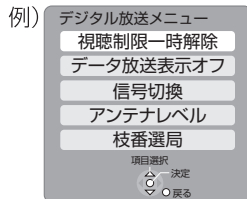
サイドバイサイド(2 画面構成)などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

(詳しくは ➜54「3D映像を視聴するための便利な機能」)

放送内容などの設定

テレビ視聴中に

❶ サブメニュー Ⓢ を押す

●表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

❷「デジタル放送メニュー」を選び、決定 を押す

例）
❸ 設定項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

お知らせ
●視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号(➜114)を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 マルチビュー 主番組 映像 映像1 音声 日本語 二重音声 主 データ データ1 字幕 オン オフ 字幕言語 日本語 英語 項目選択 設定変更 戻る **設定する項目を選び、設定する** お知らせ ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 **(詳しくは ➜40)**
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例:「011-0」、「011-1」) 3けたチャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す** 枝番選局 3 桁番号：011 011-0 LOGO ○○○○○ 主選局 011-1 ○○○○○ 011-2 ○○○○○ 枝番切換 選局 戻る 青 赤 緑 主選局変更 黄 **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

録画する

基本操作 選び→決定する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

1 [地上] [BS] [CS] **を押して、放送を選ぶ**

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 [1]～[12](ふた内部)**または** [チャンネル] **を押して、チャンネルを選ぶ**

3 [録画モード](ふた内部)**を押して、録画モードを選ぶ**

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

例)

4 [録画](ふた内部)**を押す**

5 録画を止めるときは、[■停止]を押す

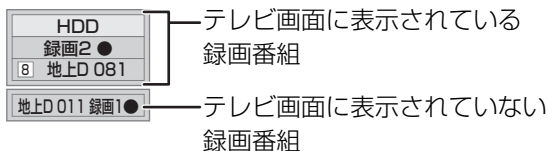
お知らせ

- ディスクへは録画できません。
  ・予約録画はできます。(ビデオ方式は除く)
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画(➜ 42)できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- 有料放送を録画するには、放送会社と契約した B-CAS カードを挿入してください。契約した B-CAS カードをテレビでお使いの場合は、そのカードを本機に挿入してください。
- デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は標準画質です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

録画中のいろいろな操作

録画中の番組の確認

画面表示 **を押す**

例)複数の番組を録画中

録画中の番組をテレビ画面に表示

一時停止などの操作をする場合、操作前に録画中の番組をテレビ画面に表示させてください。

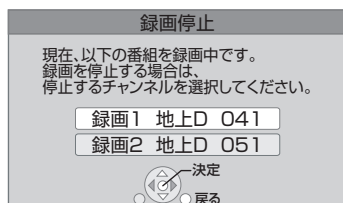
●放送を切り換えていた場合:

●チャンネルを切り換えていた場合:

●入力を切り換えていた場合:

録画を止める

■停止 **を押す**

●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組をテレビ画面に表示させてください。(➜ 左記)

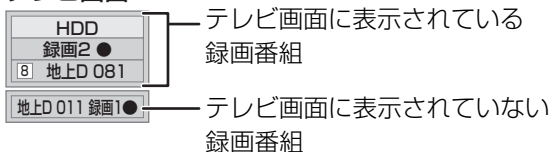
❚❚一時停止 **を押す**

●もう一度押す、または [**録画●**] を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

複数の番組を録画する

21 ページの手順 1 ~ 4 で別の番組を録画する

本体前面

テレビ画面

●複数の番組を録画中のチャンネル / 放送 / 入力切換は、録画中の番組間でのみ行われます。

録画しながら再生する

追っかけ再生：
HDD 録画中の番組を先頭から再生します。

同時録画再生：
録画中に録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1 **を押す**

2 **番組を選び、決定 を押す**

ぴったり録画

録画した番組を新品の DVD(4.7 GB)にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて「XP」〜「EP」の中から自動的に最適な画質で HDD に録画します。
(➜40「FR」)

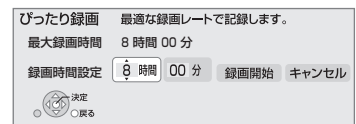
1 **チャンネルを選ぶ(➜21 ページ手順 1 ～ 2)**

2 **スタート を押す**

3 **「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**

4 **「ぴったり録画」を選び、決定 を押す**

5 **「HDD に録画」を選び、決定 を押す**

6 **"時間"または"分"を選び、録画時間を設定する**

●8 時間を超えて設定することはできません。

7 **「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で 決定 を押す**

録画の残り時間を確認するには
[画面表示] を押す

例）
録画の残り時間

お知らせ
●録画中にぴったり録画はできません。

録画

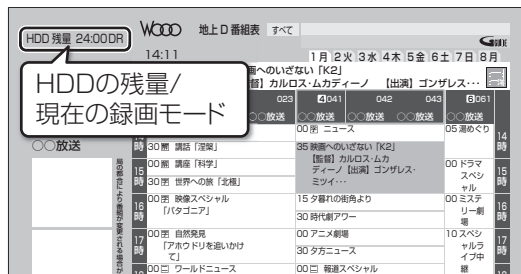
予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する

1 [番組表] を押す

2 番組を選ぶ

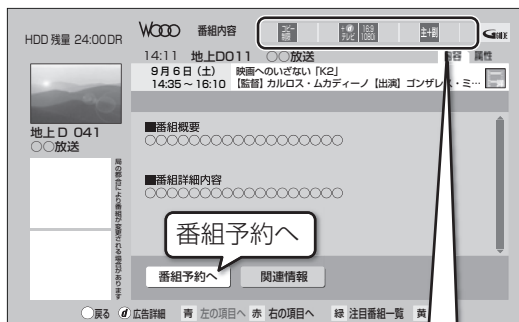
例)

☞ **別の放送の番組表を見るには**
[地上] [BS] [CS] を押す

3 [決定] を押す

[決定] の代わりに [赤] を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
([予] が表示されます)

● 手順4～5の操作は不要です。

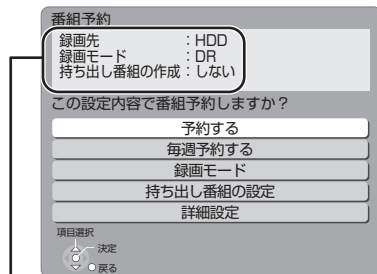
4 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す

5 項目を選び、[決定] を押す

予約する:
予約を登録

毎週予約する:
毎週同じ曜日に予約を登録(➜37)

録画モード:
録画モードを変更(変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)

持ち出し番組の設定:
モバイル機器へ持ち出すための番組を作成(➜93)

詳細設定:
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更(➜32)

予約内容を確認してください。

お知らせ

- 番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。(➜26)
- 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1 番組として数えます)
- 予約済みの番組をさらにもう 1 番組予約したい場合、**手順 3** で **[決定]**を押して予約してください。

番組表(G ガイド)を使ってディスクに予約録画する

ディスクは、1 番組のみ予約できます。

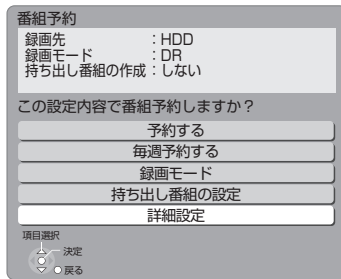
1 ディスクを入れる

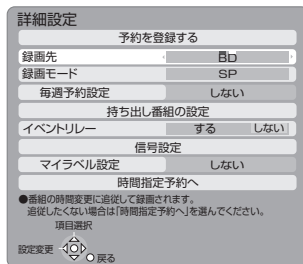
●下記のような画面が表示されますので、[戻る]を押して画面を消してください。

例）
BD-RE
かんたんダビング

2 24 ページの手順 1 ～ 4 を行う

●24ページの手順3では、[決定]を押してください。

3 「詳細設定」を選び、決定を押す

4 録画先を「BD」にする

●DVD の場合も、「BD」を選んでください。

5 「録画モード」を設定する

●ディスクや記録方式によって録画できるモードは異なります。

6 「予約を登録する」を選び、決定を押す

●フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応
のディスクをお使いください。

DVD に予約録画できる記録方式

ハイビジョン画質で記録できます。
(デジタル放送のみ可能)
● -RW ではできません。

標準画質で記録します。

予約録画できません。

録画

番組表の見かた

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な５つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ／特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに１日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。

番組表の表示設定

放送の切り換え

[地上] [BS] [1/2 CS] を押す

日付の切り換え

●全チャンネル表示時のみ

[⏮ スキップ]（前日）[⏭ スキップ]（翌日）を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

❶ [青] を押す
❷ 日付を選び、[決定] を押す

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

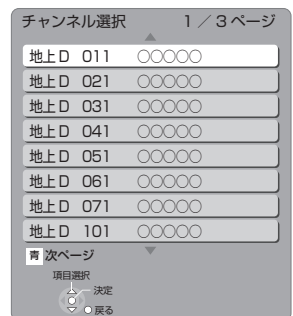
❶ **表示したいチャンネルの番組を選ぶ**
❷ **[黄] を押す**

☞ **全チャンネル表示に切り換えるには**
［黄］を押す

☞ **別のチャンネルを表示するには**
チャンネル別表示中に

① [青] を押す
② チャンネルを選び、[決定] を押す

チャンネル選択 1／3ページ

地上D 011 ○○○○○
地上D 021 ○○○○○
地上D 031 ○○○○○
地上D 041 ○○○○○
地上D 051 ○○○○○
地上D 061 ○○○○○
地上D 071 ○○○○○
地上D 101 ○○○○○
青 次ページ
項目選択 決定 戻る

お知らせ

●本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
さらに、本機をネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜113)を「オン」にすると、1ヵ月の番組情報を取得することができます。（2011年2月現在、ネットワークから1ヵ月の番組情報を取得できる放送局はWOWOWのみです）

お知らせ

●1ヵ月の番組表を取得している場合、9日目以降の番組表の表示には時間がかかります。

番組表の表示設定(つづき)

1 番組表表示中に

を押す

2 項目を選び、設定する

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜30)
録画モード	録画モードを変更します。(➜40)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(➜18)で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定]を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定]を押す** **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]**を押す ② 「全ジャンル表示」を選び、**[決定]**を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号(➜114)を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

注目番組一覧から予約録画する

放送局がおすすめする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に
[緑]を押す

2 放送を選び、[決定]を押す

●地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順４へ進んでください。

ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜113)を「オン」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
（2011年2月現在、ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOWのみです）

3 (ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)
カテゴリーを選び、[決定]を押す

カテゴリー

☞ **カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには**
[赤]を押す
● 予 が表示され、予約は完了します。
●録画された番組は、まとめ 番組になります。

☞ **放送を変更するには**
[緑]を押す(➜ 手順２へ)

4 番組を選び、[決定]を押す

カテゴリー

☞ **他のカテゴリーを表示するには**
[|◀◀][▶▶|]を押す
（[青]を押してカテゴリーを選択することもできます）

☞ **放送を変更するには**
[緑]を押す(➜ 手順２へ)

☞ **録画モードを変更するには**
① [サブ メニュー]を押す
② 録画モードを選び、[決定]を押す

5 「番組予約へ」を選び、[決定]を押す
(「番組予約」の場合は ➜24 手順 5)
(「時間指定予約」の場合は ➜34 手順 3)

録画

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に
サブメニュー S **を押す**

2 **「番組表の検索」を選び、決定 を押す**

3 **検索方法を選び、決定 を押す**

フリーワード検索
ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

ジャンル検索 キーワード検索 人名検索

❹ **検索条件を選び、決定 を押す**
●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送を切り換えるには
[地上] [BS] [CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[|◀◀] [▶▶|] を押す
(検索結果画面表示中に 、[青] を押して日付を選択することもできます)

❺ **番組を選び、決定 を押す**
❻ **「番組予約へ」 を選び、決定 を押す**
(➜24 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の複数の検索条件(5 件まで)を登録し、1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■**検索条件を登録する**

❹ 緑 **を押す**
❺ **検索方法を選び、決定 を押す**
●「フリーワード」は、文字を入力し(➜106)、登録してください。
上記手順 ❹ ～ ❺ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには
① 検索条件を選び、[**決定**] を押す
② 「フリーワード編集」を選び、[**決定**] を押す
③ 文字を入力する(➜106)

登録した検索条件を削除するには
① 検索条件を選び、[**黄**] を押す
② 「はい」を選び、[**決定**] を押す

■**検索する**

❹ 検索する放送種別を変更する場合：
① 赤 **を押す**
② **検索したい放送を「入」に設定し、決定 を押す**

❺ 青 **を押す**

別の日の検索結果を表示するには
[|◀◀] [▶▶|] を押す
(検索結果画面表示中に 、[青] を押して日付を選択することもできます)

❻ **番組を選び、決定 を押す**
❼ **「番組予約へ」 を選び、決定 を押す**
(➜24 手順 5)

お知らせ

●検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
●ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜ 113)を「オン」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。
●「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

新番組を自動で予約録画する

地上デジタル BS デジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は 18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- 録画先は「HDD」、録画モードは「DR」で予約します。

1 スタート **を押す**

2 **「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**

3 **「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す**

4 **設定したい項目を選び、「入」にする**

新番組おまかせ録画の設定

夜ドラマ (地上D)	入	切
夜ドラマ (BS)	入	切
アニメ (地上D)	入	切
アニメ (BS)	入	切

"入"に設定すると、新番組をDRモードで自動録画します。
●録画時刻の重複により自動録画されない場合があります。
●HDD残量にご注意ください。
予約確認ボタンで自動で録画される番組を確認できます。

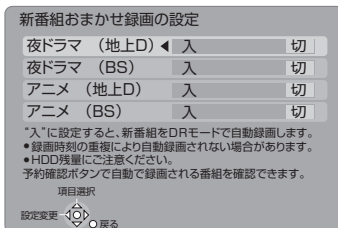
予約された新番組の確認

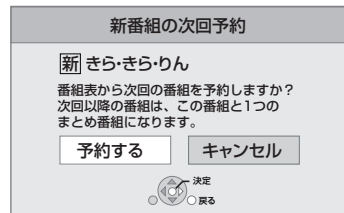
予約確認

 を押す

☞ 予約内容を修正するには(➜35)

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日･毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

録画した新番組の再生

番組を再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

お知らせ

- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組と予約が重なった場合、複数の番組を録画(➜ 42)できないときは、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、複数の番組を録画(➜ 42)できないときは、以下の優先順位で予約します。
  ① 開始時刻の早い番組を優先
  ② 新番組の開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタルの番組を優先し、同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの新番組も自動で予約しますが、契約していない場合、録画はされません。

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組のジャンルや出演者など関連した情報から番組を検索します。

番組内容画面(➜24 手順 4)表示中に

❶ **「関連情報」を選び、決定 を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す**

例)

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ 放送を切り換えるには

[地上] [BS] [CS] を押す

☞ 別の日の検索結果を表示するには

[|◀◀] [▶▶|] を押す

(検索結果画面表示中に 、[青] を押して日付を選択することもできます)

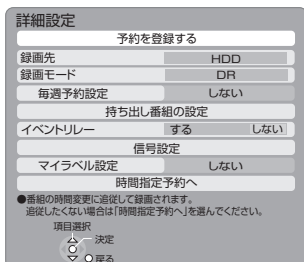
❸ **番組を選び、決定 を押す**

❹ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す(➜24 手順 5)**

録画

詳細設定をする

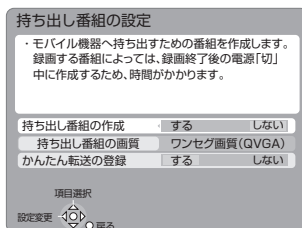
24 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する(➜ 下記へ)

●「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[**決定**] を押してください。

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定を押す

録画先	「HDD」または「BD」を選びます。
録画モード	録画モード(➜40)を設定します。
毎週予約設定	毎週予約設定 毎週予約 しない 自動更新 入 切 月 する しない 火 する しない 水 する しない 木 する しない 金 する しない 土 する しない 日 する しない ●お好みの曜日を選び、曜日毎に設定を変更することができます。 項目選択 設定変更 決定 戻る **「毎週予約」(➜37)を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。

持ち出し番組の設定 HDD

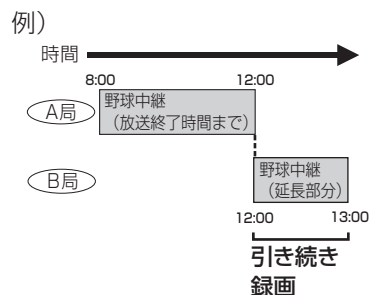
録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(➜93)

「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ

●「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」(➜95)で転送することができます。

●持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。(➜94)

持ち出し番組の画質について(➜93)

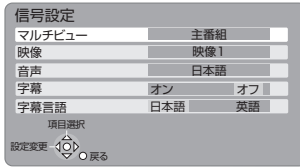
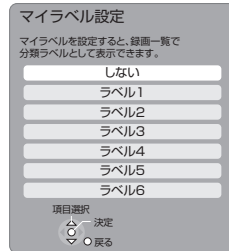
イベントリレー

「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます)

お知らせ

●毎日·毎週予約を設定している場合は働きません。

●録画先が “BD” の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。

●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ① **項目を選び、設定する** ② **[戻る] を押す** お知らせ ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 **(詳しくは ➜40)** ●選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧(**➜47**)で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。(**➜60**) **ラベルを選び、[決定] を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。 **(➜48「分類ラベル設定」)**
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 **(➜34「時間指定予約」)**

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 **を押す**

2 緑 **を押す**

3 **予約内容を設定する**

(➜ 右記「時間指定予約」へ)

CATVセットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力L1」を選んでください。

4 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、** 決定 **を押す**

お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴･録画には暗証番号(➜114)の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る]を押すと予約できます。
- 本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。
  (➜ 準備編 37「時刻合わせ」)
- 番組追従機能(➜37)は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約

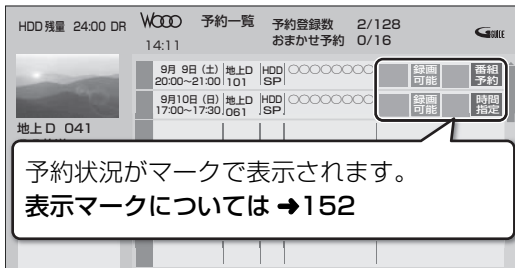
❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**
- 「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、**[決定]** を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順4へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日･毎週予約を設定します。**(➜32「毎週予約設定」)**
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●**[◀]** または **[▶]** を押したままにすると15分単位で変更できます。
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。
録画モード	録画モード(**➜40**)を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。(**➜32**)
番組名入力	●文字入力について(**➜105**) ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。(**➜33**)

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 **を押す**

2 番組を選び、以下の操作を行う

●実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。

予約の取り消し

❶ 黄 **を押す**
❷ **「はい」を選び、決定 を押す**

予約内容の修正

❶ 決定 **を押す**
❷ **「修正」を選び、決定 を押す**
(「番組予約」の場合は ➜32「詳細設定」へ)
(「時間指定予約」の場合は➜34「時間指定予約」へ)

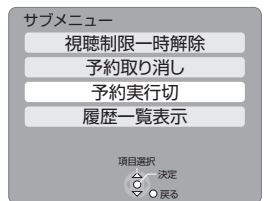
毎日･毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。
❶ 決定 **を押す**
❷ **「毎週一覧」を選び、決定 を押す**

●予約の「重複」がある場合に **[決定]** を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。**(➜38)**
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める(一時解除)

❶ サブメニュー S **を押す**

例)

❷ **「予約実行切」を選び、決定 を押す**
●予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
●**[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。(録画中のスカパー! HDの番組を除く)

視聴制限の一時解除

暗証番号(**➜114**)を入力して視聴制限を一時解除します。

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す**
❸ 1 ～ 10 **(ふた内部)で暗証番号を入力する**

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す**
●履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「履歴削除」を選び、決定 を押す**
❸ **「はい」を選び、決定 を押す**
●予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

録画

番組表での予約の取り消し / 修正

予約の取り消し

「予」が表示されている番組を選び、赤を押す

- 「予」が消えます。
- 予約録画実行中の番組は、取り消しできません。

予約の修正

❶「予」が表示されている番組を選び、決定を押す
❷「予約修正」を選び、決定を押す

「番組予約」の場合は
➜32「詳細設定」

「時間指定予約」の場合は
➜34「時間指定予約」

お知らせ

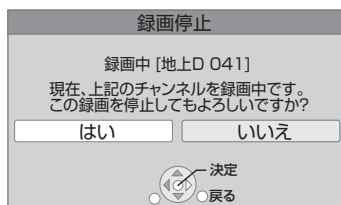
- 同じ番組を複数予約している場合は、予約一覧で取り消しや修正を行ってください。(➜35)

録画中の予約録画を止める

1 ■停止を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2 「はい」を選び、決定を押す

例)

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。**(➜35)**

■まとめ表示について まとめ **HDD**
連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。**(➜49)**
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

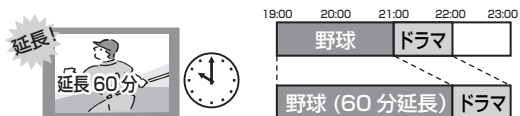
■前回の番組を消去して録画するには（自動更新） **HDD**
「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。
●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

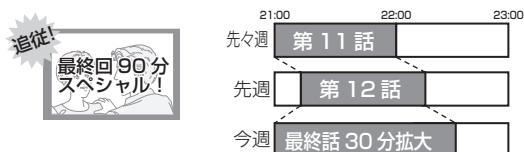
ディスクの残量不足などに対応(代替録画)

ディスクの入れ忘れ、残量不足などでディスクに予約録画できない場合は、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の失敗を防ぎます。

●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

番組追従機能
●番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応
●デジタル放送のみ
予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)

●「イベントリレー」**(➜32)**を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応
「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
●番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには
時間指定予約で予約を行ってください。**(➜34)**

お知らせ
●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
●番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

予約録画する(つづき)

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

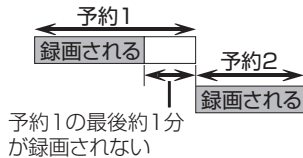
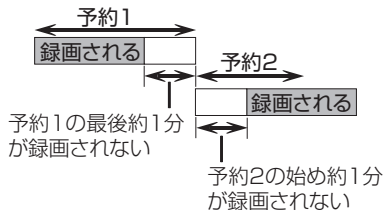
以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

- ●録画中：
  複数の番組を録画できない状態のとき
- ●ディスク再生中：
  ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき
- ●BD ビデオや AVCHD のディスク、「1080/60p」の表示がある SD カードの番組を再生中：
  XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画の開始時刻になったとき
- ●HDD に取り込んだ「1080/60p」の表示がある番組を再生中：
  DR モード以外の予約録画の開始時刻になったとき

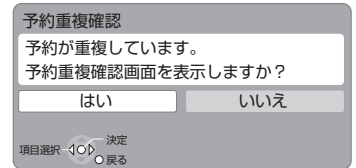
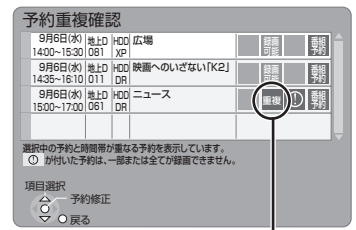
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

複数の番組を録画できない状態のときは、前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。

- ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
(24 ページ手順 5 などのあと)

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをおすすめします。

例）

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定]を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

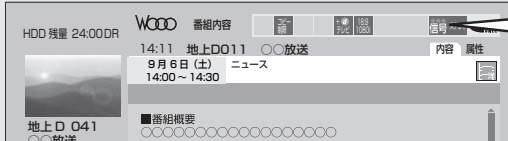
開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。

- ●スカパー! HDの番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号 :マルチ音声

主+副 :二重音声

番組を視聴中のときは、**[音声切換]**を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の二ヵ国語放送を記録する場合

	記録先	デジタル放送のマルチ音声	デジタル放送の二重音声	外部入力から二重音声を録画する場合
両方の音声を記録する こんにちは Hello	HDD ブルーレイディスク	DR、HG、HX、HE、HL、HM、HB モードを選ぶ	録画モードにかかわらず両方の音声が記録されます	**「高速ダビング用録画」(➜116)**を「切」にして記録する
	DVD	HG、HX、HE、HL、HM、HB モードを選ぶ	RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) を使う	RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) を使う ●**「高速ダビング用録画」(➜116)**を「切」にしてください。
片方の音声のみ記録する こんにちは ●記録する音声を選ぶには **(➜ 下記)**	HDD ブルーレイディスク DVD	XP、SP、LP、EP、FR モードを選ぶ	― （両方の音声を記録します）	**「高速ダビング用録画」(➜116)**を「入」にして記録する -R(V) -RW(V) を使う

		デジタル放送のマルチ音声	外部入力から二重音声を録画する場合
記録する音声を選ぶには	録画時	●**直接録画の場合** 「信号切換」(**➜20**)の「音声」 ●**予約録画の場合** 予約時の「信号設定」(**➜33**)の「音声」	●外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力するように設定 ●録画前に、「外部入力の音声」(**➜118**)で「二重音声」を選ぶ
	ダビング時	「信号切換」(**➜55**)の「音声」で音声を選んだあと、ダビング(**➜73**)	

録画モードについて

録画モード	DR	HG･HX･HE･HL･HM･HB	XP･SP･LP･EP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮[※1]して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	標準画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	標準画質 ディスクの残量に合わせて XP ～ EP の中で画質を自動調整して記録 ●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。
	高画質　長時間		高画質　長時間	―
記録できる放送 / 入力	地上･BS･CS デジタル放送 i.LINK（TS）	地上･BS･CS デジタル放送	地上･BS･CS デジタル放送 外部入力、DV 入力	
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)	HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V)[※2] -RW[※2]	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 （ダウンミックス 2 チャンネル）	
複数の音声（マルチ音声 ➜39）	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つ記録[※3]	音声は 1 つだけ記録[※3]	
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録[※3]		
文字スーパー	記録する	記録しない		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 （再生時、字幕表示の入 / 切ができる）		字幕の入 / 切情報は記録しない （再生時、字幕表示の入 / 切はできない）[※3]	

※ 1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※ 2　-R(V) -RW(V) デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※ 3　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合：

●録画時　　：「信号切換」(➜20)で選ぶ

●予約録画時：「信号設定」(➜33)で選ぶ

●ダビング時：「信号切換」(➜55)で選んだあと、ダビングを行う(➜73)

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード(例:HE、HL、HM、HBやEP)で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DRやHG、XPなど高画質の録画モードをお使いになることをおすすめします。

HG、HX、HE、HL、HM、HBモードでの録画について

録画モード「HG」、「HX」、「HE」、「HL」、「HM」、「HB」での録画は、以下の場合、いったん録画モード「DR」で録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します※。

- 複数の番組を録画中に次の動作を行った場合(1番組のみ録画モード「DR」に切り換えて録画します)
  - ・HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW DVD-V の番組再生
  - ・音楽の再生
- 複数の番組を録画中に次の動作を行った場合(2番組とも録画モード「DR」に切り換えて録画します)
  - ・BD-V AVCHD の番組再生
  - ・ディスクへのダビング
- 1番組のみ録画中に次の動作を行った場合(録画モード「DR」に切り換えて録画します)
  - ・BD-V AVCHD の番組再生
  - ・ディスクへの1倍速ダビング

また、HG、HX、HE、HL、HM、HBモードで複数の番組を録画中は、以下の制限があります。

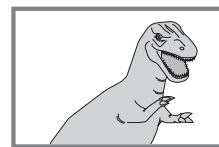
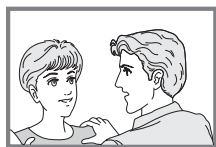
- HDDとディスクに1番組ずつ録画している場合やHDDの残量が少ない場合、再生やダビングはできません。
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビューはできません。

※ 電源「切」時に、電源コードを抜いている場合、録画モード変換は行いません。

番組の同時録画について

本機でできる同時録画の組み合わせは、以下の通りです。

1番組目		2番組目		3番組目
地上･BS･CS放送 DR	+	地上･BS･CS放送 DR	+	スカパー! HD LAN経由
	+	地上･BS･CS放送 HG、HX、HE、HL、HM、HB	+	スカパー! HD LAN経由
	+	地上･BS･CS放送 XP、SP、LP、EP、FR	+	スカパー! HD LAN経由
	+	外部入力 XP、SP、LP、EP、FR	+	スカパー! HD LAN経由
	+	i.LINK（TS）入力 DR	+	スカパー! HD LAN経由

1番組目		2番組目		3番組目
地上･BS･CS放送 HG、HX、HE、HL、HM、HB	+	地上･BS･CS放送 HG、HX、HE、HL、HM、HB	+	スカパー! HD LAN経由
	+	i.LINK（TS）入力 DR	+	スカパー! HD LAN経由
地上･BS･CS放送 XP、SP、LP、EP、FR	+	i.LINK（TS）入力 DR	+	スカパー! HD LAN経由
外部入力 XP、SP、LP、EP、FR	+	i.LINK（TS）入力 DR	+	スカパー! HD LAN経由

1番組目と2番組目をディスクに同時に録画することはできません。

お知らせ

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
  - ・DV 入力から録画する場合
  - ・「外部入力（L1）取込」中
  - ・ディスクから HDD へダビング中
  - ・HDD から HDD へダビング（複製）中
  - ・スカパー! HD の 2 番組の場合
  - ・Wooo リンクを利用して「レコーダー録画開始」を実行しているときは、新たに「レコーダー録画開始」はできません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限があります。

ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD

著作権保護技術を持ったCPRMに対応している
必要があります。

パッケージに CPRM対応 の記載のあるDVDを準備してください。

（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

■ コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先がHDDの場合は [10] または [1] を表示します。
[10] ～ [1] はダビングの残り可能回数を表します。
ディスクの場合は [×] を表示し、ダビングや移動はできません。

[1] の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。（複製はできません）

●通常の番組･持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。

●プロテクト設定(➔58)されている [1] の番組はダビングできません。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

番組内でアスペクト比が異なる番組の記録

以下の場合、「ビデオ方式の記録アスペクト」(➔116)を「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

●「高速ダビング用録画」(➔116)が「入」のときに
･外部入力、DV 入力から録画
･ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）からHDD にダビング

● -R(V) -RW(V) へ記録するとき

ハイビジョン画質で記録時のアスペクト比

デジタル放送を「HG」、「HX」、「HE」、「HL」、「HM」、「HB」モードで記録する場合、「デジタル放送の記録アスペクト」(➔117)の設定に従って記録されます。

●ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

標準画質で放送されている番組の記録

放送によっては、「DR」モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

再生する

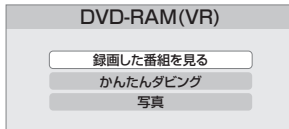
HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -RW DVD-V AVCHD

録画した番組を再生する

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

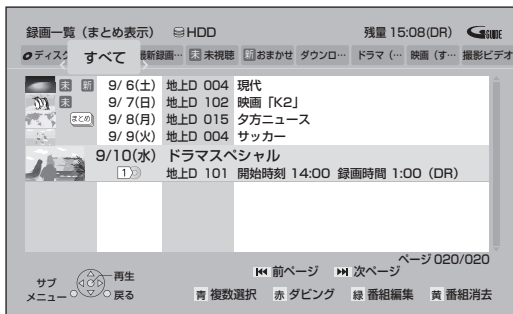
例）RAM

DVD-RAM(VR)

録画した番組を見る
かんたんダビング
写真

上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1

を押す

2 番組を選び、決定を押す

- 毎日･毎週予約した番組は、まとめ番組内に録画されます。
  まとめ番組を選んで、[決定]を押すと、まとめ番組内の番組を表示できます。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ **再生**]を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合
項目を選び、決定を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中：　**[サブ メニュー]**を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中：　**[録画一覧]**を押す

DVD-V **[録画一覧]**を押す
（**[サブ メニュー]**を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中：　**[録画一覧]**を押す
（**[サブ メニュー]**を押して、「ポップアップメニュー」を選ぶ）

- 停止中に[1]～[10]を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
  DVD-V：2 けた入力　BD-V：3 けた入力

お知らせ

- 表示マークについては ➜154
- 録画一覧表示中に[赤]を押すと、かんたんダビング(➜66)を行うことができます。

お知らせ

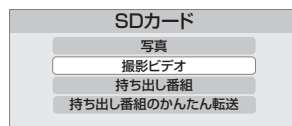
- BD-V 市販の映画などが記録された BD ビデオは、XP、SP、LP、EP、FR モードで録画中に再生することはできません。また、再生中に XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画が始まると再生を終了します。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。

撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を再生する

AVCHD 対応ビデオカメラで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を再生することができます。

●AVCHD 対応ビデオカメラで撮影した 1080/60p (1920×1080/60プログレッシブ)記録の番組を再生することもできます。

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) SD

ディスクを入れた場合:
下記の手順 3 に進みます。

SD カードを入れた場合:
① 「撮影ビデオ」を選び、**[決定]** を押す
② 「AVCHD(ハイビジョン画質)を見る」を選び、**[決定]** を押す
●下記の手順 4 に進みます。

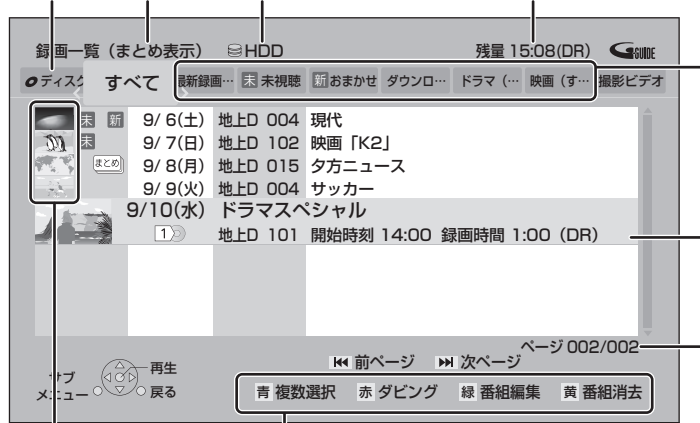
1 **を押す**

2 **「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す**

3 **「撮影ビデオ(AVCHD)を見る」を選び、決定 を押す**

4 **タイトルを選び、決定 を押す**

メニューが表示されないときは
[1] ~ [10] で3けた入力してタイトルを再生してください。

録画一覧について

HDD 表示される画像を変更することができます。**(➜60「サムネイル変更」)**
●録画後すぐは「準備中」と表示されます。(画像は電源切時に作成されます)
ディスクの場合、画像は表示されません。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。また、お好みでマイラベルに分類すると、さらに番組を探しやすくなります。

ディスク		ディスク内の番組(ディスクが入っている場合のみ表示) ● BD-V DVD-V では表示されません。
HDD	**すべて**	すべての番組
	最新録画番組	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未 **未視聴**	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「 未 未視聴」から除外されます。
	新 **おまかせ**	「新番組おまかせ録画」**(➜31)**で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「 新 おまかせ」から除外されます。
	ダウンロード	ダウンロードした番組**(➜100)**
	ドラマ、映画などの「ジャンル」	録画した番組の番組情報をもとに、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル	「マイラベル設定」**(➜33、60)**で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。**(➜48「分類ラベル設定」)**
	撮影ビデオ	ディスクやSDカード、USB機器から取り込まれたハイビジョン動画(AVCHD)**(➜80)**

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

録画一覧上での便利な機能

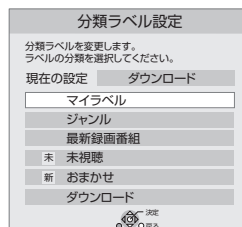
録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー(S)を押す**

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル(➜47)を選んでから［サブ メニュー］を押してください。

❷ **項目を選び、(決定)を押す（➜ 下記へ）**

例）

先頭から再生 **つづきから再生** HDD	前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。(ダウンロードした番組を除く) **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞ **画面を消すには** **[決定]** を押す
分類ラベル設定 HDD	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません。 **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ② 「名称変更」を選び、**[決定]** を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する **(➜105)**
視聴制限一時解除 HDD	「HDD 番組の視聴制限」**(➜117)**で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
全番組表示へ **まとめ表示へ** HDD	表示を切り換えます。

まとめ 番組について

毎日･毎週予約した番組は、録画一覧画面で まとめ 番組として表示されます。

まとめ 番組の再生 HDD

■番組を選んで再生する

❶ まとめ 番組を選び、決定 を押す

❷ 再生する番組を選び、決定 を押す

■番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、 を押す

- まとめ 番組内の番組を連続で再生します。
- まとめ 番組にダウンロードした番組が含まれる場合、まとめ再生はできません。

まとめ 番組の番組名について HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

☞「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(➜58)

- 「すべて」ラベル選択時のみ編集できます。
- まとめ 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集 HDD

- 「すべて」ラベル選択時のみ編集できます

❶ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ すべて選んだあと、サブメニュー S を押す

❸ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

再生中のいろいろな操作

停止

[■停止] を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

- HDD :番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク:前回止めた位置のみを記憶
  - ·記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
  - · BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[II一時停止] を押す

- もう一度押す、または [▶ **再生**] を押すと、再生を再開します。

早送り·早戻し(サーチ)

[◀◀早戻し] または [▶▶早送り] を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5 段階)

- [▶ **再生**] で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

[I◀◀スキップ] または [▶▶Iスキップ] を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク(➔62)がある場合は、その場面に飛びます。
- HDD まとめ再生中(➔49)は、前後の番組も含めて飛び越します。

30 秒先へ飛び越す

[30秒送り] を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。

- DVD-V 正しく働かない場合があります。

10 秒前へ戻す

[10秒戻し] を押す

押すごとに、約10秒前に戻して再生します。

- DVD-V 正しく働かない場合があります。

早見再生(1.3 倍速)

[1.3倍速 ▶ 再生] を約 1 秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度 [▶ **再生**] を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販のBDビデオを3D再生中、または「1080/60p」の表示がある番組、-RW(ファイナライズ後も含む)ではできません。

スロー再生

一時停止中に

または を押す

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- [▶ **再生**] で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD 送り方向のみ働きます。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

(左または右) を押す

押すごとに 1 コマずつ送り(戻し)ます。

- 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。
- [▶ **再生**] で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD コマ戻しはできません。

時間を指定して飛び越す（タイムワープ）

❶ タイムワープ（ふた内部）を押す

❷ 飛び越し時間の表示中に、
[▲][▼] で飛び越す時間を設定し、決定 を押す

●[▲][▼] を押すごとに 1 分ずつ（押し続けると 10 分ずつ）送り [▲]、戻し [▼] します。

● BD-V DVD-V AVCHD できません。

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

☞ 操作方法（➜19）

音声の切り換え

音声切換（ふた内部）を押す

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

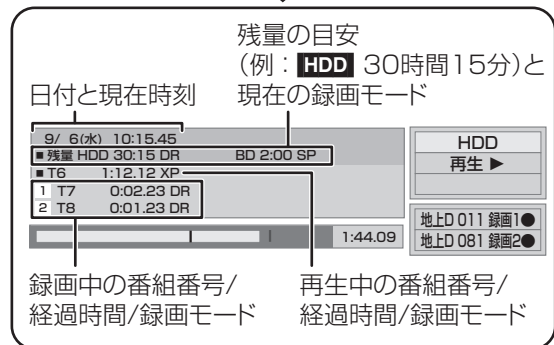
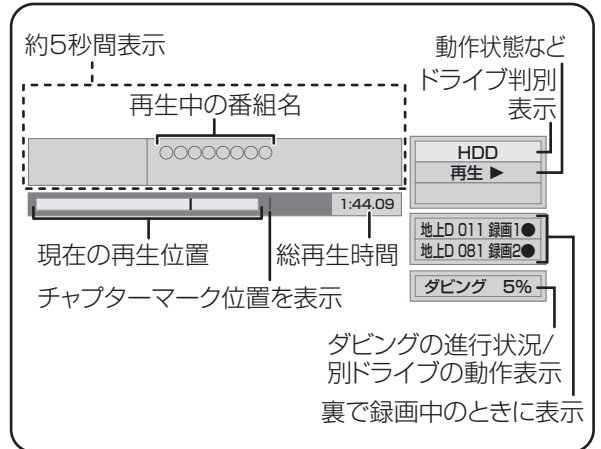
● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 を押す

●押すごとに切り換わります。

例） HDD

残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。（DR モードは、特にそのばらつきが大きくなります）

再生

お知らせ

●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 スタート を押す

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

3 「プレイリストを見る」を選び、決定 を押す

4 プレイリストを選び、決定 を押す

BD-Live 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー(ローカルストレージ)に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

❶ **ネットワーク接続と設定をする**
(➜ 準備編 14、準備編 23)
❷ **「BD-Live インターネット接続」(➜116)を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する**
❸ **1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
❹ **ディスクを入れる**

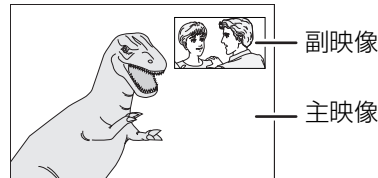
- SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**(➜109、手順 4 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください)**

お知らせ

- インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例)

- 副映像の音声を出力する場合、「デジタル出力」**(➜118)**の「BDビデオ副音声・操作音」を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは
「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**(➜55)**

再生

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

●本機と 3D 対応のテレビを、HDMI ケーブルで接続する(➜ 準備編 4)
・テレビ側で必要な準備を行ってください。

※イラストはイメージ図です。

●表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D ディスクの再生方法 BD-V	3Dディスクを2D(従来の映像)再生することもできます。(➜116)
3D 方式設定	3D 映像が正しく 3D 再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定を変更します。(➜120)
3D 再生時の注意表示	3D視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。(➜120)

3D 映像を視聴するための便利な機能

❶ **視聴または再生中に サブメニュー(S) を押す**
●表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

❷ **「3D/2D 出力」を選び、決定 を押す**

❸ **項目を選び、決定 を押す**

出力方式	オリジナル	元の映像で表示します。
	サイドバイサイド	サイドバイサイド(2 画面構成)などの3D対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に選択してください。 ●変更しても正しく表示されない場合は、「3D 方式設定」(➜120)とテレビ側の 3D 設定を確認してください。
	2D → 3D 変換	再生中の2D映像を擬似的に 3D 映像に出力します。

●上記のサブメニューは 3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続したときのみ表示します。

お知らせ

●「3D 方式設定」(➜120)が「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
●接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
●3D 映像は、「HDMI 出力解像度」や「24p 出力」(➜120)の設定どおりに出力されない場合があります。
●3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド(2画面構成)で見えることがあります。
●3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
●以下の場合、「出力方式」の設定は「オリジナル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切 / 入
● BD-V の3D再生や 3D 表示のある番組では、「出力方式」は「オリジナル」固定になります。

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に

（ふた内部）**を押す**

2 **メニューを選び、[▶] を押す**

例）DVD-V

3 **設定項目を選び、[▶] を押す**

●ディスクにより表示される設定項目は異なります。

4 **設定を変更する**

お知らせ

●映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

ディスク

映像情報 AVCHD

情報の表示のみ

音声情報

音声や言語の選択または音声属性の表示

信号切換

DR、HG、HX、HE、HL、HM、HBモードの番組は音声などを切り換えます。

「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

[**決定**] を押して、さらに設定します。

▶ **マルチビュー**
▶ **映像**
▶ **音声**
▶ **二重音声**
▶ **字幕（オン / オフ）**
▶ **字幕言語（日本語 / 英語）**

BD-V

▶ **主映像**
 · **映像情報 / 音声情報**
▶ **副映像**
 · **映像情報（入 / 切）/ 音声情報（入 / 切）**

字幕情報

字幕表示の入 / 切や、言語の選択

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕スタイル

ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

アングル

アングルを選びます。

●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

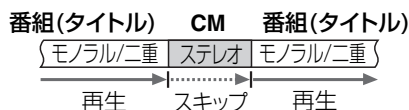
信号切換や再生方法の設定などをする(つづき)

再生

リピート
(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- ▶ **番組**　:録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル**　: BD-V DVD-V AVCHD
  タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター**　:再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**:プレイリスト
- ▶ **全曲**　:ディスク全体またはアルバムの全曲
- ▶ **1 曲**　:選んだ曲のみ

ランダム(音楽再生時のみ)
●「入」にすると、順不同に再生します。

自動 CM 早送り
CMを自動的に飛ばして再生します。音声が下記の場合に働きます。

・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
　例:上図の CM 部分が 5 分以上の場合など
・以下の場合は働きません。
　- DR モードの番組
　- 外部入力 /DV 入力 /i.LINK(TS)入力から録画した番組
　- マルチ音声の番組

映像

画質選択
再生時の画質を選びます。

- ▶ **ノーマル**:標準
- ▶ **ソフト**　:ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン**:輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ**　:映画鑑賞向け
- ▶ **ユーザー**:さらに画質を調整
  [▶] で「詳細画質設定」を選び、**[決定]** を押す
  ・**コントラスト**(白黒の強弱)
  ・**ブライトネス**(画面全体の明るさ)
  ・**シャープネス**(鮮やかさ)
  ・**カラー**(色の濃さ)
  ・**ガンマ**(暗くて見えにくい映像の輪郭)

HD オプティマイザー
「入」にすると、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ
480p、1080p のプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

24p DVD-V
[「24p 出力」(➜120)が「入」の場合のみ]
「入」にすると、より映画らしい動きで再生することができます。
●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。
●ディスクを取り出した場合、「切」に戻ります。

音声

音質効果

ナイトサラウンド※

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ **ナイトサラウンド**

▶ **切**

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ HDMI 出力やデジタル音声出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜118)
（ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2チャンネルの音声になります）

番組を編集する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**
（ファイナライズしたディスクや **AVCHD** では編集できません）

1 〔録画一覧〕を押す

2 番組を選び、〔緑〕を押す

例）**HDD**

3 項目を選び、〔決定〕を押す（➜右記へ）

●ディスクでは表示される項目が異なります。

例）**HDD**

（➜94）

番組名編集	☞ 文字入力（➜105） **お知らせ** ● 新 表示の番組は変更できません。 ●番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。 ● まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。
プロテクト設定 / 解除	記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。 ● **-R(V)** **-RW(V)** できません。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
部分消去	● **-R(V)** **-RW(V)** できません。 ① **[▶ 再生] を押して、再生を始める** ② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す** ③ **[▶ 再生] を押して、再生を始める** ④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す** ●続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]** を押す **（➜手順 ② へ）** ・20区間まで設定できます。 ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。 ⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す** ⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す** ●部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。 ●部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

番組結合 HDD	HDD にある 2 つの番組を 1 つの番組に結合することができます。以下の番組同士を結合することができます。 ●DR モードの番組同士 ●HG、HX、HE、HL、HM、HB モードの番組同士 ●XP、SP、LP、EP、FR モードの番組同士 ●本機に取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）同士 ●「1080/60p」の表示がある番組同士 ●本機に取り込んだMPEG2動画同士 ① **結合したい番組を選び、[決定]を押す** ② **「結合」を選び、[決定]を押す** お知らせ ●結合した番組は以下のようになります。 ・録画モード：画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません） ・ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数 ・番組名：最初に選択した番組名 ・チャプターマーク：結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が999を超える場合、超えた分は削除されます） ・番組の結合部分：映像や音声が途切れることがあります。 ・持ち出し番組は消去されます。 ● -R(V) -RW(V) 「高速ダビング用録画」(➜116)を「入」で録画した番組でも、以下の結合をすると高速ダビングできなくなる場合があります。 ・「切」で録画した番組との結合 ・16：9映像と4：3映像の番組同士との結合 ・録画モードが異なる番組や FR モードの番組との結合 ●以下の番組は結合できません。 ・ダウンロードした番組 ・録画時間の合計が 8 時間を超える場合 ・デジタル放送の番組とそれ以外の番組 ・本機で録画モード「DR」で録画した番組と i.LINK（TS）入力から記録した番組 ・スカパー！ HD の番組 - 録画モード変換(➜60)を行うと、結合できるようになります。視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。

番組分割	● -R(V) -RW(V) できません。 ① **「分割」を選び、分割する場面※で[決定]を押す** ●「プレビュー」を選び、[決定]を押すと、分割する場面を確認することができます。 **場面を選び直すには** ① 「分割」を選び、[▶ 再生]を押して再生を始める ② 分割する場面で、[決定]を押す ② **「終了」を選び、[決定]を押す** ③ **「分割」を選び、[決定]を押す** ●分割した番組は、まとめ 番組になります。 ●分割すると、持ち出し番組は消去されます。 ●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜50、51)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [❚❚ 一時停止] を押し、[◀❚❚] [❚❚▶] を押して場面を調整する

サムネイル変更

HDD -R(V) -RW(V)

録画一覧やトップメニューで表示される画像(サムネイル)を変更します。

- -R(V) -RW(V) サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。

① **[▶ 再生]を押して、再生を始める**

② **「変更」を選び、お好みの場面※で[決定]を押す**

場面を選び直すには

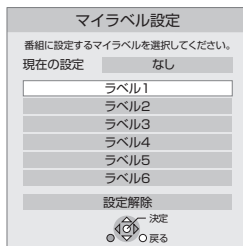
① 「変更」を選び、[**▶再生**]を押して再生を始める

② お好みの場面で、[**決定**]を押す

③ **「終了」を選び、[決定]を押す**

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

① **ラベルを選び、[決定]を押す**

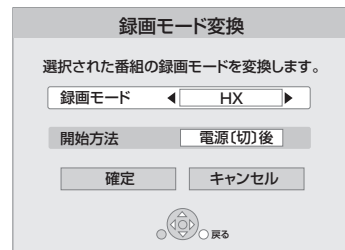
② **「マイラベル設定」を選び、[決定]を押す**

- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
- マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[**決定**] を押してください。
- マイラベル名は変更することができます。(➜ **48「分類ラベル設定」**)

録画モード変換

HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

録画モードを変換すると、HDD の容量をおさえることができます。

① **録画モードを選ぶ**

② **「開始方法」を選び、開始方法を設定する**

- **すぐに**:
  「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。
- **電源 [切] 後**:
  電源切後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

③ **「確定」を選び、[決定]を押す**

④ 「すぐに」開始する場合:
「開始」を選び、[決定]を押す

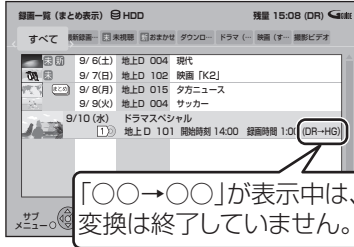
変換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合:
[決定]を押す

「電源 [切] 後」を選んだ後に、変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **58 ページ**手順 **3** で「録画モード変換」を選ぶ

② 「設定変更」または「設定取消」を選び、[**決定**] を押す

録画モード変換（つづき） HDD	
	☞ 変換が終了しているか確認するには

お知らせ

- 変換前の録画モードより高画質な録画モードを選ぶことはできません。
- 録画モードが EP、FR モードの番組や HDD に取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）では変換できません。
- HDDの残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- 複数の映像や音声などを含む番組をXP、SP、LP、EP、FRモードに変換する場合、変換を開始する直前に「信号切換」(➜**55**)で記録したい音声を選んでください。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜**50**、**51**)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀❚❚] [❚❚▶]** を押して場面を調整する

お知らせ

- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」(➜**94**)の設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。

チャプターの作成・再生・編集

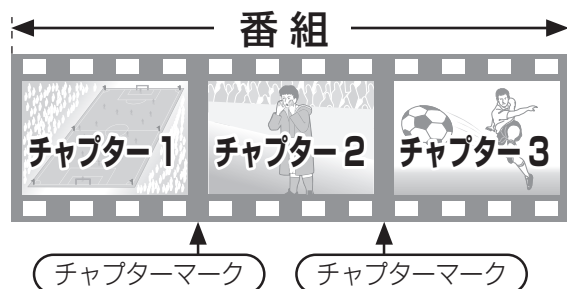
HDD (ダウンロードした番組ではできません)

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。

スキップ(➜50)すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」(➜116)を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。複数の番組を録画中でも作成します。
- 自動 CM 早送り(➜56)が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。(1 番組あたり最大 98 個)
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

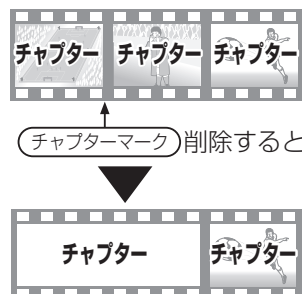
再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

 を押す

削除

一時停止中に

❶ **[スキップ⏮]または[スキップ⏭]を押して、削除したい場面に飛ぶ**

❷ **[チャプターマーク]を押す**

❸ **「はい」 を選び、(決定)を押す**

前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① **[録画一覧] を押す**

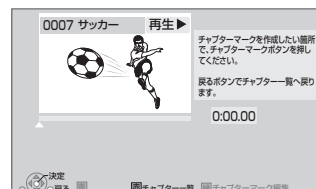
② **番組を選び、[サブ メニュー] を押す**

③ **「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す**

④ **[緑] を押す**

⑤ **上記「作成」「削除」の手順を行う**

お知らせ

- **HDD** チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能(➜50)や「サムネイル変更」(➜60)ができなくなります。

チャプターを再生・編集する

1 **を押す**

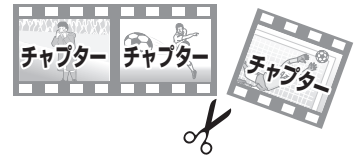
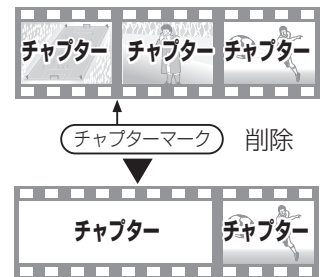
2 番組を選び、サブメニュー S を押す

3 「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す

4 編集する：
チャプターを選び、サブメニュー S を押す
（➜ 手順５へ）

再生する：
チャプターを選び、決定 を押す

5 編集する項目を選び、決定 を押す
（➜ 右記へ）

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。（元に戻すことはできません） **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。 ●持ち出し番組も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

1 を押す

2 番組を選び、[黄] を押す

- [まとめ] 番組内の番組を消去する場合、**[黄]** を押す前に、**[決定]** を押して、[まとめ] 番組内の番組を表示してください。

3 「消去」を選び、[決定] を押す

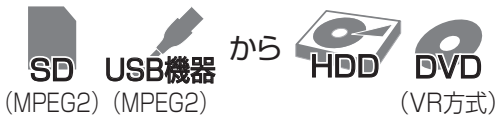
お知らせ

- **HDD** 消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く）
- **消去後のディスク残量について**
  - ・**HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW(VR)**
    消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - ・**-RW(V)**
    最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

  - ・**BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。
ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を行ってください。

DVDにデジタル放送をダビングする場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

☞ 複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて(➜73)

番組をダビングする

かんたんダビング

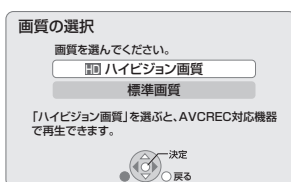
ダビング方向：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

HDD にある番組をディスクにダビングします。

1 ディスクを入れる

2 「かんたんダビング」を選び、決定 を押す

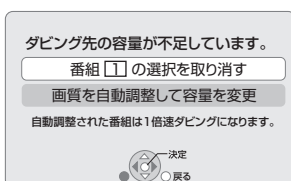
- **RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
  画質を選び、[決定] を押してください。

3 番組を選び、決定 を押す

☑ が表示されます。

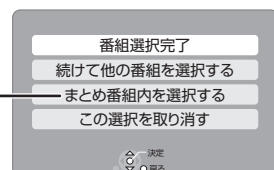
選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

例）

「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、決定 を押す

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示

他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(➜ 手順 3 へ)

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- オプション設定について(➜67)

6 「はい」を選び、決定 を押す

点灯

ダビングが終わると消灯

本体表示窓

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作(➜73)

お知らせ

- 「標準画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
  - ・10 ～ 1 の番組が含まれている場合：　VR 方式
  - ・10 ～ 1 の番組が含まれていない場合：　ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。（まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません）
- プロテクト設定(➜58)されている 1 の番組はダビングできません。
- 表示マークについては ➜155

かんたんダビングの画面の見かた

異なるラベルの番組を複数選んで
ダビングすることはできません。

選択中の番組数

ダビングする画質について

HD 表示のある番組:

●以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

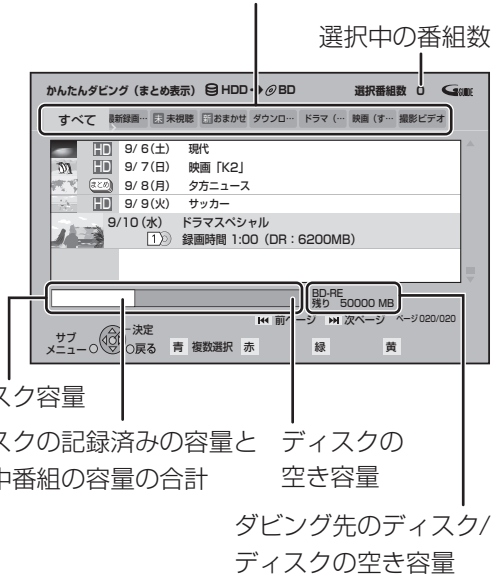
BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

●以下のディスクは標準画質でのダビングになります。

RAM(VR) **-R(VR)** **-R(V)** **-RW**

HD 表示のない番組:

●ディスクにかかわらず標準画質でのダビングになります。

● **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にはダビングできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面(➜66 手順 3)で

❶ **番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	**項目を選び、設定する** ●「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」にすると、**-R** **-RW** へのダビング終了後に、ファイナライズを行います。
視聴制限一時解除※	「HDD番組の視聴制限」(➜117)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※ 番組に ☑ が付いているときはできません。

番組をダビングする(つづき)

詳細ダビング

ダビング方向:

HDD ➡ **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)**
-RW(VR) ➡ **HDD**

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜108)

1 **を押す**

2 **「ダビングする」を選び、決定 を押す**

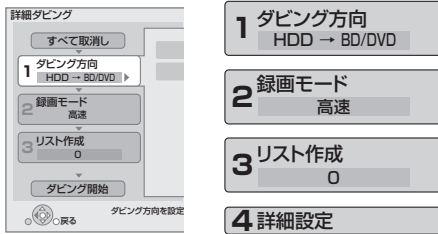
3 **「詳細ダビング」を選び、決定 を押す**

4 **項目を選び、[▶] を押す**(➜ 右記へ)

●「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。

5 **「ダビング開始」を選び、決定 を押す**

6 **「はい」を選び、決定 を押す**

点灯

ダビングが終わると消灯　DUB　本体表示窓

☞ ダビングを実行中に中止するには

戻る を 3 秒以上押す

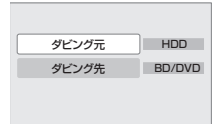
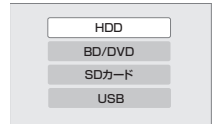
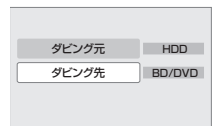
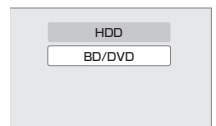
●ファイナライズ中は中止できません。

●中止時の動作(➜73)

お知らせ

●当社製ブルーレイ / DVD ビデオカメラで撮影した映像を HDD にダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。

ダビング方向

❶ 「ダビング元」を選び、決定 を押す

❷ ダビング元を選び、決定 を押す

❸ 「ダビング先」を選び、決定 を押す

❹ ダビング先を選び、決定 を押す

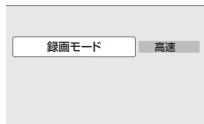
❺ [◀] を押す(➜ 左記手順 4 へ)

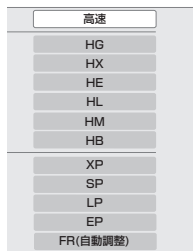
お知らせ

●ダビング先とダビング元をHDDにすると番組を複製することができます。(複製後は まとめ 番組になります)

・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります)

・ 1 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。

録画モード

❶「録画モード」を選び、決定 を押す

❷ 録画するモードを選び、決定 を押す

❸ [◀] を押す（➜68 手順 4 へ）

お知らせ

- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。

リスト作成

❶「新規登録」を選び、決定 を押す

❷ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- 挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ すべてを選んだあと、決定 を押す

❹ [◀] を押す（➜68 手順 4 へ）

お知らせ

- 高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
- 高速モードで -R(V) -RW(V) にダビングする場合、▶▶◎ 表示のある番組のみ登録できます。
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（-R -RW へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、決定 を押す

❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

❸ [◀] を押す（➜68 手順 4 へ）

（BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ HG、HX、HE、HL、HM、HBモードでダビングするときのみ）

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、決定 を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、決定 を押す

- モード 1 ：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード 2 ：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(➜55)で記録する内容を設定してください。

❸ [◀] を押す（➜68 手順 4 へ）

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(➜111)を行います。記録や編集をすることはできなくなります。

詳細ダビング(つづき)

ダビングの便利な機能

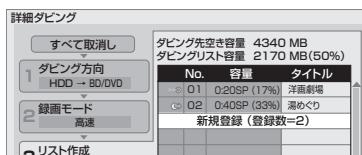
リスト作成画面(➜69「リスト作成」手順 ❷)で

❶ 番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除※ HDD	「HDD 番組の視聴制限」(➜117)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※ HDD	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ 全番組表示へ※ HDD	表示を切り換えます。

※ 番組に☑ が付いているときはできません。

リスト作成画面(➜69「リスト作成」手順 ❶)で

●登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、[決定] を押す
●リスト項目を入れ替える：
番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
●リストの追加や消去、移動などの編集をする：
[サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
・リスト全消去
・追加
・消去
・移動

ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

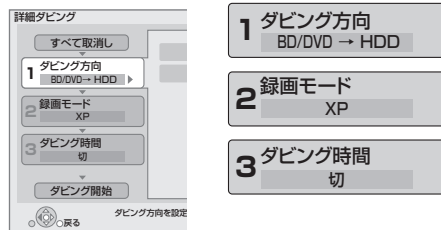
ダビング方向：
DVD-V（ファイナライズ後の -R(V) -RW(V)、+R、+R DL、+RW）➡ HDD

1 スタート を押す

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

●操作方法は「詳細ダビング」(➜68)をご覧ください。

以下のように設定してください。
・「ダビング方向」：「ダビング元」➜「BD/DVD」
・「録画モード」 ：「録画モード」を選ぶ
（「高 速」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HB」「FR」は選べません）
・「ダビング時間」：ダビング時間を設定する(➜71)

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

●最初に右記の画面がダビングされます。
●番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

☞ トップメニューが表示された場合は

番組を選び、[**決定**] を押す

☞ 好みの番組を再生するには

① [**録画一覧**] を押す
② 番組を選び、[**決定**] を押す

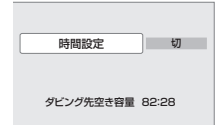
☞ ディスクの再生が始まらない場合は

① [**▶ 再生**] を押す
②（トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[**決定**] を押す

☞ ダビングを実行中に中止 / 終了するには

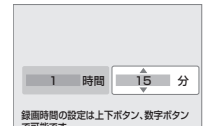
を 3 秒以上押す

ダビング時間

❶「時間設定」を選び、決定 を押す

❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

●「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

❸「録画時間」を選び、決定 を押す

❹ “時間”または“分”を選び [▲][▼] で設定し、決定 を押す

お知らせ

- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ(➜**50**)で飛び越すことができます。

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。

- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -RW

- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜108)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

- RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) [音声切換]を押して記録したい音声を選び、「信号切換」(➜55)で字幕情報の設定をする

2 サブメニュー S を押す

- 表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

ダビングを実行中に中止するには

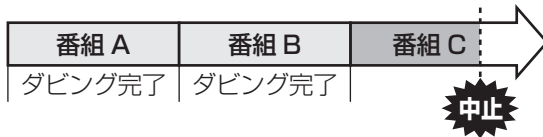
戻る を3秒以上押す

- 中止時の動作(➜73)

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例）番組 A･B･C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

高速　番組 A･B のみダビングされます。
番組 C はダビングされません。

1 倍速　番組 A･B と番組 C の途中までがダビングされます。

ただし

●HDDからディスクへのダビングで、番組 C がコピー制限のある番組

・番組Cはダビングされず、ダビング元に残ります。

●HDD から -R(V) -RW(V) にダビング

・HDD に一時的に複製中：番組A･B･Cはダビングされません。

・DVD に高速ダビング中：番組 C はダビングされません。

BD-R -R ダビング速度に関係なく、番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R(V) -RW(V) に 1 倍速でダビングするときの動作

1 倍速で番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。

HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。HDDの不要な番組を消去(➜64)してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(➜168)を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

ダビング先のディスクにかかわらず、1 倍速ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

3D 対応の番組のダビングについて

以下の番組のダビングをした場合は、「出力方式」(➜54)を「サイドバイサイド」にして再生してください。

● 3D 表示のある番組を BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビング

● 3D 表示のない番組をダビング

複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

HDDに録画した番組をダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。

● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
（高速、HG、HX、HE、HL、HM、HB モードでダビング時）
複数の音声や字幕情報を記録できます。（再生時に切り換え可能）

● BD-RE BD-R （XP、SP、LP、EP、FRモードでダビング時）
RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
複数の音声や字幕情報の記録はできません。（再生時に切り換え不可）
ダビング前に記録したい音声や字幕の入 / 切を設定してください。

① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
・**[音声切換]**を押して記録したい音声を選ぶ
・「信号切換」(➜55)で字幕の設定をする

② ダビングする（1 倍速ダビングになります）

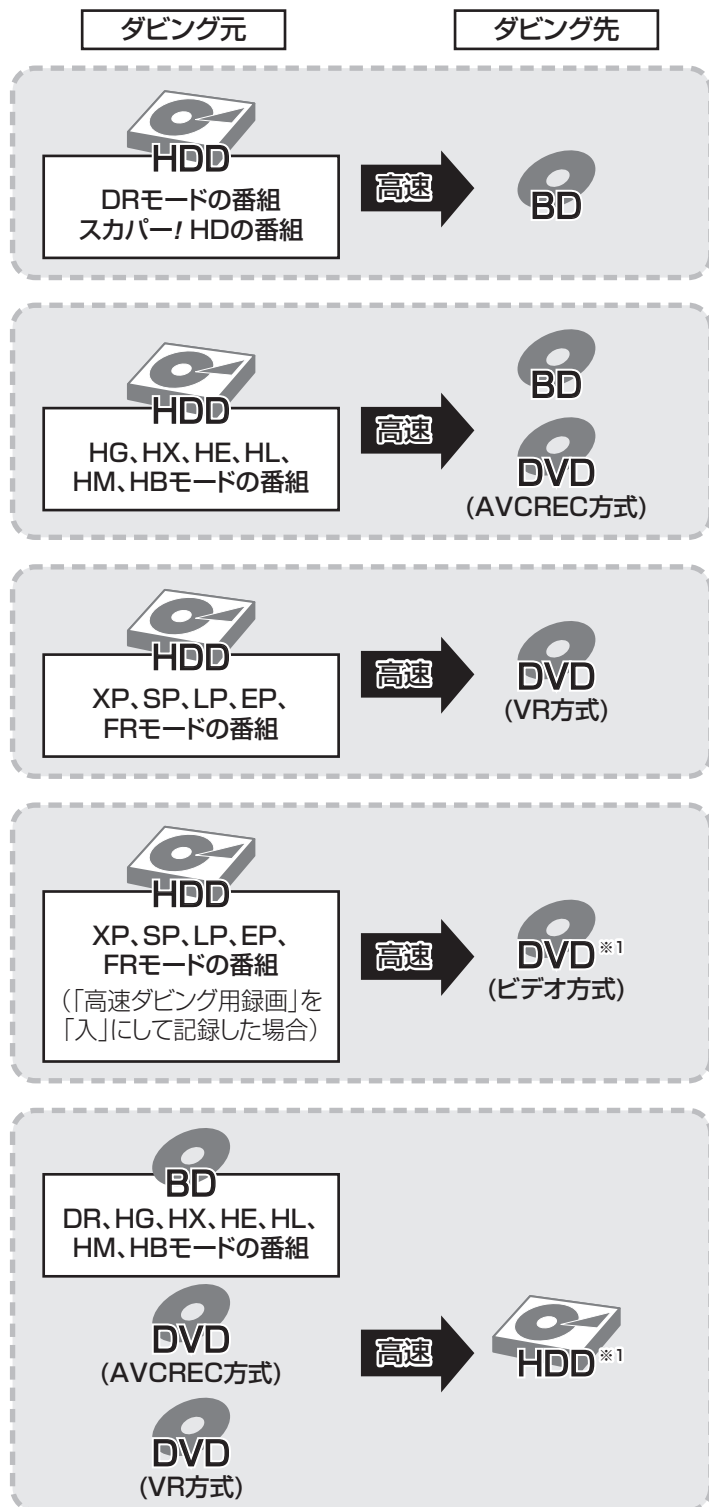
字幕の設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1 番組ずつダビングしてください。

お知らせ

●他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 詳細ダビングの詳細設定(➜69)で、「音声･字幕の記録」を「モード2」にしてディスクに 1 倍速ダビングすると、「信号切換」(➜55)で設定した内容で記録することができます。（ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできなくなります）

ダビング時の動作について(つづき)

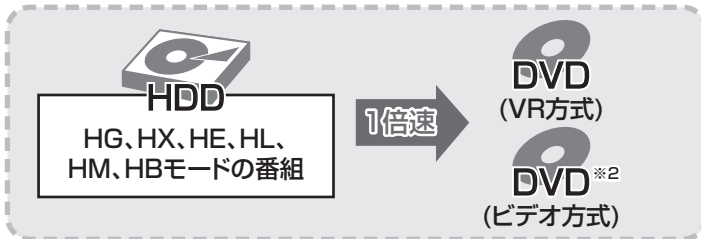
ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。

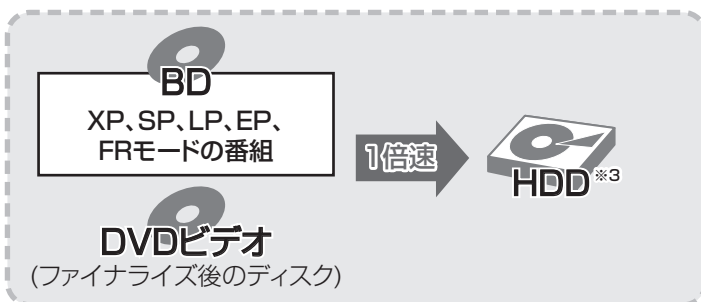
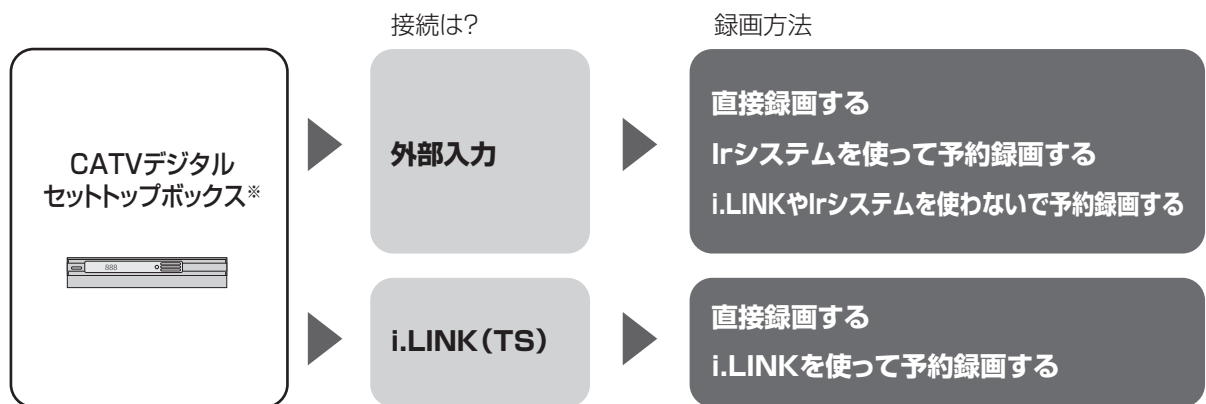
高速でダビングできる場合

※ 1 デジタル放送の番組はダビングできません。

●高速ダビングでの録画モードは、ダビングする番組と同じです。

●ディスク容量を超えてダビングする場合やディスクに記録した機器によっては、1 倍速ダビングになります。

高速でダビングできない場合（1 倍速ダビングになる場合）

ダビング元　ダビング先

※ 2 ハイビジョン動画（AVCHD）のみダビングできます。

※ 3 デジタル放送の番組はダビングできません。

CATV(ケーブルテレビ)から本機に録画する

※ i.LINK 端子からは録画できない機器もあります。接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

接続と設定

外部入力

●映像·音声コードで接続する(**➜ 準備編 9**)

i.LINK(TS)

●i.LINK ケーブルで接続する(**➜ 準備編 9**)

●**初期設定**で以下の設定をする

·「i.LINK 機器モード設定」:「TSモード2」(**➜121**)

直接録画する

HDD

1 入力切換(リモコン下部)**を押して、CATV を接続した端子(「L1」など)を選び、CATV でチャンネルを選ぶ**

2 録画モード(ふた内部)**を押して、録画モード**(**➜**40)**を選ぶ**

●i.LINK(TS)入力の場合、録画モードは「DR」のみ選べます。

3 録画(ふた内部)**を押す**

録画を止めるには

■停止 を押す

お知らせ

●S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。

●i.LINK 機器から予約録画や Ir システムで連動予約をする場合、以下のことにお気をつけください。

·他の操作を実行していると、予約録画が開始されない場合があります。予約の開始前には本機の電源を切ってください。

·録画中に本機の操作を行うと、中断する場合があります。録画中に本機の電源を切らないでください。

·番組の先頭部分が録画されないときがあります。

●CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。

お知らせ

●外部入力(L1)から録画中、DRモード以外の本機の予約録画が始まると、録画は中断します。

●i.LINK(TS)入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画(**➜42**)できない場合は、録画が中断します。

Ir システムを使って予約録画する

●連動予約時: HDD
●タイマー予約時: HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)

1 CATV 側の設定をする

●「リモコン種別」の「DVD レコーダー(1～3)」を本機が動作する番号に合わせてください。

2 本機の設定をする

☞ **連動予約のとき**

① [HDD] を押して、「HDD」を選ぶ
② [入力切換](リモコン下部)を押して、接続した外部入力端子(「L1」)を選ぶ
③ [録画モード] を押して、録画モードを選ぶ(➜40)
④ 本機の電源を切る

☞ **タイマー予約のとき**

●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に"ACCEPT"が表示されます。
●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(➜35)

予約時刻になると、録画が実行されます。

お知らせ

●本機のリモコンモード(➜準備編34)は「リモコン1」～「リモコン3」に設定してください。
●本機動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
●お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。
●**連動予約時のみ**
・本機の予約一覧には登録されません。
・本機のDRモード以外の予約録画が始まると、録画は中断します。

i.LINK を使って予約録画する

HDD

1 CATV 側で i.LINK 設定と予約の設定をする

2 本機の電源を切る

お知らせ

●本機には「DR」で録画されます。
●本機の予約一覧には登録されません。
●番組名は最大 22 文字まで記録します。
●i.LINK(TS)入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画(➜42)できない場合は、録画が中断します。

i.LINK や Ir システムを使わないで予約録画する

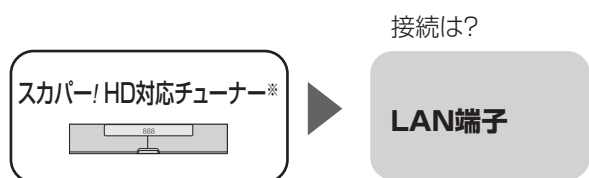
HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)

1 CATV 側で予約設定をする

2 本機の「時間指定予約」で予約する(➜34)

●「放送種別/チャンネル」は「外部入力L1」に設定してください。

スカパー! HD 対応のチューナーから本機に録画する

スカパー! HD対応チューナー※ → 接続は? LAN端子

※ 外部入力から録画する場合は、「直接録画する」(➜76)の手順で録画してください。

接続と設定

LAN 端子
- ネットワーク接続と設定をする
 (➜ 準備編 14、準備編 23)
 スカパー! HD 録画の設定を変更する場合
 (➜ 準備編 38)

ネットワークで接続すると、スカパー! HD対応のチューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

HDD

スカパー! HD対応のチューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー! HD 対応のチューナーの説明書をご覧ください。
- 本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(➜35)
  - ・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
  - ・接続しているチューナーによって、または視聴制限のある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。

スカパー! HD録画中は、本体前面の“LAN録画”ランプが点灯します。

本体前面

録画を止めるには

■停止 を押す
- 複数の番組を録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

- スカパー! HDの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
  - ・本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。
   (➜ 準備編 37「時刻合わせ」)
  - ・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- スカパー! HD の 2 番組は同時に録画することができません。
- スカパー! HDの番組を録画中は、市販のBDビデオやAVCHDのディスクを再生することはできません。
- 予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」(➜32)、「番組名入力」(➜34)、「マイラベル設定」(➜33)の設定ができます。
 ただし、チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。
- 録画中のスカパー! HDの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。
- スカパー! HD の番組は、録画モードが表示されません。
- 視聴制限のある番組は、録画一覧画面(➜47)やダビング画面(➜66、69)などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。
- 以下の場合、記録したスカパー! HD の番組は字幕表示の入 / 切または文字スーパーの記録ができません。
  - ・接続しているチューナーが字幕データまたは文字スーパーの出力に対応していない場合
  - ・標準画質の番組の場合
  - ・1 倍速ダビングした場合
  - ・他社製機器で記録した場合

ビデオカメラからダビングする

	接続は?	ダビング方法
AVCHD対応ビデオカメラ ハイビジョン動画(AVCHD)	**USB端子** または **SDカード・ディスク**	**ハイビジョン動画(AVCHD)を取り込む**
	外部入力 (標準画質になります)	**外部入力(L1)取込** **接続した機器を再生してダビングする**
SDビデオカメラ MPEG2動画	**USB端子** または **SDカード**	**MPEG2動画を取り込む**
	外部入力	**外部入力(L1)取込** **接続した機器を再生してダビングする**
DV機器 DVテープなど	**i.LINK** **(DV入力)**	**DVおまかせ取込** **接続した機器を再生してダビングする**
	外部入力	**外部入力(L1)取込** **接続した機器を再生してダビングする**
その他の機器 VHSテープなど	**外部入力**	**外部入力(L1)取込** **接続した機器を再生してダビングする**

接続と設定

USB 端子

●接続する(➜130)

SD カード・ディスク

●挿入する(➜11)

外部入力

●ビデオと接続する(➜ **準備編** 17)

i.LINK(DV 入力)

●i.LINK ケーブルで接続する(➜ **準備編** 9)

●**初期設定**で以下の設定をする

・「DV 入力時の音声設定」:記録する音声の種類を選ぶ(➜118)

・「i.LINK 機器モード設定」:「DV モード」(➜121)

ビデオカメラからダビングする(つづき)

ハイビジョン動画(AVCHD)を取り込む

USB SDカード ディスク

AVCHD対応ビデオカメラで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を取り込むことができます。

- ディスクは HDD に、USB 機器または SD カードは HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) に取り込むことができます。
- AVCHD 対応ビデオカメラで撮影した 1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組(「1080/60p」の表示がある番組)は HDD にのみ取り込むことができます。

USB 機器を接続する(➜130)またはディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) USB

USB機器
写真
撮影ビデオ

ディスクの場合:

- 右記の手順 3 に進みます。

USB 機器または SD カードの場合:

① 「撮影ビデオ」を選び、[決定] を押す

② 「AVCHD(ハイビジョン画質)を取り込む」を選び、[決定] を押す

- 右記の手順 4 に進みます。

1 スタート を押す

2 ディスクから取り込む場合:

「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合:

❶ **「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**

❷ **「USB 機器」を選び、決定 を押す**

❸ **「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す**

❹ **「AVCHD(ハイビジョン画質)を取り込む」を選び、決定 を押す**

- 手順 4 へ

SD から取り込む場合:

「SD カード」を選び、決定 を押す

3 **「撮影ビデオ(AVCHD)を取込」を選び、決定 を押す**

4 USB SD から取り込む場合:

「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定 を押す

5 **タイトルを選び、青 を押す**

- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには

タイトルを選び、[青] を押す

6 **すべてを選んだあと、決定 を押す**

7 **「ダビング開始」を選び、決定 を押す**

- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

MPEG2 動画を取り込む(ダビング)

USB SDカード

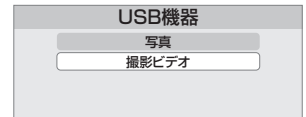
SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングします。

- USB 機器または SD カードから HDD RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) にダビングできます。
- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜108)

1 USB 機器を接続する または SD カードを入れる

USB 機器を接続するには(➜130)

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

例) USB

USB機器
写真
撮影ビデオ

3 「MPEG2(標準画質)を取り込む」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(➜68)をご覧ください。
  以下のように設定されているかご確認ください。
  ・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「USB」
  または「SD カード」

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合 99 シーンごとに分けて取り込みます。
- AVCHD 対応ビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。ただし、撮影状態によっては、同じ日に撮影されたシーンでも、別々のタイトル(日付に「-1」、「-2」などを表示)となる場合があります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。
- 本機は、当社製 AVCHD 対応ビデオカメラ DZ-BD10H の HDD からの取り込みには対応していますが、DZ-BD9H/DZ-BD7H/DZ-HD90 の HDD からの取り込みはできません。

お知らせ

- ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
- USB 機器や SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
- ダビング中は、録画や再生はできません。
- BD-RE、BD-Rには直接ダビングできません。いったんHDDにダビングしてから、ディスクにダビングしてください。

接続した機器を再生してダビングする

外部入力　i.LINK(DV入力)

HDD

1 入力切換(リモコン下部)**を押して、外部機器を接続した端子(L1、DV)を選ぶ**

2 録画モード(ふた内部)**を押して、録画モード(**➜40**)を選ぶ**

●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HB」「FR」は選べません。

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、録画(ふた内部)**を押す**

録画を一時停止するには

❚❚一時停止 を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

■停止 を押す

外部入力(L1)取込

外部入力

BD-RE　BD-R　RAM(VR)　-R(VR)　-R(V)　-RW(VR)　-RW(V)

●外部入力(L1)端子に接続したときのみ

1 スタート **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 **を押す**

3 「ぴったり録画」を選び、決定 **を押す**

4 「ディスクに録画」を選び、決定 **を押す**

5 "時間"または"分"を選び、録画時間を設定する

6 接続した機器で再生を始め、「録画開始」を選び、決定 **を押す**

●FR モードで録画します。

録画の残り時間を確認するには

画面表示 を押す

録画を一時停止するには

❚❚一時停止 を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

■停止 を押す

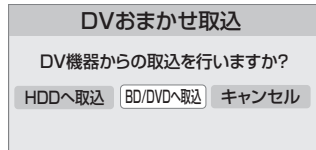
DV おまかせ取込

i.LINK(DV入力)

HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V)
-RW(VR) -RW(V)

●i.LINK(DV 入力 /TS)端子に接続したときのみ

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

DVおまかせ取込
DV機器からの取込を行いますか?
HDDへ取込 BD/DVDへ取込 キャンセル

2 「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定 を押す

3 録画モード(ふた内部)を押して、録画モード(➜40)を選ぶ

●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HB」「FR」は選べません。

4 「録画開始」を選び、決定 を押す

録画を止めるには

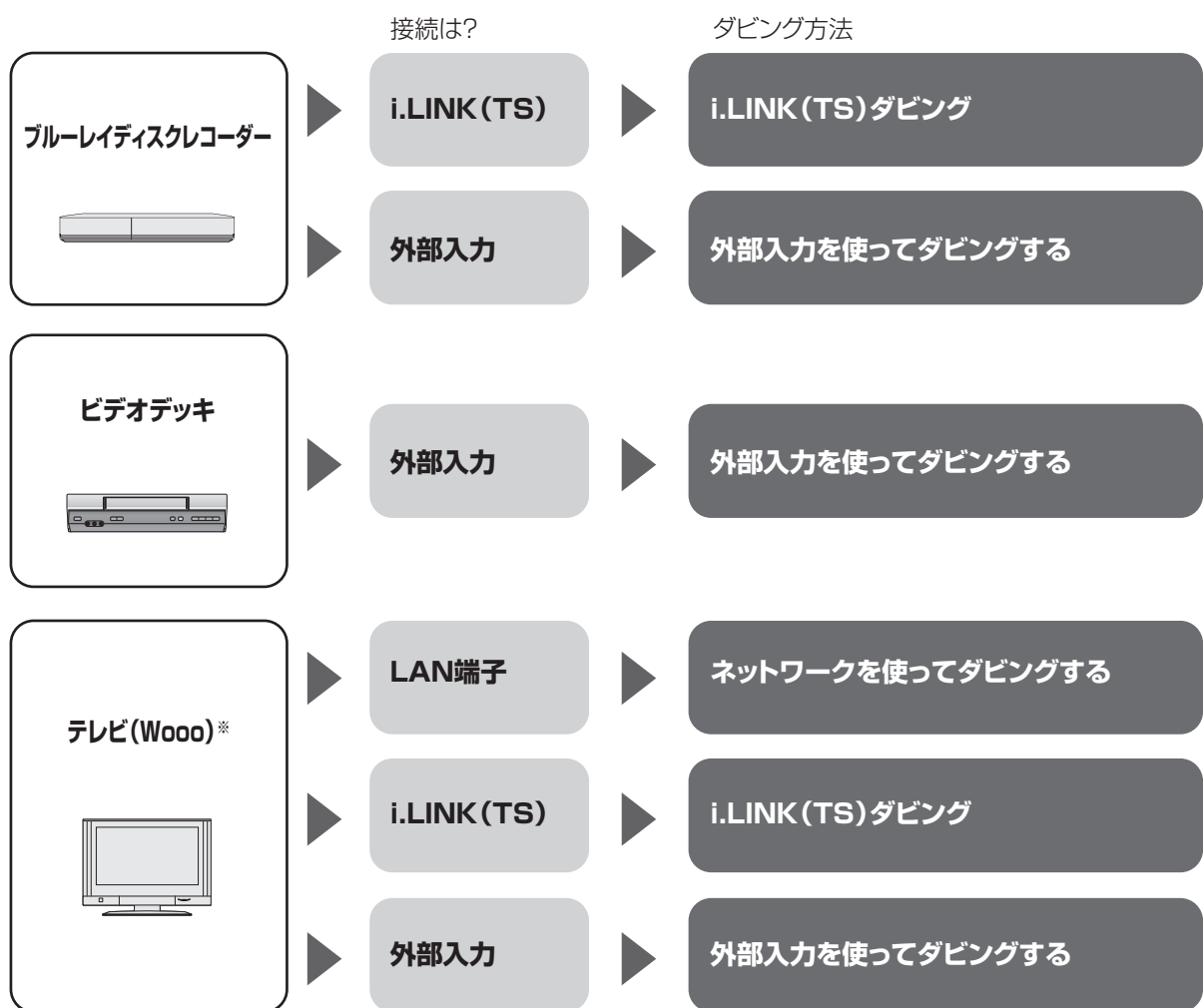
■停止 を押す

お知らせ

●日付や時刻情報は記録されません。
●DV 機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。

お知らせ

●i.LINK(DV 入力 /TS)経由で、接続した機器から本機を操作することはできません。
●i.LINK(DV入力/TS)経由で本機に接続できるDV機器は、1台のみです。
●DV 機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
●「外部入力(L1)取込」中または DV 入力からダビング中は
・予約録画が始まると、ダビングを中断します。
・追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
●-R 記録や編集を約 30 回行うと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。
●-R(V) -RW(V) 「外部入力(L1)取込」または「DV おまかせ取込」後にファイナライズ(➜111)を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。
●片面 2 層の -R(V) は、外部入力(L1)取込や DV おまかせ取込はできません。

レコーダー・ビデオデッキ・テレビ(Wooo)から ダビングする

※ i.LINK(TS)、LAN 端子でダビングするかは機器によって異なります。

接続と設定

i.LINK(TS)

●i.LINK ケーブルで接続する(➜ **準備編 9**)
●「i.LINK機器モード設定」を設定する(➜121)
 ・当社製ブルーレイディスクレコーダーと接続:「TS モード 1」
 ・当社製テレビと接続:「TS モード 2」
●接続機器側の i.LINK(TS)の設定をする

外部入力

●ビデオと接続する(➜ **準備編 17**)

LAN 端子

●ネットワーク接続と設定をする(➜ **準備編 14**、**準備編 23**)
 ホームサーバー機能の設定を変更する場合(➜ **準備編 38**)

i.LINK(TS)を使ってダビングする

HDD に録画モード「DR」で録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、接続した機器から HDD へダビングすることができます。

- 本機は、i.LINK(TS)に対応した当社製ブルーレイディスクレコーダーまたは当社製テレビとの動作のみ保証しています。(2011 年 2 月現在)

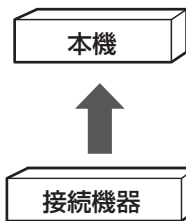
対応機器

- 当社製ブルーレイディスクレコーダー:
  DV-BH250/DVL-BR9/DVL-BR10/DVL-BRT11
- 当社製テレビ:
  XR01/HR01/XR10000/HR10000/HR100CS/HR9000/HR8000 シリーズおよび L37-X01

お知らせ

- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
- 本機から i.LINK 対応機器の再生などの操作はできません。
- i.LINK(TS)経由で本機に接続できる i.LINK(TS)機器は、1 台のみです。

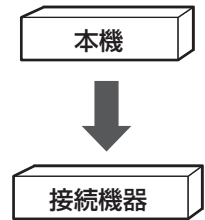
レコーダーなどから本機へダビングする

ダビングできる当社製機器:
ブルーレイディスクレコーダー
テレビ

ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

- 接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 録画モードは「DR」でダビングします。
- 本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画(➜42)できない場合は、ダビングは中止されます。

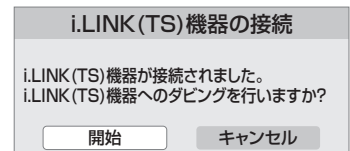
本機からレコーダーなどへダビングする

i.LINK(TS)ダビング

- HDD のDRモードの番組のみダビングできます。

1 接続した i.LINK(TS)機器の電源を入れる

2 「開始」を選び、決定 を押す

- ダビング元になる側で操作します。

i.LINK(TS)機器の接続
i.LINK(TS)機器が接続されました。
i.LINK(TS)機器へのダビングを行いますか?
開始　キャンセル

下記操作で開始することもできます。
① [スタート] を押す
② 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
③ 「i.LINK(TS)ダビング」を選び、[決定] を押す

3 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

4 すべてを選んだあと、決定 を押す

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- ダビングは、1 倍速になります。

お知らせ

- 1 の表示がある番組は以下のようになります。
  - ・ダビングすると、HDD から消去されます。
  - ・ダビングを中止すると、中止した位置までの内容はHDDから消去されます。
- 10 〜 2 の表示がある番組は以下のようになります。
  - ・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
  - ・ダビングを中止してもダビングできる残り回数は減ります。
- 接続した機器が、録画や再生中や確認画面が表示されているときはダビングできない場合があります。

レコーダー・ビデオデッキ・テレビ(Wooo)から ダビングする(つづき)

外部入力を使ってダビングする

HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

- **HDD にダビングする場合:**
  「接続した機器を再生してダビングする」(➜82)

- **ディスクにダビングする場合:**
  「外部入力(L1)取込」(➜82)

ネットワークを使ってダビングする

HDD

HDD 内蔵の当社製 AV ネットワークダビング対応のテレビとネットワーク接続すると、テレビのHDDに録画した番組を本機の HDD にダビングすることができます。

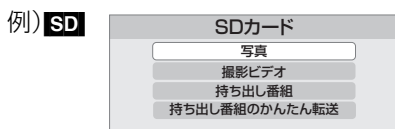
- ネットワーク接続と設定をする
  (➜ 準備編 14、準備編 23)
  ホームサーバー機能の設定を変更する場合
  (➜ 準備編 38)

ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

- CD USB 写真を記録したCD-R、CD-RWやデジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3DテレビとHDMIケーブルで接続している場合、3D対応のデジタルカメラで撮影した写真（MPO）の3D再生をお楽しみいただけます。

ディスク、SDカードを入れるまたはUSB機器を接続（➜130）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

「写真」を選び、[決定] を押す
- 下記の手順 3 に進みます。

1 **を押す**

HDD 手順3へ

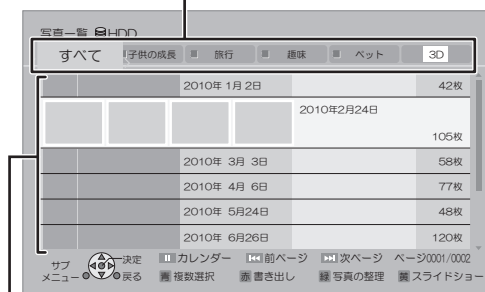
2 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定を押す

SD
「SDカード」を選び、決定を押す

USB
❶ **「その他の機能へ」を選び、決定を押す**
❷ **「USB機器」を選び、決定を押す**
❸ **「写真」を選び、決定を押す**

3 「写真を見る」を選び、決定を押す

4 イベント（日付またはフォルダ）を選び、決定を押す

例）HDD
ラベル
- の付いたラベル：アルバム
  ・イベントをお好みでアルバムに入れておくと、さらに写真を探しやすくなります。（➜89）
- 3D ラベル：
  取り込んだ3D写真（MPO）が自動で分類されています。3D再生する場合はこのラベルから選んでください。（他のラベルからは2D再生になります）

イベント
- HDDに取り込まれた写真（➜90）は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。

5 写真を選び、決定を押す

再生を止めるには
■停止 を押す
- 止めた写真の位置を一時的に記憶します。

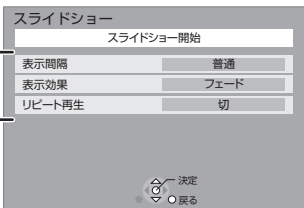
前後の写真を見るには
[◀][▶] を押す

写真の情報を表示するには
画面表示 を押す

スライドショーを見るには
再生 を押す

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。
- HDD以外のメディアの写真は、フォルダごとに表示します。「¥...¥」はフォルダの階層を表します。
- ☒ の表示になっている写真は、本機では再生できません。

写真を再生する(つづき)

写真再生のいろいろな機能

写真一覧表示中または写真再生中に操作します。

1 サブメニュー S **を押す**

●表示されない場合、もう一度[**サブ メニュー**]を押してください。

2 項目を選び、決定を押す

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、[決定]を押す** 例） 開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(➜ 下記) **スライドショーを終了するには** [**戻る**] を押す **表示間隔** 画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。 **表示効果** 写真の表示方法を設定します。 ●「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。 （3D 写真再生時を除く） **リピート再生** 再生を繰り返します。
カレンダー HDD	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からイベントを探すことができます。

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。(➜19) ●3D写真再生時は効果がありません。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右 90° 回転 左 90° 回転	写真を回転します。

写真の整理をする

基本操作　選び　決定する

HDD　BD-RE　RAM　SD

1 **[スタート]を押す**

HDD 手順3へ

2 BD-RE　RAM
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、[決定]を押す

SD
「SD カード」を選び、[決定]を押す

3 **「写真を見る」を選び、[決定]を押す**

4 イベント単位で管理する場合:

イベントを選び、[サブメニュー]を押す(➜ 手順 6 へ)

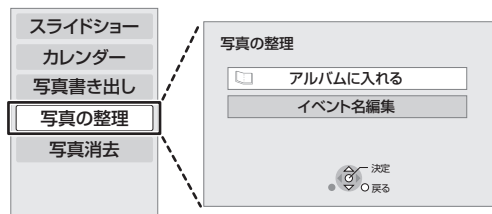
写真単位で管理する場合:

イベントを選び、[決定]を押す

- 「イベントをまとめる」ときは、[青] を押してイベントを選択したあと、[サブ メニュー] を押してください。

5 **写真を選び、[サブメニュー]を押す**

6 **項目を選び、[決定]を押す**(➜ 右記へ)

例)HDD 「すべて」表示時

アルバムに入れる HDD ●「すべて」表示時のみ	イベントまたは写真を既存のアルバムに登録します。 **登録するアルバムを選び、[決定] を押す**
イベント名編集	イベント名を編集します。 **文字入力については(➜105)**
イベントをまとめる HDD ●アルバム表示時のみ	選択した2つ以上のイベントを、1つのイベントにまとめることができます。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
アルバムから除外 HDD ●アルバム表示時のみ	選択したイベントや写真をアルバムから外します。 **「アルバムから除外」を選び、[決定]を押す**
アルバム名編集 HDD ●アルバム表示時のみ	選択中のアルバムのアルバム名を編集します。 **文字入力については(➜105)**
写真消去 ●「すべて」「フォルダ」表示時のみ	イベントまたは写真を消去します。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除 BD-RE RAM SD	**「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定]を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

お知らせ

- HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」(➜117)を行ってください。

写真を取り込む / 書き出す

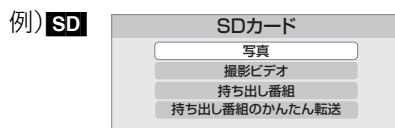
写真を取り込む

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW ➡ HDD

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴をHDDに保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

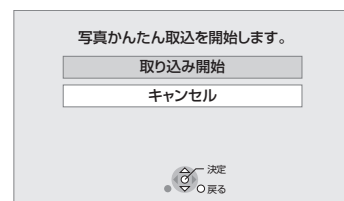
ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続(➜130)すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例) SD

① 「写真」を選び、[決定] を押す
② 「写真を取り込む」を選び、[決定] を押す
●右記の手順 4 に進みます。

1 (スタート) **を押す**

2 ディスクから取り込む場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、(決定)を押す
SD から取り込む場合:
「SD カード」を選び、(決定)を押す
USB から取り込む場合:
❶ **「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す**
❷ **「USB 機器」を選び、(決定)を押す**
❸ **「写真」を選び、(決定)を押す**
❹ **「写真を取り込む」を選び、(決定)を押す**
●右記手順 4 へ

3 「写真かんたん取込」を選び、(決定)を押す

4 「取り込み開始」を選び、(決定)を押す

5 取り込み終了後、「HDD の写真一覧を見る」または「テレビ視聴画面へ」を選び、(決定)を押す

お知らせ
- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」(➜117)や「全写真消去」(➜117)を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合や写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」(➜91)を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。
- イベント名は取り込まれません。

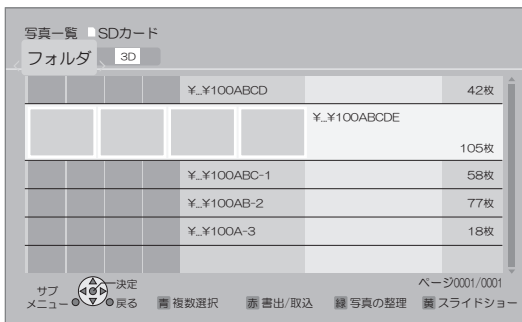
写真一覧から取り込む

1 スタート を押す

2 ディスクから取り込む場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定を押す
SD から取り込む場合:
「SD カード」を選び、決定を押す
USB から取り込む場合:
❶ **「その他の機能へ」を選び、決定を押す**
❷ **「USB 機器」を選び、決定を押す**
❸ **「写真」を選び、決定を押す**

3 **「写真を見る」を選び、決定を押す**

4 **イベントまたは写真を選び、青を押す**
- 選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例) SD

5 **すべてを選んだあと、赤を押す**

6 **「HDD へ取り込む」を選び、決定を押す**

7 **「アルバムに入れる」または「アルバムに入れない」を選び、決定を押す**
- 「アルバムに入れる」を選んだ場合、取り込み先のアルバムを選んでください。
- 「アルバムに入れる」を選んだ場合のみイベント名を取り込みます。

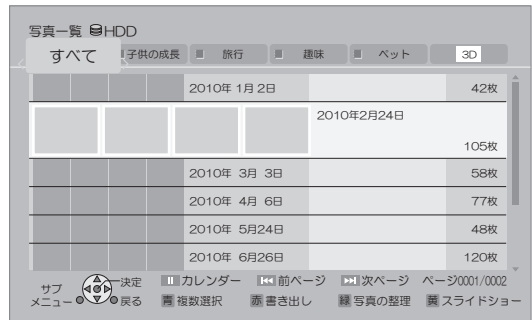
8 **「取り込み開始」を選び、決定を押す**

写真を書き出す

HDD ➡ BD-RE RAM SD
BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW ➡ SD
SD USB ➡ BD-RE RAM

87 ページ手順 1 ～ 3 のあと

4 **イベントまたは写真を選び、青を押す**
選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。
操作を繰り返します。

例) HDD

5 **すべてを選んだあと、赤を押す**

6 ディスクに書き出す場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD へ書き出す」を選び、決定を押す
SD に書き出す場合:
「SD カードへ書き出す」を選び、決定を押す

7 **「書き出し開始」を選び、決定を押す**

音楽 CD を再生する

CD

音楽 CD を入れる

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、[**決定**] を押す

音楽再生中のいろいろな操作

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。

・「再生」(➜56)の「リピート」「ランダム」

・「音声」(➜57)

写真のスライドショー

音楽再生中に、 青 を押す

スライドショーを停止するには

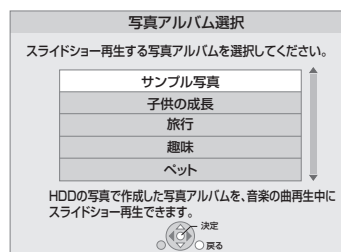
[**戻る**] を押す
(音楽を停止したときも、停止します)

表示させる写真を選択するには

本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ HDD に内蔵されているサンプル写真または「アルバムに入れる」(➜89)で登録したアルバムからのみ選ぶことができます。

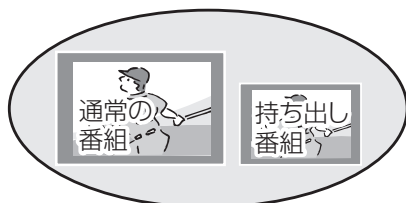
① **スライドショー再生中に、[サブ メニュー] を押す**

② **「写真アルバム選択」を選び、[決定] を押す**

③ **アルバムなどを選び、[決定] を押す**

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。

持ち出し番組について

●通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。（ダウンロードした番組は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません）
●通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。（ダウンロードした番組を除く）
●本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

持ち出し番組の画質について

本機では持ち出し番組の記録画質を選ぶことができます。「高画質（VGA）」に設定すると、「ワンセグ画質（QVGA）」より高画質で作成します。（ 高画質 と表示）ただし、「高画質（VGA）」に対応したモバイル機器でしか再生できません。

●「持ち出し番組の VGA 画質」（➜117）で記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更できます。

多重音声の記録について

多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。

●マルチ音声の番組

・録画した番組から作成するとき：
「信号切換」の「音声」（➜55）で設定した音声 1 つ
・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません

●二重音声の番組

・録画した番組から作成するとき：
ステレオ音声
・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
両方の音声

持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定 HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。

番組予約（➜24 手順 5）、詳細設定（➜32 手順 1）、または時間指定予約（➜34 手順 3）画面で

❶ **「持ち出し番組の設定」を選び、決定を押す**
❷ **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」に設定する**
❸ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❹ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
●「する」に設定しておくと、「かんたん転送」（➜95）で自動的に転送することができます。

お知らせ

●地上デジタル放送を「ワンセグ画質（QVGA）」で作成する場合、通常の番組の録画と同時に作成します。
●以下の場合、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
・「高画質 (VGA)」で作成するとき
・BS･CS デジタル放送、外部入力から作成するとき
・スカパー! HD の番組から作成するとき
・地上デジタル放送録画時に、ワンセグ放送が行われていないとき
・地上デジタル放送の連続録画時間が8時間を超えるときの超えた分
●ワンセグ放送が地上デジタル放送と放送内容が異なる場合や開始時刻 / 終了時刻がずれる場合、正しく作成されないことがあります。「録画した番組から作成する」（➜94）で作り直すことをおすすめします。
●複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」（➜33）で記録したい音声や字幕を選んでください。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す(つづき)

持ち出し番組を作成する(つづき)

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成 HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

❶ を押す

❷ 作成する番組を選び、[緑]を押す

❸「持ち出し番組の作成」を選び、[決定]を押す

❹「持ち出し番組の画質」を選び、設定する

❺「かんたん転送の登録」を選び、設定する
- ●「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(➜95)で自動的に転送することができます。

❻「開始方法」を選び、設定する

- ●**すぐに:**
  下記手順 ❽ の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- ●**電源 [切] 後:**
  電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

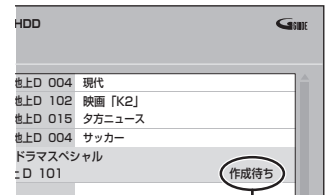
❼「作成する」を選び、[決定]を押す

❽「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、[決定]を押す

作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合:
[決定]を押す

作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順❸のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、**[決定]** を押す

作成が終了しているか確認するには

持ち出し番組一覧(➜95)で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

お知らせ

- ●ダウンロードした番組の場合:
  - ・コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
  - ・以下の設定はできません。
    - -「かんたん転送の登録」の「する」
    - -「開始方法」の「電源[切]後」
  - ・ネットワークに接続した状態で作成してください。
- ●視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
- ●ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
- ●HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- ●持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
  - ・二重音声　:「二重放送音声記録」(➜118)
  - ・マルチ音声 :「信号切換」の「音声」(➜55)
  - ・チャプター :作成元になる番組のチャプター情報
  - ・字幕　　　:「信号切換」の「字幕」(➜55)

  (「電源[切]後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

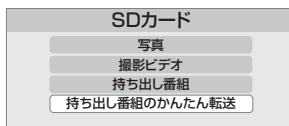
持ち出し番組を転送する

かんたん転送

「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。(最大 99 番組まで転送可能)
登録されている番組は、持ち出し番組一覧(➜ 右記)で確認することができます。

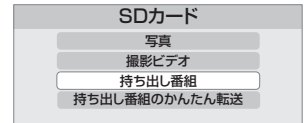
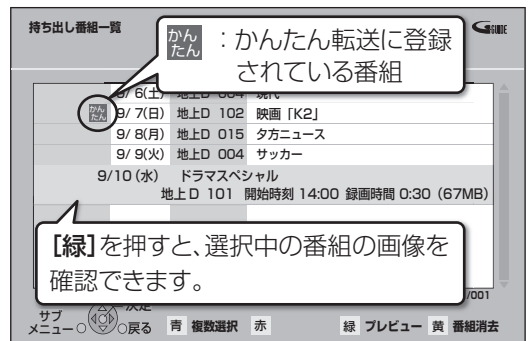
●登録は、予約時(➜93)、作成時(➜94)、作成後(➜96)に行うことができます。

❶ SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する
USB 機器を接続するには(➜130)

例) SD

❷「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定を押す

持ち出し番組一覧から転送する

❶ SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する
USB 機器を接続するには(➜130)

例) SD

❷「持ち出し番組」を選び、決定を押す
❸「持ち出し番組を転送する」を選び、決定を押す
❹ 番組を選び、青を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

選択を取り消すには
番組を選び、[青] を押す

❺ すべてを選んだあと、決定を押す

❻「転送を開始する」を選び、決定を押す

録画した番組をモバイル機器に持ち出す(つづき)

持ち出し番組を転送する(つづき)

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」(➜95)
手順 ❸ のあと

❹ **番組を選び、サブメニュー(S)を押す**

❺ **項目を選び、決定を押す(➜ 下記へ)**

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。 (➜95 手順 ❻ へ)
番組消去	番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」(➜95)の登録をします。 (かんたん が表示されます)
かんたん転送の解除	「かんたん転送」(➜95)の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」(➜117)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送(ダビング)の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送(ダビング)できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
- 1 表示のある番組をダビング(転送)すると、通常の番組·持ち出し番組は HDD から消去されます。

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
  - ・通常の番組の再生はできません。
  - ・録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置(➜50「続き再生メモリー機能」)とチャプターマーク(➜62)を通常の番組から引き継ぎます。
  - ・ダウンロードした番組では再生停止位置は引き継ぎません。
  - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
  - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定(➜58)されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。

転送した番組を確認・消去する

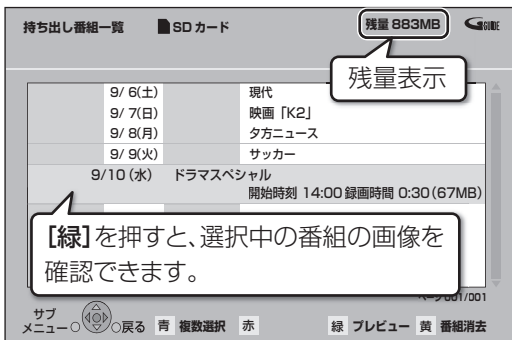
❶ SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する

USB 機器を接続するには（➜130）

❷「持ち出し番組」を選び、決定を押す

❸「持ち出し番組を確認する」を選び、決定を押す

❹ 番組を選ぶ

例）SD

番組の内容を確認するには

① **[サブ メニュー]** を押す

②「内容確認」を選び、**[決定]** を押す

持ち出し番組を消去するには

① **[黄]** を押す

②「消去」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。

インターネットを楽しむ

本機では、インターネットを利用してアクトビラなどのサービスを楽しむことができます。

●予約録画の開始時刻になると、「アクトビラ」は終了し、テレビ放送の画面に戻ります。

●ネットワーク接続と設定をする
(➜ 準備編 14、準備編 23)

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① **[スタート]** を押す
② 「その他の機能へ」を選び、**[決定]** を押す
③ 「放送設定」を選び、**[決定]** を押す
④ 「デジタル放送・再生」を選び、**[決定]** を押す
⑤ 「制限項目設定」を選び、**[決定]** を押す
⑥ [1] ～ [10] で暗証番号を設定する
⑦ 「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ

●「アクトビラ」を利用するには、手順⑥で設定した暗証番号の入力が必要になります。

acTVila(アクトビラ)を利用する

acTVila とは

●インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビのしくみです。

●本機は以下のコンテンツをお楽しみいただけます。
・アクトビラ ベーシック
・アクトビラ ビデオ
・アクトビラ ビデオ・フル
・アクトビラ ビデオ・ダウンロード

アクトビラの最新情報はアクトビラ情報公式サイト(http://actvila.jp/)をご覧ください。

1 **[アクトビラ] を押す**

2 **見たい項目を選び、[決定] を押す**

アクトビラを終了するには

[地上] [BS] [CS] を押す

お知らせ

●**ホームページへの情報登録について**
アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。

●クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。

ネット操作パネルを表示する

❶ **ホームページ表示中に、サブメニュー(S)を押す**

❷ **項目を選び、決定を押す**

① 1つ前のページへ
② 1つ先のページへ
③ 読込みを中止
④ 表示中のページを再読込み
⑤ ポータルサイトに戻るとき
⑥ お好みページを使う(**➜ 右記**)

ネット操作パネルの表示を消すには

サブメニュー(S)を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

❶ **ホームページ表示中に、サブメニュー(S)を押す**

- 登録したい場合、登録したいホームページを表示して **[サブ メニュー]** を押してください。

❷ **「お好みページ」を選び、決定を押す**

■登録する

❸ **青を押す**

❹ **内容を確認し、決定を押す**

■見る

❸ **見たいタイトルを選び、決定を押す**

■削除する

❸ **削除したいタイトルを選ぶ**

❹ **黄を押す**

❺ **「はい」を選び、決定を押す**

お知らせ

- お好みページには、あらかじめ「TSUTAYA TV」が登録されています。「TSUTAYA TV」のサービスを楽しむ場合には、お好みページからご覧ください。
- お好みページに登録できるのは「TSUTAYA TV」を除いて20件までです。

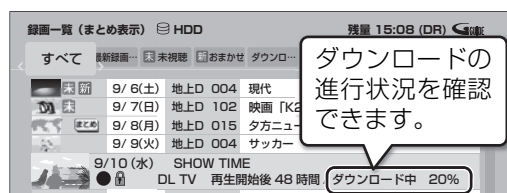
acTVila(アクトビラ)を利用する(つづき)

動画コンテンツを HDD にダウンロードする

アクトビラなどのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。

●動画コンテンツ購入の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラなどのページに従って動画コンテンツを購入する

●録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。

ダウンロードを中断するには

ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。

① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、**[サブ メニュー]** を押す
② 「ダウンロード一時停止」を選び、**[決定]** を押す
③ 「一時停止」を選び、**[決定]** を押す
●ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

ダウンロードに失敗した場合は

ダウンロード履歴を確認してください。
(➜112「ダウンロード履歴」)

お知らせ

●電源切時でもダウンロードは実行されます。(本体表示窓にが点灯)
●以下の操作中はダウンロードは実行されません。
・複数の番組を録画中
・スカパー! HD の番組を録画中
・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
・ダビング中
・ホームサーバー機能など、ネットワークを利用する機能を使用中　など
またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

ダウンロードした番組を再生する

録画一覧(➜45)から再生する

ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」(➜117)の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① **[サブ メニュー]** を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

●視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。
●再生時はネットワークに接続した状態で行ってください。
●番組は自動的にプロテクト設定されます。

ダウンロードした番組をディスクにダビングする

ダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。

かんたんダビング(➜66)や詳細ダビング(➜68)でダビングを行う

☞ ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」(➜117)の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① **[サブ メニュー]** を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

- DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。
- ダビング時はネットワークに接続した状態で行ってください。
- 番組によっては、ダビングできるディスクやダビングできる回数や期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。

Wooo リンクを使う

Wooo リンク(HDAVI Control™)とは
本機とHDMIケーブル(市販)を使って接続したWoooリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

■設定

①「Wooo リンク制御」(➜120)を「入」にする
(お買い上げ時の設定は「入」)

② 接続した機器側(テレビなど)で、Woooリンクが働くように設定する

③ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

お知らせ

- Wooo リンクは、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- Wooo リンクに対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

Wooo リンク対応機器の確認

機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ(Wooo)側から録画(「レコーダー録画開始」など)をしたときの本機の動作

■録画モード・録画先

- 本機であらかじめ設定された録画モードで HDD に録画します。

■録画ができない場合

- すでに本機が「レコーダー録画開始」を実行しているときは、新たに「レコーダー録画開始」はできません。
- 本機に契約された B-CAS カードが挿入されていないとき。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

本機のリモコン：本機のリモコンで操作できます。

テレビのリモコン：テレビのリモコンで操作できます。

入力自動切換え / 電源オン連動

●テレビの電源が待機状態のときのみ

本機のリモコン

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

●本機の電源「切」時は、**[アクトビラ]**、**[初期設定]** は働きません。

電源オフ連動

本機のリモコン テレビのリモコン

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

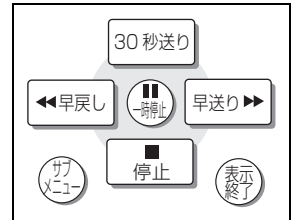
お知らせ

●ダビング、ファイナライズ、消去、**[録画 ●]** を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンで本機の操作

テレビのリモコン

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

●本機のリモコンの **[サブ メニュー]** を押すと、下記の画面が表示されます。
テレビのリモコンのカーソルボタンで操作することができます。

●テレビのリモコンの Wooo リンクボタンを押すと、本機の予約の操作や番組表から放送局を選局することなどができます。

❶ **テレビのリモコンを使って、本機のスタート画面を表示させる**
- ●テレビによって、本機のスタート画面を表示させる方法や画面は異なります。(「レコーダー操作一覧」を選んで表示させる場合もあります)
- ●自動的に本機の電源も入ります。

スタート画面については(➜156)

❷ **テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定] を押す**

便利機能

ホームサーバー機能を使う

ホームサーバー機能

HDD に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。
コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとしてのみお使いいただけます。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。

対応機器

- DLNA 対応当社製テレビ：
XP05/HP05/UT800/H05/XP035/XP03/HP03/WP03/500CS/ZP05/HP07/H07

別の部屋のテレビなどで見る（サーバーとして使用する）

- ネットワーク接続と設定をする
（➜ 準備編 14、準備編 23）
ホームサーバー機能の設定を変更する場合
（➜ 準備編 38）

HDD

DLNA 対応機器から、本機の HDD に録画した番組や写真の再生ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

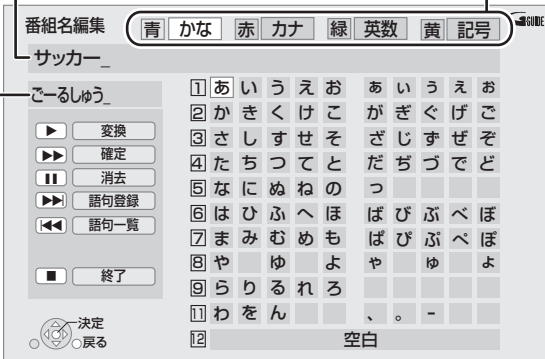
お知らせ

- 編集はできません。
- 以下の場合、再生できません。
  - ・ダウンロードした番組（2011 年 2 月現在）
  - ・録画中の番組
- 本機が以下の操作中の場合、再生できません。
  - ・複数の番組を録画中
  - ・スカパー! HD の番組を録画中
  - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
  - ・高速ダビングと録画の同時実行中（「ビデオ」を見るとき）
  - ・1 倍速でダビング中
  - ・ダビング中（「写真」を見るとき）
  - ・初期設定画面表示中
  - ・アクトビラなどのネットワークを利用する機能を使用中　など
- 再生する機器によっては、以下の場合があります。
  - ・HG、HX、HE、HL、HM、HB モードの番組、本機に取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）、スカパー! HD の番組が再生できない
  - ・番組結合（➜59）した DR モードの番組は、音声や字幕の切り換えができない
- 2 台以上の機器で同時に再生することはできません。
- 再生中に本機を操作して初期設定画面を表示すると、再生を終了します。

文字入力

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する

（番組名、ディスク名、アルバム名、イベント名、マイラベル名などを入力するとき）

1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選び、決定 を押す**

●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定 を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(➜ 下記)

3 入力が終わったら、■停止 を押す

4 「保存」を選び、決定 を押す

数字ボタン [1] ～ [9]、[11]、[12] でも文字を入力できます。

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3] を押す**

●「さ」行に移動します。

② **[3] を 2 回押し、[決定] を押す**

●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ 再生] を押したあと、変換候補を選び、[決定] を押す

●[戻る] を押すと、入力画面に戻ります。

●JIS 第 1 水準の漢字コードのみ入力可能

文字を消す

[❚❚ 一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、[▶▶|] を押す
② 「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

① [|◀◀] を押す
② 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

① [|◀◀] を押す
② 語句を選び、[サブ メニュー] を押す
③ 「語句消去」を選び、[決定] を押す
④ 「消去」を選び、[決定] を押す

携帯電話(リモコンボタン)方式で文字入力する

(フリーワード検索、アクトビラなどで入力するとき)

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)

1 [1] ~ (ふた内部)で文字を入力する

例) 「えいが」と入力するとき

4回押す (え)	1回押す	2回押す (い)	1回押す (か)	1回押す (゛)

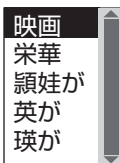
えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(➜107)

☞ 漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードのみ入力可能

映画
栄華
頴娃が
英が
瑛が

2 [決定]を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画 ― カーソル

3 「登録」を選び、[決定]を押す

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、[決定] を押す

●[緑]を押すごとに、(かな→カナ→英数→数字)に切り換わります。
●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例)「あい」と入力する場合 :[1][▶][1][1] の順に押す

文節を分けて変換する

例)「えいが」の「えい」だけを変換する場合:

① 「えいが」と入力して、[▼] を押す
② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ
③ 変換候補を選び、[決定] を押す

映画
えいが
映が

記号を入力する

① "きごう" と入力する
② 変換候補を選び、[決定] を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
(カーソルの左に文字が追加されます)

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[黄] を押す
(カーソルの文字が削除されます)

携帯電話方式での入力文字一覧表

ボタン／入力モード	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	?	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	!	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	(	スペース	
	ぃ			4				8		)		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	?	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	!	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	(	スペース	
	ィ			4				8		)		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	―	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例:「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の
機器で使っていた
ディスクやカード

そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

フォーマット
すると

本機で記録できる
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組やフォルダ、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

ディスク	記録方式	フォーマット	特徴
BD-RE BD-R	—	必要	記録方式の設定はありません。どの番組でも記録できます。
RAM	VR 方式	—（ディスクによる）	標準画質で記録
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC 方式	必要	ハイビジョン画質で記録
-R	VR 方式	必要	標準画質で記録
	ビデオ方式	不要	デジタル放送は記録できません
	AVCREC 方式	必要	ハイビジョン画質で記録
-RW	VR 方式	必要	標準画質で記録
	ビデオ方式	必要	デジタル放送は記録できません
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。	

BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

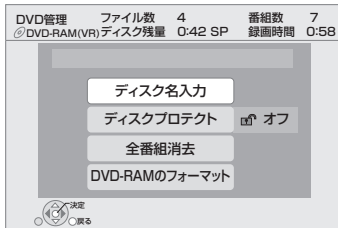
1 スタート **を押す**

2 「ブルーレイ (BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

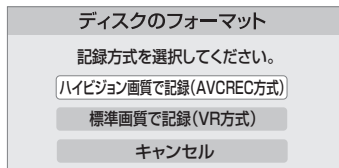
3 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

- 未使用の -R を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。
(➜ 手順５へ)

4 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

例) RAM

5 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) RAM

お知らせ

- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。**
- SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- -R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(➜110)を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD フォーマットは、「HDDのフォーマット」(➜117)で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

（ファイナライズしたディスクではできません）

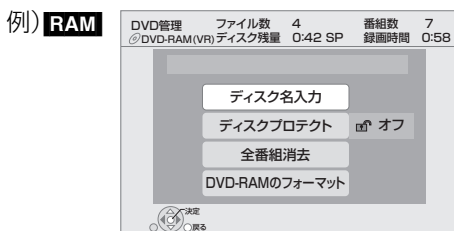
1 （スタート）**を押す**

2 **「ブルーレイ (BD)/DVD」を選び、（決定）を押す**

3 **「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、（決定）を押す**

4 **操作したい項目を選んで、（決定）を押す**

(➜ 下記へ)

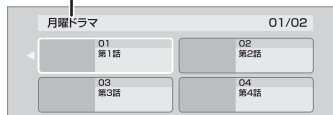
例）**RAM**

ディスク名入力

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

文字入力については(➜105)

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

ディスクプロテクト

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

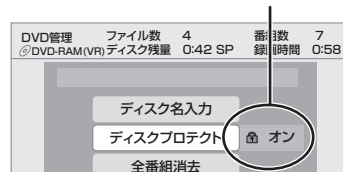
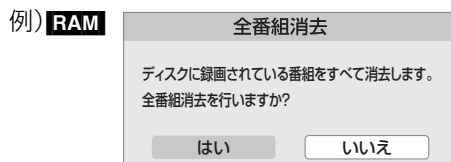
ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

❺ **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、（決定）を押す**

プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示

全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

例）**RAM**

全番組消去
ディスクに録画されている番組をすべて消去します。 全番組消去を行いますか?
はい　いいえ

❺ **「はい」を選び、（決定）を押す**

❻ **「実行」を選び、（決定）を押す**

お知らせ

- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- **BD-RE** **RAM** 写真は消去されません。
- **BD-R** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** 消去しても残量は増えません。

他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

ファイナライズすると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては
他の機器で再生できない場合があります。

高

ファイナライズすると

再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に
対応している場合、再生できます。

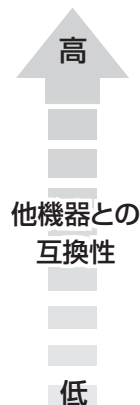
他機器との
互換性

ファイナライズすると

再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に
対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

• 対応機器以外で使用しないでください。ディスクが
取り出せなくなるなど故障の原因になります。

低

BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。

110 ページ手順 1 ～ 4 のあとに操作します。

トップメニュー

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示される
トップメニューの背景を設定できます。

❺ お好みの背景を選び、決定を押す

●トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は
変更できます。（➜60「サムネイル変更」）

ファーストプレイ選択

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定
できます。

**❺「トップメニュー」または「タイトル 1 」を選び、
決定を押す**

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1　　：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R **-RW** **BD-R**

❺「はい」を選び、決定を押す

❻「実行」を選び、決定を押す

お願い

**ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示され
るまで、絶対に電源コードを抜かないでください。
ディスクが使えなくなることがあります。**

お知らせ

●本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできない
ことがあります。
●ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくな
ります。
●**-RW(V)** フォーマット（➜108）すると、記録や編集ができます。
ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
●**-RW(VR)**「ファイナライズ解除」（➜下記）を行うと、記録や編集が
できます。

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるように
します。

❺「はい」を選び、決定を押す

❻「実行」を選び、決定を押す

お知らせ

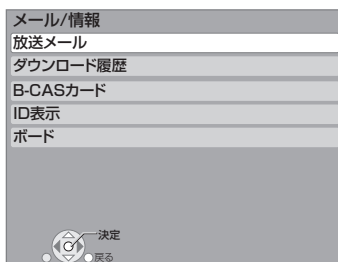
●本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない
場合があります。

いろいろな情報を見る(メール / 情報)

1 スタート を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「メール / 情報」を選び、決定を押す

4 項目を選び、決定を押す

放送メール

放送局からのお知らせ(最大 31 通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の 1 通のみ保存)を確認することができます。

確認したいメールを選び、決定を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ダウンロード履歴

ダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

表示されていない番組を表示するには

① **[サブ メニュー]** を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す
③ 暗証番号(➜117「HDD番組の視聴制限」)を入力する

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

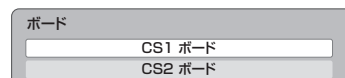
本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- **[青]**:本機のソフト情報を表示
- **[赤]**:データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

❶ 「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、決定を押す

❷ 確認したい情報を選び、決定を押す

放送設定を変える(放送設定)

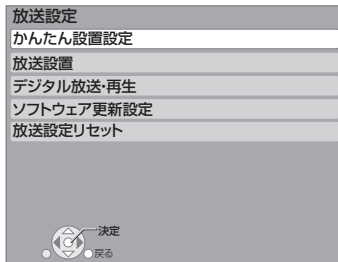
基本操作 選び→決定する

1 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「放送設定」を選び、決定を押す

4 メニューを選び、決定を押す

5 設定項目を選び、決定を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

お知らせ

●操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。

かんたん設置設定

かんたん設置設定(➜ 準備編 21)

放送設置

受信対象設定

使わない放送を操作できないようにします。

●地上デジタルは設定できません。

BS/CS

チャンネル設定(➜ 準備編 32)

地上デジタル /BS/CS1/CS2

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」(**➜ 準備編 21**)を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信

「オン」に設定すると、1 ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。

●番組表はインターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。

●「オン」にすると、常時接続状態になります。

● 1 ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

●2011 年 2 月現在、ネットワークから番組情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW のみです。

地域設定(➜ 準備編 29)

県域設定

郵便番号

地域設定削除

受信設定(➜ 準備編 30)

地上デジタル

アッテネーター

物理チャンネル選択

物理チャンネル(**➜準備編30**)を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源

アンテナ出力

本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

(放送局からの案内がない限り、変更しないでください)

B-CAS カードテスト(➜ 準備編 36)

放送設定を変える（放送設定）（つづき）

デジタル放送･再生

字幕の設定

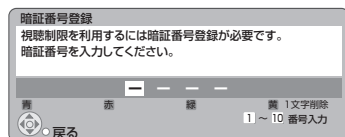
デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。
録画モード「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。
設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕

字幕言語

文字スーパー

文字スーパー言語

制限項目設定

画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

●10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢

●視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
●年齢制限を超える番組は、番組表などで「･･･」と表示されます。

ブラウザ制限

「アクトビラ」を利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

●暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

デジタル放送で **[チャンネル ∧,∨]** を押して順送りできるチャンネルを設定できます。
●「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

ソフトウェア更新設定

ダウンロード予約

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェア（制御プログラム）を最新のものに書き換えます。**(➜125)**
●「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
●「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。**(➜112「放送メール」)**

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」**(➜113)**をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

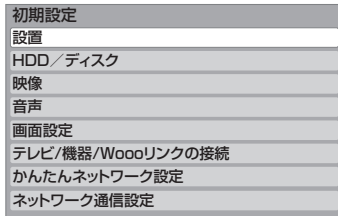
お知らせ

●双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
●HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」**(➜117)**を行ってください。

本機の設定を変える(初期設定)

基本操作 選び 決定 ➡ 決定する 決定

1 初期設定 (ふた内部)**を押す**

2 メニューを選び、決定を押す

3 設定項目を選び、決定を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

4 設定内容を変更する

お知らせ

● 操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。

設置

自動電源〔切〕

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。
時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード(➜準備編 34)

ワイドモード(➜準備編 27)

テレビのS映像入力端子に合わせて出力を設定します。

時刻合わせ(➜準備編 37)

クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。
例 :番組表を約 1 秒で表示します。

●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。
●「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。
・待機時消費電力が増えます。
・本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1 週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に"PLEASE WAIT"と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。)
・テレビと HDMI 端子で接続時は、テレビの無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。
・「i.LINK 機器モード設定」(➜121):「TS モード 2」
・「ホームサーバー機能」(➜123):「入」

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。

・時刻
・DVD-Video の視聴制限
・BD-Video の視聴可能年齢
・HDD 番組の視聴制限
・D 端子映像出力
・かんたんネットワーク設定
・IP アドレス /DNS 設定
・プロキシサーバー設定

●本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン 1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合(本体表示窓に"U30"と表示)、リモコンモードを変更してください。(➜138)

HDD/ ディスク

再生設定(再生専用ディスク)

DVD-Video の視聴制限※1
DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1
BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されているBDビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可になります。
- 「年齢入力」を選んで**[決定]**を押すと、**[1]**～**[10]**で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1
BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法
3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語※2
再生時の音声を選びます。
- 「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2
再生時の字幕言語を選びます。
- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2
テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画(AVCHD)が混在したディスクで再生する動画を設定します。
- 「入」はハイビジョン動画(AVCHD)を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

EP 時の記録時間
録画モードがEP時に、4.7 GB ディスクに記録できる最大記録時間を設定します。

高速ダビング用録画
以下の場合に記録した番組を -R(V) -RW(V) に高速でダビングするための設定です。
- 外部入力や DV 入力から記録
- ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビング

「入」にすると、高速でダビングできるようになりますが、制限がかかります。
- 番組は以下の設定に従い記録されます。
  - ·画面サイズ:「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜下記)
  - ·二重放送の音声:「二重放送音声記録」(➜118)
- コピー制限のある番組は、設定にかかわらず「切」の状態で記録されます。

ビデオ方式の記録アスペクト
記録時のアスペクトの設定をします。
以下の記録時に有効
- -R(V) -RW(V) への記録時
- 「高速ダビング用録画」(➜上記)が有効なとき

高速ダビング速度
高速モードでのダビング速度を設定します。
(高速記録対応ディスクの場合など)

自動チャプター
デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組の VGA 画質

「持ち出し番組の画質」を「高画質（VGA）」に設定して作成する場合に、記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更します。

デジタル放送の記録アスペクト

デジタル放送を HG、HX、HE、HL、HM、HB モードで記録する場合のアスペクトの設定をします。

HDD 番組の視聴制限※1

年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。（年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります）

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

全写真消去

写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

※ 1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

※ 2 「その他＊＊＊＊」の場合、＊には [1] ～ [10]で言語番号(➜125)を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

映像

スチルモード

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

HD ノイズフィルター

ハイビジョン信号をざらつきが少なく柔らかい画像にします。

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD に有効
- 「オート」は、Dolby TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD
DTS/DTS-HD
AAC

音声の出力方法を選びます。
- 接続機器が、それぞれの音声に対応していない場合、「PCM」にしてください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

BD ビデオ副音声・操作音(副音声を含む BD-V)

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

PCM ダウンサンプリング変換

サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。
- 96 kHzに非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にしてください。
- 以下の場合、48 kHzに変換されます。
  - ・BD-V 「BD ビデオ副音声・操作音」(➜上記):「入」
  - ・BD-V 192 kHz 以上の信号
  - ・著作権保護処理がされているディスク

ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。
- 「デジタル出力」(➜上記)が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  - ・AVCHD 再生時
  - ・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

二重放送音声記録

二重放送時、記録する音声を選びます。
以下の場合、両音声を記録できません。
- -R(V) -RW(V) への記録
- 「高速ダビング用録画」(➜116)が有効なとき
- 「XP時の記録音声モード」(➜下記)を「LPCM」にして、録画モード「XP」での記録
- 「外部入力の音声」(➜下記)が「二重音声」の場合

XP 時の記録音声モード

録画モードが「XP」での記録時、音声を選びます。
- 「LPCM」にした場合:
  - ・画質は少し下がります。
  - ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜上記)であらかじめ選んでください。

外部入力の音声

外部入力(L1)からの録画時、音声の種別を選びます。
- 「二重音声」にした場合、「二重放送音声記録」(➜上記)で音声をあらかじめ選んでください。

DV 入力時の音声設定

i.LINK(DV入力 /TS)端子からの録画時、音声の種類を選びます。音声は以下のようになります。
- 「ステレオ1」は、録画時の音声(L1、R1)
- 「ステレオ2」は、編集などであとから追加した音声(L2、R2:ナレーションなど)
- 「MIX」は、ステレオ1とステレオ2の音声
- 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➜上記)で音声をあらかじめ選んでください。

音声ディレイ

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定

画面表示動作〔オート〕

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。
「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [D 端子または HDMI 端子と接続して、「D端子出力解像度」(➜121)が「D3」「D4」のときや「HDMI出力解像度」(➜120)が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ

本体表示窓の明るさを調節します。

- 「オート」は、再生中は暗くなり、電源「切」時は時計表示を含むすべてを消灯するため、消費電力の節電になります。

SD カード LED 制御

SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。

- 「カード入点灯」は、電源「入」時に、SDカードを入れると点灯します。

テレビ / 機器 /Wooo リンクの接続

3D 設定

3D 方式設定

接続しているテレビの方式に設定します。

●「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 再生時の注意表示

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

Wooo リンク設定

Wooo リンク制御

Woooリンクに対応した機器とHDMI端子と接続時、連動操作の設定をします。

TV アスペクト (➜準備編 28)

接続したテレビに合わせて設定します。

HDMI 接続

HDMI 映像優先モード (➜準備編 26)

HDMI 出力解像度

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す
　・本体表示窓に"00 RET"が表示されます。

② 本体表示窓に"04 PRG"が表示されるまで **[▶]**を数回押す

③ **[決定]**を 3 秒以上押す
　・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力

BD-V 映画など 24p 記録された素材を 24p 出力します。

●「HDMI 出力解像度」(**➜左記**)が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効です。

●24p 出力時は、HDMI 端子以外の端子からは正しく出力されないことがあります。

●24p以外の素材はBD-Vの場合60iまたは60pで出力されます。

DVD-Vを24p出力するには、この設定を「入」にして、「24p」(**➜56**)を「入」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ

RGB入力のみに対応した機器(DVI機器など)との接続時に有効

HDMI 音声出力 (➜準備編 26)

Deep Color 出力

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング BD-V

6.1チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。

●以下の場合に有効
　・接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合
　・「デジタル出力」(**➜118**)が「PCM」の場合
　・音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM のとき

●「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1チャンネルの場合は5.1チャンネルで再生します)

●DTS音声は「切」にしても、DTS, Inc.の仕様により7.1 チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

D 端子出力解像度

D 端子から出力する解像度を設定します。

●「D4」に設定すると、720pの映像以外は、1080iで出力されます。

●設定を変更して映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す

・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで **[▶]**を数回押す

③ **[決定]**を 3 秒以上押す

・「D1」に設定されます。

D 端子映像出力

D 端子からの映像の出力方法を設定します。「オート」の場合、D 端子に接続しているときのみ映像を出力するので、消費電力の節電になります。

TV アスペクト (4:3) の設定

4:3テレビに接続時、16:9映像の映しかたを選びます。

●「パン & スキャン」は左右の切れた映像で、「レターボックス」は上下に帯のある映像で再生します。

パン & スキャン

レターボックス

DVD-Video の 16:9 映像

パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。

録画ディスクの 16:9 映像

「スルー」は、録画された映像のままで再生します。

● HDD DR、HG、HX、HE、HL、HM、HBモードの番組は、レターボックスで再生します。

i.LINK 機器モード設定

i.LINK（DV入力/TS）端子に接続した機器に合わせて設定します。

●「TS モード 2」にすると、「クイックスタート」(➜115)は自動的に「入」になります。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定(➜ 準備編 23)

ネットワーク通信設定

基本設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」(**➜上記**)を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

IP アドレス /DNS 設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS 設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターのDHCPサーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(**➜上記**)を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(**➜上記**)を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

接続速度自動設定

通常は「入」を選んでおいてください。

接続速度設定

ハブやルーターとの通信ができない場合に設定してください。

- 「接続速度自動設定」(**➜上記**)が「切」時のみ有効
- 接続速度は、接続するネットワークの環境に合わせて選んでください。
- 設定を変えた場合、機器によっては接続できなくなることがあります。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号

接続テスト

宅内ネットワーク設定

ホームサーバー機能 / スカパー! HD 録画設定
(➜ 準備編 38)

ホームサーバー機能

- 「入」にすると、「クイックスタート」(➜115)は自動的に「入」になります。

アクセス許可方法

機器一覧

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 端子</th><th colspan="4">デジタル音声出力端子</th></tr>
<tr><th>「デジタル出力」の設定</th><th colspan="2">Bitstream ※1</th><th colspan="2">PCM ※2</th><th colspan="2">Bitstream</th><th colspan="2">PCM</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</th><th>入 ※3</th><th>切</th><th>入 ※4</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX ※5</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="5">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch ※7</td><td colspan="2">Dolby Digital
Dolby Digital EX ※6</td><td colspan="2" rowspan="5">ダウンミックス 2ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD</td><td colspan="2">7.1ch</td><td colspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES ※5</td><td rowspan="3">DTS Digital Surround</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch ※8</td><td colspan="2">DTS Digital Surround
DTS-ES ※6</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch ※8</td><td colspan="2" rowspan="2">DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM</td><td colspan="4">ダウンミックス 2ch PCM</td></tr>
</table>

※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM(例:テレビなど)で出力します。

※ 2 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 3 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(➜118)を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 4 副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

※ 5 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※ 6 BD-V 「BD ビデオ副音声・操作音」(➜118)を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

※ 7 BD-V 「7.1ch 音声リマッピング」(➜120)が「切」時は 5.1ch になります。

※ 8 DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

ソフトウェアの更新について

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込む(オンエアーダウンロード)ことにより、自動的に本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

●お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。**(➜114「ソフトウェア更新設定」)**

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。

DL 1/5 (1/5などはダウンロードの進行状況です)

“DL 5/5”まで表示したあと時計表示に変わるまで本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送または BS デジタル放送の受信環境が必要です。

言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オランダ	7876	ジャワ	7487	ドイツ	6869	ベンガル（バングラ）	6678
アイマラ	6589	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アイルランド	7165	カシミール	7583	スペイン	6983	日本語	7465	ポーランド	8076
アゼルバイジャン	6590	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アッサム	6583	ガリチア	7176	スロベニア	8376	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アファル	6565	韓国(朝鮮)語	7579	スワヒリ	8387	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アフリカーンス	6570	カンナダ	7578	スンダ	8385	ハンガリー	7285	マダガスカル	7771
アブハジア	6566	カンボジア	7577	ズールー	9085	バシキール	6665	マライ(マレー)	7783
アムハラ	6577	キルギス	7589	セルビア	8382	バスク	6985	マラッタ	7782
アラビア	6582	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	パシュト	8083	マラヤーラム	7776
アルバニア	8381	クルド	7585	ソマリ	8379	パンジャブ	8065	マルタ	7784
アルメニア	7289	クロアチア	7282	タイ	8472	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
イタリア	7384	グアラニー	7178	タガログ	8476	ビハール	6672	モンゴル	7778
イディッシュ	7473	グジャラト	7185	タジク	8471	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
インターリングア	7365	グリーンランド	7576	タタール	8484	フィジー	7074	ラオ	7679
インドネシア	7378	グルジア	7565	タミル	8465	フィンランド	7073	ラテン	7665
ウェールズ	6789	ケチュア	8185	チェコ	6783	フェロー	7079	ラトビア（レット）	7686
ウォロフ	8779	ゲール（スコットランド）	7168	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウクライナ	8575	コーサ	8872	中国語	9072	フリジア	7089	リンガラ	7678
ウズベク	8590	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	ブータン	6890	ルーマニア	8279
ウルドゥー	8582	サモア	8377	テルグ	8469	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
ヴォラピュック	8679	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルターニュ	6682	ロシア	8285
英語	6978	ショナ	8378	トウイ	8487	ヘブライ	7387		
エストニア	6984	シンド	8368	トルクメン	8475	ベトナム	8673		
エスペラント	6979	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベロルシア（白ロシア）	6669		
オーリヤ	7982			トンガ	8479				

同時操作について

番組の録画中・ダビング中にできる操作

（○：できる　×：できない）

	HDD の再生	ディスクの再生	SD カードの再生	ダビング	編集	写真の再生・取り込み	持ち出し番組の転送
DR モードで HDD に録画中	○	○	○※1	○	○	×	○
HG、HX、HE、HL、HM、HB モードで HDD に録画中	○※2	○	○※1	○	○※2	×	○
XP、SP、LP、EP、FR モードでHDDに録画中	○※2	○※3	×	×	○※2	×	○
BD ディスクに予約録画中	○※2	×	○※4	×	○※2※5	×	×
DVD ディスクに予約録画中	○※2	×	×	×	○※2※5	×	×
i.LINK（TS）入力から録画中	○	○	○※1	○	○	×	○
DV 入力から録画中	×	×	×	×	×	×	×
スカパー! HD の番組を録画中	○	○※3	×	○※6	○	×	○
1 倍速でダビング中	○※2	×	×	×	○※2※5	×	×
高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	×※7	×	×	○※5	×	×

●「外部入力（L1）取込」「DV おまかせ取込」中は同時操作はできません。

●HDD の残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

●AVCHD の取り込み中は同時操作はできません。

※1　DR、HG、HX、HE、HL、HM、HB モードで録画中は、AVCHD の動画のみ再生できます。（写真は再生できません）

※2　DRモード以外で録画中や1倍速ダビング中は、「1080/60p」の表示がある番組は再生や編集ができません。

※3　市販の映画などが記録された BD ビデオや AVCHD のディスクは再生できません。

※4　DR モードで録画中は、AVCHD の動画のみ再生できます。（写真は再生できません）

※5　ディスクに録画中やダビング中にディスクの編集はできません。

※6　1 倍速ダビングはできません。

※7　HDD の番組を複製中は、再生できます。

他の操作を実行中の予約録画の動作

（○：実行する　×：実行しない）

他の操作	予約録画の実行	他の操作	予約録画の実行
録画中	○※1	外部入力(L1)取込中	○※3
再生中(番組)	○※2	DV おまかせ取込中	○※3
再生中(写真)	○※3	AVCHD 取込中	×
番組の編集の処理を実行中	○	写真の取り込み･書き出し中	×
写真の編集の処理を実行中	×	持ち出し番組を転送中	○※5
番組を高速でダビング中(ファイナライズあり)	×	フォーマット中	×
番組を高速でダビング中(ファイナライズなし)	○	ファイナライズ中	×
番組を 1 倍速でダビング中	○※4	アクトビラを表示中	○※3
本機から他機器へi.LINK(TS)ダビング中	×	番組をダウンロード中	○※7
他機器から本機へi.LINK(TS)ダビング中	○※1	ホームサーバー機能利用中	○※1※6

※1　複数の番組を録画できない状態のときは、予約録画が優先され、実行中の操作は終了します。
※2　ディスク再生中にディスクへの予約録画が始まったときや、BD ビデオや AVCHD ディスクを再生中に XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画またはスカパー! HD の予約録画が始まると、再生は終了します。
※3　実行中の操作は終了します。
※4　XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画またはスカパー! HD の予約録画は実行されません。
※5　ディスクへの予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
※6　スカパー! HD の番組の予約録画の場合、予約録画が優先され、実行中の操作は終了します。
※7　複数の番組を録画できない状態のときやスカパー! HD の番組の予約録画の場合、実行中の操作は中断します。

- 予約録画が実行されなかった場合、それぞれの操作終了時点から予約録画が始まります。（スカパー! HD の番組の予約録画は、実行されません）

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ Blu-ray Disc	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例) A / A B C ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ DVD VIDEO	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。	「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) 2 / ALL / 1 2 4 ●番号は国により違います。
CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	**●音楽や音声が記録された市販ソフト** (CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) **●写真が記録された CD-R や CD-RW**	
+R +R DL(片面2層) +RW	**●他の DVD レコーダーで録画されたディスク** (録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます) **●写真が記録されたディスク**	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。
●8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
●本機では、「RAM 2」マークのついたDVD-RAMディスク(6X以上の 高速記録対応)の記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
●他機器でハイビジョン動画(AVCHD)を記録したディスクの編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジから取り出せない DVD-RAM(TYPE1)　●BD-RE(Ver.1.0)
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式)
●PAL方式で記録されたディスク
●HD DVD　● ビデオCD　●SACD　●SVCD　●DVDオーディオ
●Photo-CD　● パソコンやゲームのソフト　など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
（miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む）
SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB）
（microSDHC メモリーカードを含む）
SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB）
（microSDXC メモリーカードを含む）

- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。**(➜108)**
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます）**
  非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画（AVCHD、MPEG2）の取り込み**(➜80)**や再生**(➜46)**
- 録画した番組の持ち出し**(➜95)**
- 写真の再生**(➜87)**や取り込み**(➜90)**

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、
カードの内容を誤って消去することを防げます。

必要なとき

USB 機器について

本機に接続できる USB 機器は？

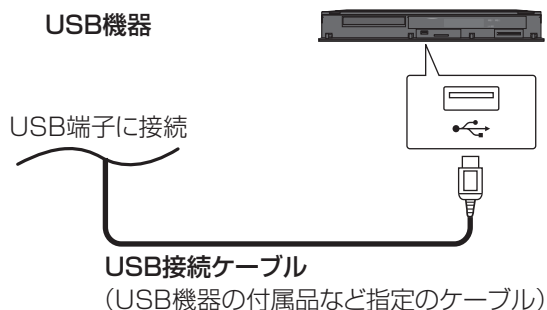
以下の USB 機器と接続することができます。

●AVCHD 対応ビデオカメラ
●SD ビデオカメラ
●デジタルカメラ
●携帯電話

●上記以外のUSB機器（USBメモリー、USBリーダー＆ライター、USB電源を利用する機器など）については動作保証しておりません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
●USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
●接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
●動画（AVCHD、MPEG2）の取り込み（➜**80**）
●録画した番組の持ち出し（➜**95**）
●写真の再生（➜**87**）や取り込み（➜**90**）

USB 機器を接続する

接続した機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。（機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります）
●接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。
●本体表示窓の“ ”（➜10）点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりする恐れがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜かないでください。

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送 (地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。
（2011 年 2 月現在）

- 本機ではワンセグ放送を録画できます。(➜93)
  ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、2006 年 4 月 1 日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）

BS デジタル放送 (BS デジタル)

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。
- 本機では、BSアナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただける BS デジタル放送をお楽しみいただけます。

110 度 CS デジタル放送 (CS デジタル)

通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」への加入申し込みと契約が必要です。
  「スカパー! e2」には、CS1とCS2の２つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先
「スカパー! e2」カスタマーセンター
0570-08-1212（ナビダイヤル）
（携帯電話・PHS の方は、**045-276-7777**）
受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休）
「スカパー! e2」公式ホームページ
http://www.e2sptv.jp/

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について
地上アナログテレビ放送と BS アナログテレビ放送は 2011 年 7 月 24 日までに終了することが、国の法令によって定められています。

お知らせ

- **本機では、地上アナログ放送を受信することはできません。**
- **B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位でのご契約となります。テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機付属の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画·編集ができなかった場合の内容の補償、録画·編集した内容(データ)の損失、および直接·間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合(HDD以外の修理を行った場合も)においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから(3 分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能·品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「個人情報リセット」**(➜114)**を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化(録画内容の消去)に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化(出荷状態に戻すため、記録内容は全て失われます)や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。(ただし、初期化しないと修理ができない場合があります)

HDD(ハードディスク)

HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDDは一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…

HDD内に不具合個所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

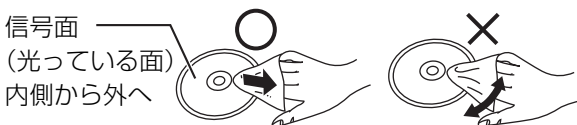
- **HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。**

ディスク、カード

持ちかた

信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスクに汚れや傷が付いている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ・シールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
  - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ・以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク

- **カード**
  - ・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ(大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後はケースに収めてください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	アドレスが正しく設定されませんでした。	●一度、電源を「切」にし、電源コードを抜き差しして、再度実行してください。 それでも症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	接続テストを実行できませんでした。	
	接続できませんでした。LANケーブルの接続を確認してください。	●ハブをお使いの場合で、ハブのLink ランプが消えているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。
	接続に失敗しました。ゲートウェイが応答しません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブの UPLINK ポートの Link ランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。 ●「IP アドレス /DNS 設定」(➜122)で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。 ●無線 LAN 対応のアクセスポイントをご使用の場合、アクセスポイントの通信設定をご確認ください。設定について詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。本機のMACアドレスが必要な場合は、「ネットワーク通信設定」(➜122)を表示してご確認ください。
	IP アドレスが取得できません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブの Link ランプが点灯しているか確認し、消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。 上記で問題がなければ、ルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。 ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも 1 つの方法です。
	IP アドレスが設定されていません。	●「IP アドレス /DNS 設定」(➜122)で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。（必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください）
	IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。	●本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。 他のパソコンや、本機、ルーターの IP アドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
通信時	**サーバーへの接続に失敗しました。(B020)**	●サーバーが混み合っているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●まったく接続できない場合は、「プロキシサーバー設定」(➜123)やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
	サーバーとの通信に失敗しました。(B021)	●通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。
	認証に失敗しました。(B401)	●回線業者やプロバイダーからのIDやパスワードを、ブロードバンドルーターやモデムの説明書に従って、正しく設定してください。

こんな表示が出たら（つづき）

	表示文字（数字は例）	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	D	●以下の場合に点灯します。 ・オンエアーダウンロード時のデータ蓄積中 ・録画モード変換の処理中 ・持ち出し番組作成中 “D”点灯中に電源を「入」にすると、上記の処理は中止されます。 次回、電源「切」時に処理が実行されます。
		●番組のダウンロード中です。
	0:00	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。 時刻を合わせてください。 ●デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	61PCT	●ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。（例：61 パーセント）
	BS 101	●現在選んでいるBSデジタル放送のチャンネルです。（例：101 チャンネル）
	B-CAS OUT	●B-CAS カードが正しく挿入されていません。正しく挿入してください。
	C1 001	●現在選んでいる CS1 放送のチャンネルです。（例：001 チャンネル）
	C2 100	●現在選んでいる CS2 放送のチャンネルです。（例：100 チャンネル）
	D 011	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。（例：011 チャンネル）
	DL 1/5	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5 などはダウンロードの進行状況です）
	DV	●現在、DV 入力が選ばれています。
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	HDMI ONLY	● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ディスクによっては、著作権保護の規定により、アナログでの出力を禁止している場合があります。その場合は、HDMI 端子のみ映像出力が可能です。
	L1	●現在、外部入力が選ばれています。（例：L1）

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	MENU	●スタートメニュー表示中です。
	NET	●インターネットに接続中です。
	NoFINALIZE	●HDDの録画や再生中などに**[開/閉 ▲]**を押したとき、未ファイナライズの **-R(AVCREC)** **-R(V)** **-RW(V)** が入っている場合に表示されます。 ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。
	NoREC	●以下の場合、**[録画 ●]**(ふた内部)を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中 ・外部入力やi.LINK(TS)入力に接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中
	PHOTO	●写真一覧表示中です。
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE"が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」以外の予約が128件登録されています。 不要な予約を消してください。
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中です。
	TRANS	●持ち出し番組一覧表示中です。
	TS	●現在、i.LINK(TS)入力が選ばれています。
	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。 ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。 ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。 本機に対応したディスクをお使いください。
	VIDEO	●録画一覧表示中です。

<table>
<tr><th></th><th>表示文字</th><th>調べるところ・原因・対策</th></tr>
<tr><td rowspan="9">本体表示窓</td><td>U30 2
1～6のいずれかを表示</td><td>●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。
U30 2 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままにしてください。
●4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。</td></tr>
<tr><td>U50</td><td>●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。</td></tr>
<tr><td>U59</td><td>●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。</td></tr>
<tr><td>U61</td><td>●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店やお客様ご相談窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>U82</td><td>●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。
●USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。</td></tr>
<tr><td>U88</td><td>●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店やお客様ご相談窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>F99</td><td>●本機が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店やお客様ご相談窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>F00
H00
(数字の 00は例です)</td><td>●異常が発生しました。(“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります)
電源を一度、切 / 入してください。</td></tr>
</table>

●上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
●上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「エコーセンター」(➔179)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99 」などとお知らせください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」(➜179)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切 / 入時の音
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り･早戻し時の映像の乱れ
- 3D ディスク入れ換え時の画面の乱れ
- BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
- 以下の状態のときに、本機から HDD の動作音が聞こえる場合があります。
  - ･電源切 / 入時
  - ･番組表データを受信中
  - ･オンエアーダウンロード中または番組のダウンロード中
  - ･録画中
  - ･録画モード変換時、持ち出し番組作成時
  - ･予約録画終了時または午前 4 時ごろ(1 週間に一度程度)の、本機全体の自動再起動時
    本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

各種安全装置が働いていることがあります。

① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**
- 切れない場合は、約3秒間押し続けると強制的に切れます。
  （それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源〔切〕」(➜115)やWoooリンクの電源オフ連動(➜103)の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

本体

本機が熱い

- 本機使用中は温度が高くなりますが、性能･品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースをあけてください。
  本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
  電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
  ① [決定]と[青]と[黄]を同時に5秒以上押す
  ･本体表示窓に"00 RET"が表示されます。
  ② 本体表示窓に"06 FTO"が表示されるまで[▶]を数回押す
  ③ [決定]を押す
  (ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
  ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

表示

表示が出ない
表示が暗い

- 「本体表示窓の明るさ」(➜119)で明るさを変えてください。

"録画 1"、"録画 2"または"LAN 録画"が点滅している

- 以下の場合、点滅します。
  ･予約録画の開始時刻の約3分前から開始時刻までの間
  ･デジタル放送録画時、アンテナ抜けや電波が弱くて正常に録画できないとき
  ･録画や予約録画時にB-CASカードが抜けて録画できないとき
  ･予約録画時に、HDD の残量がなくて録画できないとき
  ･予約録画時に、スカパー! HD対応のチューナーから信号が受信できなくて録画できないとき

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- -R 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

- DRモード選択時の残量は、番組表や予約確認画面などでは、放送に合わせて17 Mbpsまたは24 Mbpsの転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24 Mbpsの転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。

テレビ画面や映像

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

●アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき(➜ 準備編 21)
・「アンテナ電源」を「オン」にしているとき(➜113)
●「アンテナ出力」(➜113)を「オン」にする。
「オフ」の場合、本機の電源「切」時に BS・110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送を視聴できません。
●一度「アッテネーター」(➜ 準備編 30)の設定を切り換えてみてください。

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

●「かんたん設置設定」(➜ 準備編 22)をやり直してください。

表示していた画面が消える

●「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜119)が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される 画面の横縦比がおかしい

●「画面モード切換」(➜19)で調整してください。
(テレビのアスペクト設定でも調整できます)
●「TV アスペクト」(➜ 準備編 28)の設定を接続したテレビに合わせてください。
●4:3 のテレビに接続する場合、「D 端子出力解像度」(➜121)を「D1」または「D2」に設定してください。

ハイビジョン映像で出力されない

●ディスクによっては著作権保護のため、D端子からの出力が 480p に制限される場合があります。
●著作権保護のため、HDMI 端子以外で接続時、以下の場合は出力が 480i に制限されることがあります。
・i.LINK(TS)入力の視聴時
・BD-RE BD-R BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 再生時

再生時の映像に残像が多い

●「HDオプティマイザー」(➜56)を「切」にしてください。

映像が映らない 映像が乱れる

●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(➜ 準備編 4 ～ 19)
●HDMI 端子接続時:
・接続状態に合わせて、「HDMI映像優先モード」(➜ 準備編 26)を設定してください。
- HDMI 端子でテレビと接続:「入」
- HDMI端子でアンプなどと接続し、D端子でテレビと接続:「切」
・HDCP(不正コピー防止技術)に対応した機器(パソコンのディスプレイなど)に接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
- 「24p出力」(➜120)が「入」の場合、24p素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
- 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
・「Deep Color 出力」(➜120)もしくは「コンテンツタイプフラグ」(➜120)を「切」にしてください。
●D 端子接続時:
・本機の出力設定がテレビの D 端子の性能を超えている場合や、接続したケーブルによっては、映像が映らないときがあります。以下の操作を行うと D1 出力になり、「D端子映像出力」(➜121)が「入」になって、映像が映ります。
① [決定]と[青]と[黄]を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に"00 RET"が表示されます。
② 本体表示窓に"04 PRG"が表示されるまで [▶]を数回押す
③ [決定]を 3 秒以上押す
・「D端子出力解像度」(➜121)が「D3」「D4」の場合、DVD ビデオや外部入力、DV 入力からの映像は、はじめの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりします。
●テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
HDMI 端子で接続している場合、接続するテレビの HDMI端子を変更すると改善される場合があります。

故障かな !?(つづき)

ボタン操作

リモコンが働かない

●本体とリモコンのリモコンモード(➜ 準備編 34)が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。

表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]**を3 秒以上押したままにしてください。

●リモコンモード(**➜ 準備編 34**)を「4」〜「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。
●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。
●テレビ操作部のボタンでテレビを操作する場合、テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。**(➜ 準備編 35)**

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

●本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。**(➜ 準備編 34)**

音声

音声が出ない

●ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。
●HDMI端子の接続状態に合わせて、「HDMI音声出力」**(➜ 準備編 26)**を設定してください。
・HDMI 端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」
・HDMI 端子でテレビと接続し、デジタル音声出力端子で接続したアンプなどから音声を出力:「切」
●Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD、DTS-HD の音声のみが出力されなくなった場合は、本機の内部設定が自動的に切り換わった可能性があります。その場合は、一度、「初期設定リセット」**(➜115)**を行ってください。

片方のスピーカーからしか音声が出ない

●スピーカーの接続を確認してください。
●5.1ch マルチ音声を再生する場合、「ダウンミックス」**(➜118)**を「ドルビーサラウンド」にしていると、モノラル音声になります。「ノーマル」に変更してください。

音声が切り換えられない

●「高速ダビング用録画」**(➜116)**が「入」の場合、外部入力や DV 入力から記録した番組は音声の切り換えができません。
●アンプと接続している場合、アンプ側で切り換えてください。
●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

●お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていますか。受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できません。
●UHFアンテナが必要です。地上アナログ放送用UHFアンテナの受信方向が異なる場合は、アンテナの増設が必要です。
●「受信設定」(**➜ 準備編 30**)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。
映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合は、以下をお試しください。
・「アッテネーター」(**➜準備編30**)の設定を切り換える。
・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す。
●集合住宅の共聴システムや CATV の場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約の CATV 会社にお問い合わせください。

BS・110 度 CS デジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった

●BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナやアンテナ線、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来のBSアンテナでは受信できない場合があります。
●「受信設定」(**➜ 準備編 30**)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。
●BS・110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。このような場合、放送によっては降雨対応放送に切り換わることがありますが、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
●アンテナへの電源供給が必要です。
・「アンテナ電源」(**➜ 準備編 31**)を「オン」にしてください。
・分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない

●有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。
●契約した B-CAS カードを挿入してください。テレビ側でのみ有料放送の契約をしている場合は、テレビの B-CAS カードを本機に挿入してください。

データ放送が見られない

●録画中にデータ放送は見られません。
●i.LINK(TS) 入力中はデータ放送は見られません。

字幕や文字スーパーが出ない

●字幕や文字スーパーのある番組の場合、「字幕の設定」(**➜114**)の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」にしてください。

番組表

番組表データが受信できない

- 本機をはじめてご使用のときや、約1週間以上本機の電源コードを抜いていた場合は、番組表が表示できません。
- 番組表は、デジタル放送から配信されます。デジタル放送のアンテナを正しく設置･接続してください。
- CATV をご利用の場合、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できない場合があります。詳しくはご契約の CATV 会社にご相談ください。
- お住まいの地域の受信状態に問題がある場合(電波状態が弱い場合など)は、番組表データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。

番組表データが更新されない

- データ受信中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、更新されません。前回受信したデータが残ります。
  データ受信時に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に内容を更新します。
  (データ受信時に電源コードは抜かないでください。電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。)

1ヵ月の番組表や注目番組が受信できない

- ネットワークの接続と設定を確認してください。
- 「通信によるGガイド受信」(➜113)の設定を「オン」にしてください。
- 1ヵ月の番組表は WOWOW、注目番組は NHK、WOWOW のみ受信できます。(2011 年 2 月現在)

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。
  (不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください)
- カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0) は、本機では記録できません。
- -R 記録後、ディスクの出し入れや電源の切 / 入を約 30 回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外の DVD レコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。

録画

録画できない

●ディスクには**[録画 ●]**（ふた内部）を押しても、録画できません。（予約録画はできます）

番組を同時に録画できない

●以下の場合、番組の同時録画はできません。
・2　番組を「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードで録画する場合
・1　番組を「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HB」モードで、1番組を「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードで録画する場合
・2 番組をディスクに録画する場合
・DV 入力から録画する場合
・「外部入力（L1）取込」中
・ディスクから HDD へダビング中
・HDD から HDD へダビング（複製）中
・スカパー! HD の 2 番組の場合

予約録画

予約録画ができない

●**[予約確認]**を押して、予約内容を確認してください。
・「重複」が表示された予約は、番組の一部またはすべてが録画できません。
・「予約実行切」が表示された予約は、「予約実行入」にしてください。
●本体表示窓に“0:00”が点滅しているときは、正しく予約録画されません。
●予約録画の開始時刻に他の操作を行っていた場合、操作の内容によっては予約録画が実行されません。(➜127)

ディスクに予約録画ができない

●以下の場合、ディスクに予約録画できません。
・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)
・未フォーマットのディスク
・**-R(V)** **-RW(V)** のディスク
・**RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** に録画モード「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HB」で予約
・**RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** に録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で予約
・CPRM 非対応の DVD にデジタル放送を予約
・誤消去防止（プロテクト）の設定がされたディスク
・ディスクへの予約がすでにある（ディスクへの予約は 1 番組のみ）

BS・110度CSデジタル放送の予約録画ができない

●BS・110 度 CS デジタルアンテナに電源が供給されていない場合、予約録画は実行されません。アンテナへの電源供給が必要です。
・個別に BS・110 度 CS デジタルアンテナを設置している場合、「アンテナ電源」**(➜準備編31)**を「オン」にしてください。
・分配器を使って本機とテレビにアンテナを接続している場合は、テレビと本機のどちらからでも電源を供給できるように全端子電流通過型の分配器を使用してください。

番組追従機能が働かない

●時間指定予約では働きません。
●放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。
●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。
●スカパー! HD から録画した場合、チューナーによっては、正しく働かない場合があります。

録画した番組の一部、またはすべてが消えた

●録画中に停電になったり、電源コードが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。

再生

録画した番組が見つからない

●毎日·毎週予約で録画した番組は、録画一覧(まとめ表示)では、まとめて表示されます。
まとめ が付いた番組を選んで、[決定] を押すと、第 1 回目に録画した番組から最後に録画した番組まですべて表示されます。
●録画一覧で[サブ メニュー]を押し「全番組表示へ」を選択すると、まとめ表示が解除されます。
●「最新録画番組」ラベルを選択すると、最新の録画番組から順に 18 番組までを全番組表示します。
●視聴制限のある番組は録画一覧に表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

再生できない

●他のブルーレイディスクレコーダーやパソコンなどで録画したコピー制限のある番組は、本機の HDD へダビングしても、著作権保護のため再生できません。
●SDカードやUSB機器のMPEG2動画またはUSB機器のハイビジョン動画(AVCHD)は直接再生できません。HDD などにダビングしてから再生してください。

番組の先頭から再生が始まらない

●続き再生メモリー機能が働いています。HDDに記録した番組は、以下の手順で先頭から再生してください。
① 録画一覧表示中に、番組を選んで[サブ メニュー]を押す
② 「先頭から再生」を選んで[決定]を押す
●ディスクの止めた位置は、トレイを開けると解除されます。

自動 CM 早送りが働かない

●録画内容により、正しく働かないことがあります。
●以下の場合は、働きません。
·DR モードの番組
·外部入力 /DV 入力 /i.LINK(TS) 入力から録画した番組
·マルチ音声の番組

映像が乱れたり、正しく再生されない

●天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。
●録画モードや、映像の横縦比などの異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。
●i.LINK(TS) ダビングをした番組は、番組の一部が欠けている場合があります。
●2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質(転送レート約18 Mbps以上)の動画は、正しく再生できません。

なめらかに再生されない(映像や音声が一瞬止まる)

●以下の場合、なめらかに再生されない場合があります。(「シームレス再生」(➜117)を「入」に設定しても改善されません)
·DR モードの番組
·「信号切換」(➜55)の「字幕」を「オン」にして再生
·シーンの切り換わりや、字幕や音声の切り換え時
·片面 2 層の -R の層の変わり目
●取り込んだハイビジョン動画など、転送レートの高い動画は、なめらかにスロー再生されない場合があります。

字幕が出ない、切り換えられない

●BDビデオやDVDビデオに字幕が収録され、「字幕情報」(➜55)が「入」になっていますか。
●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HB」モードの番組は、「信号切換」(➜55)の「字幕」を「オン」にしてください。
●「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードの番組は、「字幕」(➜20、33、55)を「オン」にして記録した場合に字幕が表示されます。字幕表示の入 / 切はできません。

音声言語や字幕言語が切り換えられない

●「音声情報」、「字幕情報」**(➜55)**ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。

BD ビデオの副映像が再生されない

●以下の場合、副映像は再生されません。
・早送り・早戻し、早見再生、スロー再生、コマ送り中

BD ビデオや DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい

●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す
(本体表示窓に"00 RET"が表示されます)
② 本体表示窓に"03 VL"が表示されるまで **[▶]** を押す
③ **[決定]**を押す

プログレッシブ出力で DVD ビデオを再生時、映像が二重にぶれる

●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状です。インターレース出力にすれば問題なく再生できます。「D 端子出力解像度」**(➜121)**を「D1」にしてください。
HDMIケーブルでテレビと接続している時は、以下の手順で設定してください。
① HDMI 端子以外の映像端子で接続する
② 「HDMI 映像優先モード」**(➜ 準備編 26)**を「切」にする
③ 「D 端子出力解像度」**(➜121)**を「D1」にする

3D 映像が出力されない

●本機とテレビの設定は正しいですか。
●本機とテレビの間に接続しているアンプの電源は入っていますか。
●本機とテレビの間に 3D 非対応のアンプを接続していませんか。

3D 映像が正しく 2D 出力されない

●「3D ディスクの再生方法」**(➜116)**が「2D 再生」に設定されていますか。
●サイドバイサイド(2 画面構成)などの放送を記録した番組は、2D 再生すると 2 画面で出力されます。

ダビング

ダビングできない

- 録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で録画した番組は **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にはダビングできません。
- HDDから **-R(V)** **-RW(V)** へのダビング時、HDDの残量が少ないときはダビングできません。HDD の不要な番組を消去してください。
（使用するディスクによっては、HDD の残量が SP モードで最大 4 時間必要な場合があります）
- 市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。
- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
- 高画質（転送レート約 18 Mbps以上）の動画を、2 倍速対応以下の DVD に取り込むことはできません。

高速ダビングできない

- 以下の場合、1 倍速でのダビングになります。
  - ・「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードの番組を **BD-RE** **BD-R** にダビングする
  - ・DR モードの番組やスカパー! HD の番組を DVD にダビングする
  - ・「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HB」モードの番組を **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** にダビングする
  - ・「高速ダビング用録画」(➜116)を「切」にしてHDDに記録した番組を **-R(V)** **-RW(V)** にダビングする
  - ・部分消去を 255 回以上行った番組を **-R(V)** **-RW(V)** にダビングする
  - ・ディスクの記録容量を超えてダビングする
  - ・1080/60p（1920 × 1080/60 プログレッシブ）記録の番組をディスクにダビングする
  - ・**BD-RE** **BD-R** から「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードの番組を HDD にダビングする
  - ・**DVD-V** から HDD にダビングする

高速ダビングに時間がかかる

- ディスクの倍速対応によってダビング速度が変わります。
- 「高速ダビング速度」(➜116)の設定によってダビング速度が変わります。

高速ダビング時の動作音が大きい

- 高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、「高速ダビング速度」(➜116)を「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。

編集

番組を消去しても残量が増えない

- BD-R -R 消去しても増えません。
- -RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。途中の番組を消去しても増えません

編集できない

- HDD 残量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去してください。
- 以下のディスクの場合、編集できません。
  - ・ファイナライズ済みのディスク
  - ・AVCHD のディスク
- 本機では持ち出し番組の編集はできません。

部分消去の開始点や終了点が設定できない

- 開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。

プレイリストが作成できない

- 本機ではプレイリストの作成はできません。

写真

SD カードの内容を読めない

- 本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
- 本機に対応していない SD カードは使えません。

取り込みに時間がかかる

- ファイル数やフォルダの数が多い場合、または写真の解像度が高い場合、数時間かかることがあります。

持ち出し番組

持ち出し番組が作成できない

- ダビングができない番組は持ち出し番組を作成できません。
- HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 録画先が「HDD」以外の場合、持ち出し番組は作成できません。

持ち出し番組が転送できない

- SD カードの著作権の管理情報がいっぱいの場合、転送できません。
  管理情報を消去するためには、SD カードをフォーマットしてください。ただし、記録されている内容もすべて消去されます。

持ち出し番組が再生できない

- 本機では持ち出し番組の再生はできません。
- 高画質 (VGA) の持ち出し番組は、高画質 (VGA) に対応したモバイル機器でしか再生できません。
- 「持ち出し番組の VGA 画質」(➜117)を「モード 1 (1.5Mbps)」で記録すると再生できない場合があります。その場合は、画質を「モード 2(1.0Mbps)」に設定して、持ち出し番組を作成し直してください。

他機器との連携

CATV から予約録画ができない

●本機と CATV の設定が正しいか確認してください。
●i.LINKを使って予約録画する場合、本機の初期設定で以下の設定をしてください。
・「i.LINK 機器モード設定」(➜121):「TS モード2」
※CATVを2台以上接続すると正しく動作しません。
●Ir システムを使って予約録画する場合、CATVのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。本機の「リモコンモード」(➜ 準備編 34)は「リモコン 1」〜「リモコン 3」に設定してください
●「時間指定予約」(➜34)の場合、「放送種別 / チャンネル」を接続した端子に合わせてください。

i.LINK(TS) ダビングができない

●接続した機器が本機で対応している機器か確認してください。
●接続した機器の電源が「切」になっていませんか。
●接続した機器側で、i.LINK(TS) が動作する設定になっていますか。
●本機の初期設定で以下の設定をしてください。
・「i.LINK機器モード設定」(➜121):接続した機器に合わせる

ビデオやビデオカメラからダビングできない

●接続と接続機器の設定などを確かめてください。
●**[入力切換]**(リモコン下部)で外部機器を接続した外部入力チャンネルを選んでいますか。
●DV おまかせ取込をする場合は、本機の初期設定で以下の設定をしてください。
・「i.LINK 機器モード設定」(➜121):「DV モード」
※うまく働かない場合は、接続と DV 機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビングする」(➜82)を行ってください。

USB 機器が正しく認識しない

●本機は AVCHD 対応ビデオカメラ、SD ビデオカメラ、デジタルカメラ、携帯電話と接続することができます。それ以外の USB 機器については動作保証していません。
●USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。
●本機と接続するための設定が、接続した USB 機器側で正しく設定されていますか。接続機器の説明書をご覧ください。
●USB 機器に SD カードが正しく入っていますか。
●再生、録画またはダビング中などに、USB機器が接続された場合は、認識しないことがあります。

記録したディスクが他の機器で再生できない

●BD-R -R -RW ファイナライズしていますか。(➜111)
●AVCREC方式やVR方式のDVDの場合、再生する機器が、そのディスクの AVCREC 方式や VR 方式の再生に対応している必要があります。

ネットワーク

アクトビラなどのインターネットサービスがつながらない 動画コンテンツが見られない

- 「DNS-IP自動取得」(➜122)が「入」になっていますか。
- アクトビラなどのインターネットサービスをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。
  また、アクトビラ·ビデオ フルの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー(FTTH) のブロードバンド環境が必要です。
- ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。

ホームサーバー機能

再生できない

- 接続や設定を確認してください。
- 「機器一覧」(➜123)で、再生する機器が[許可]になっていますか。
- 再生する機器によっては、「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HB」モードの番組、スカパー! HD の番組、取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD) は再生できません。

Wooo リンク

Wooo リンクが働かない

- 本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に"HDMI"が表示されない場合は、HDMI ケーブルの接続を確認してください。
- 「Wooo リンク制御」(➜120)が「入」になっていますか。
- 接続した機器側の Wooo リンクの設定を確認してください。
- HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどに Wooo リンクが動作しなくなる場合があります。このときは、設定をやり直してください。
- 「送信に失敗しました。接続を確認してください。」のメッセージが出た場合、一度、「Wooo リンク制御」(➜120)を「切」に設定してから、もう一度「入」にしてください。

表示マーク一覧

●本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組内容画面

マーク	内容
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組
データ	データ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
コピー制限	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
信号	映像や音声などの信号切り換えできる番組
字幕	字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 （デジタルハイビジョン放送－1080i、720p） （デジタル標準テレビ放送－480p、480i）
主+副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
有料	有料放送の番組 （放送会社との契約が必要です）
20才～	視聴年齢制限がある番組 （表示される年齢は4～20才まであります）
3D	3D 映像の番組 （番組によっては、表示されない場合もあります）
デジタルXCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組

予約一覧画面

マーク	内容
録画可能	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組
番組予約	番組表を使って予約した番組
時間指定	時間指定予約で予約した番組
	録画できない場合があるときなどに表示されます。**[決定]**を押して、予約内容を確認してください。
重複	予約時間が重なっている番組
シリーズ終了	毎日·毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをおすすめします。
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組

表示	説明
検索中	時間変更追従を実行中(時間確認中)
毎週 毎日 月~土 月~金	毎日･毎週予約の番組
曜日指定	曜日指定した毎日･毎週予約のときに表示
毎週更新 毎日更新 月~土更新 月~金更新	毎日･毎週予約で自動更新をする番組(前回録画した内容に上書きして録画します)
録画済	番組表を使って毎日･毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示 HG、HX、HE、HL、HM、HB モードで録画中にDRモードに切り換えて録画した番組(電源｢切｣時に予約時の録画モードに自動変換します)
お知らせ	1ヵ月より先の番組予約です。 1ヵ月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。

表示	説明
新番組	｢新番組おまかせ録画｣で自動的に予約された番組
注目番組	注目番組一覧から予約した番組
まとめ予約	｢注目まとめ予約｣で予約した番組
LAN予約	ネットワークで接続したスカパー! HD対応のチューナーから本機に録画予約した番組
DR切換	HG、HX、HE、HL、HM、HB モードで録画中に DR モードに切り換えて録画している番組
残量不足	HDD の残量が不足していて録画できない番組
番組数FULL	HDD の番組数がいっぱいで録画できない番組
予約実行切	予約の実行が｢切｣になっている番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
COPY X中断	録画禁止信号により録画が中断された番組
代替	ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
●	録画中の番組

表示マーク一覧(つづき)

録画一覧、写真一覧、曲一覧画面

マーク	説明
	新しく録画してまだ見ていない番組
	「新番組おまかせ録画」で録画された番組
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	HDDに代替録画された番組
	録画禁止信号により録画できなかった番組
	録画した 3D 映像の番組(番組によっては、表示されない場合もあります) 取り込んだ 3D の写真
	取り込んだ 1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録の番組
	書き込み禁止(プロテクト)設定した番組や写真

マーク	説明
	HDDにダビング中の番組や、ダウンロードして視聴期限の過ぎたまたはデータが壊れているなど再生できない番組
	本機で録画したコピー制限のある番組。 数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。
	本機で録画したコピー制限のある番組。 ダビングするとダビング元の番組は消去されます。
	ダウンロードした番組でディスクへダビングできる回数が残り 1 回の番組
	ダビングできない番組
	新しく取り込んだ写真
	再生中の曲
	録画・ダウンロード中の番組

ダビング、持ち出し番組一覧画面

録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HB」で録画された番組
録画されたスカパー! HD の番組
取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD)

録画モード「DR」で録画された番組
[i.LINK(TS)ダビング時]

2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組

-R(V) -RW(V) に高速でダビングできる番組

ダビングすると移動する番組
(詳細ダビング時)

静止画を含むもの
(HDDに静止画部分はダビングされません)

録画した 3D 映像の番組
(番組によっては、表示されない場合もあります)

1080 60p

取り込んだ 1080/60p
(1920 × 1080/60 プログレッシブ)
記録の番組

10 (数字は 10~2)

本機で録画したコピー制限のある番組。数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。

(赤)

本機で録画したコピー制限のある番組。ダビングするとダビング元の番組は消去されます。

(白)

ダウンロードした番組でディスクへダビングできる回数が残り 1 回の番組

ダビングできない番組

(数字は 1~99)

ダビング登録した番組(かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。

かんたん転送するように登録されている番組

高画質 (VGA) の番組

その他の画面

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)(➜112)

番組表を使って予約された番組の番組表上での表示

メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール(既読メール)

「新番組おまかせ録画」で予約された番組の番組表上での表示

スタートボタンについて

スタート画面から本機の各機能の操作を行うことができます。
- ディスクの種類、記録状態によって、選択できる項目は異なります。

スタート を押す

- 放送メール (➜112)
- 録画した番組を見る HDD (➜45)
- 写真を見る HDD (➜87)
- 撮影ビデオを見る HDD (➜45)
- 予約する (➜24)
- ダビングする
  - かんたんダビング (➜66)
  - 詳細ダビング (➜68)
- モバイル機器へ持ち出す
  - かんたん転送 (➜95)
  - 持ち出し番組一覧 (➜95)
- アクトビラ (➜98)
- その他の機能へ
  - 予約確認 (➜35)
  - 新番組おまかせ録画 (➜31)
  - ぴったり録画 (➜23、82)
  - DVおまかせ取込 (➜83)
  - i.LINK(TS)ダビング (➜85)
  - 放送設定 (➜113)
  - 初期設定 (➜115)
  - メール/情報 (➜112)
  - USB機器
    - USB機器
    - 写真 (➜87、90)
    - 撮影ビデオ (➜80)
    - 持ち出し番組 (➜95、97)
    - 持ち出し番組のかんたん転送 (➜95)
    - 書込許可：記録できます。
    - サブメニュー 決定 戻る
- ブルーレイ (BD)/DVD
- SD カード
- 決定
- 放送視聴へ

BD-RE BD-R RAM -R -RW 挿入時
例) RAM(VR)

- 録画した番組を見る (➜45)
- プレイリストを見る (➜52)
- 写真を見る (➜87)
- 写真かんたん取込 (➜90)
- DVD管理 (➜108〜111)※

※ BD挿入時は「BD管理」表示

AVCHD 挿入時
例)DVD-RAM

- 撮影ビデオ(AVCHD)を見る (➜46)
- 写真を見る (➜87)
- 撮影ビデオ(AVCHD)を取込 (➜80)
- 写真かんたん取込 (➜90)

BD-V 挿入時

- BD-Videoを再生する (➜45)

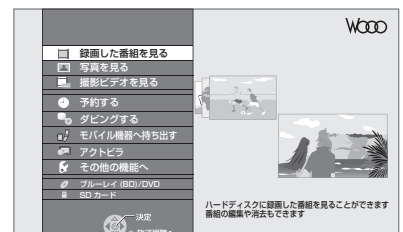
DVD-V 挿入時

- DVD-Videoを再生する (➜45)

SD 挿入時

- 持ち出した番組を確認 (➜97)
- 撮影ビデオ(AVCHD)を見る (➜46)
- 写真を見る (➜87)
- 撮影ビデオ(AVCHD)を取込 (➜80)
- 撮影ビデオ(MPEG2)を取込 (➜81)
- 写真かんたん取込 (➜90)
- カード管理 (➜109)

- 「録画した番組を見る」「撮影ビデオを見る」を選ぶと、HDD 内の未視聴で最新の 10 番組を表示します。(ダウンロードした番組や「1 回だけ録画可能」な番組を除く)
  ・番組数が 10 未満の場合は、サンプルの画像を表示します。
  ・同時操作中は、サンプルの画像の動きが遅くなる場合があります。

用語解説

Ⓐ AAC (Advanced Audio Coding)

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD

高精細なハイビジョン映像を 8 cmDVD 記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット(規格)の名称です。

Ⓑ BD - J

BDビデオには、JAVAアプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションはBD-Jと呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

Ⓒ CPRM (Content Protection for Recordable Media)

デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術のことです。コピー制御信号が加えられた番組は、CPRM に対応した機器とディスクに記録できます。

Ⓓ D映像端子

コンポーネント(色差)ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

Deep Color

8bit以上の色情報を扱える高色域規格の1つです。Deep Color 対応のテレビに接続することで、映像を 8bit 以上の高階調表示に変換して表示します。

DLNA (Digital Living Network Alliance)

ホームネットワーク環境に接続したデジタル機器同士などを連携させて、かんたんに、便利に使用するための技術です。

Dolby Digital

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2 ch)はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

Dolby Digital Plus

ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大 7.1ch まで対応しています。

Dolby TrueHD

DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

DTS (Digital Theater Systems)

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

DTS - HD

映画館で採用されているDTSをさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来のAV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

H

HDD(ハードディスクドライブ)

パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つです。表面に磁性体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

エイチディーエムアイ
HDMI
ハイ デフィニション　マルチメディア　インターフェイス
(High-Definition Multimedia Interface)

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声･映像信号を伝送することができます。

I

アイ リンク
i.LINK

i.LINK端子を持つ機器間で映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。
i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。

J

ジェイペグ
JPEG
ジョイント　フォトグラフィック　エキスパーツ　グループ
(Joint Photographic Experts Group)

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L

エルピーシーエム　ビーシーエム
LPCM(リニアPCM)

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

M

マック
MACアドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

エムペグツー　エムペグフォー エーブイシー　エイチ
MPEG-2、MPEG-4 AVC / H.264

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

P

ピーシーエム
PCM
パルス　コード　モジュレーション
(Pulse Code Modulation)

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つで、手軽にデジタル音声が楽しめます。

Q

キューブイジーエー
QVGA
クォーター　ビデオ　グラフィックス　アレイ
(Quarter Video Graphics Array)

画面の解像度(本機では320 × 180)を示す表記の1つです。

U

ユーエスビー
USB
ユニバーサル　シリアル　バス
(Universal Serial Bus)

周辺機器を接続するためのインターフェース規格です。

V

ブイビーアール
VBR
ヴァリアブル　ビット　レート
(Variable Bit Rate)

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

ブイジーエー
VGA
ビデオ　グラフィックス　アレイ
(Video Graphics Array)

画面の解像度(本機では640 × 360)を示す表記の1つです。

1 1080p、1080i、720p、480p、480i
映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は 1 コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。
有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i=飛び越し走査）は、1 行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p= 順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080p、1080i、720p、480p、480iの表示は総走査線数にあたる 1125p、1125i、750p、525p、525i と表示されることもあります。

2 24p
毎秒 24 フレーム（映画フィルムと同じ）で記録したプログレッシブ映像です。

タ ダウンミックス
サラウンドの音声を 2 チャンネルなどに混合することです。

ハ ファイナライズ
番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

フォーマット
記録前のDVD-RAMなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

プログレッシブ (p) / インターレース (i)
インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の 2 回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を1回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

ワ ワンセグ
ワンセグ（地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス）とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。放送内容は基本的に地上デジタル放送の通常の番組と同じですが、屋外を移動しながらでも映像と音声を楽しむことができます。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源　AC 100 V、50/60 Hz
消費電力　動作時：約 23 W

待機時（クイックスタート「切」）：
時刻表示点灯時・約 0.3 W※1
時刻表示消灯時・約 0.05 W※1

待機時（クイックスタート「入」）：
時刻表示点灯時・約 4.9 W※1※2
時刻表示消灯時・約 4.8 W※1※2

※1 ・地上デジタルアッテネーター：「オン」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源：「オフ」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力：「オフ」
・外部接続端子（LAN、USB、DV）：未接続
※2 ・HDMI 出力解像度：1080i
待機時（電源切時）でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力	
区分名※3	―
年間消費電力量※4	26.3 kWh/ 年
省エネ基準達成率※3	―

※3　ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分 / 省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。
※4　表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です。

本体

寸法	幅 430 mm×高さ 49 mm×奥行 199 mm（突起部含まず） 幅 430 mm×高さ 49 mm×奥行 209 mm（突起部含む）
本体質量	約 2.7 kg
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%～80%RH（結露なきこと）
時計	クォーツ制御、24時間、デジタル表示

テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式、有効走査線数 480本、60フィールド デジタルハイビジョン： 地上デジタル放送方式（日本）、 衛星デジタル放送方式（日本）
アンテナ受信入力	**地上デジタル入力** 90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω （VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH） **BS・110度CSデジタル -IF 入力** 1032 MHz～2071 MHz（IF入力周波数）75 Ω 電源供給：DC 15 V、最大4 W

入出力端子（映像・音声を除く）

DV入力/ TS入出力端子	4ピン：1系統（IEEE1394準拠） 端子は背面 1 装備
SDメモリー カードスロット	1系統
LAN端子	1系統（10BASE-T/100BASE-TX）
USB 端子	前面 1 系統 （DC 5 V　MAX 500 mA）

映像

記録圧縮方式	MPEG-2（Hybrid VBR） MPEG-4 AVC/H.264
映像入力	**入力端子**　：1 系統（ピンジャック） **入力レベル**　：1.0 Vp-p　75 Ω
S映像入力	**入力端子**　：1 系統 **Y入力レベル**：1.0 Vp-p　75 Ω **C入力レベル**：0.286 Vp-p　75 Ω
映像出力	**出力端子**　：1系統（ピンジャック） **出力レベル**　：1.0 Vp-p　75 Ω
S映像出力	**出力端子**　：1系統 **Y出力レベル**：1.0 Vp-p　75 Ω **C出力レベル**：0.286 Vp-p　75 Ω
D端子映像出力 (D1/D2/ D3/D4端子)	**出力端子**　：1系統 （480i/480p/1080i/720p） **Y出力レベル**：1.0 Vp-p　75 Ω **CB/PB出力レベル**：0.7 Vp-p　75 Ω **CR/PR出力レベル**：0.7 Vp-p　75 Ω
HDMI 映像・音声出力	**出力端子**： 1 系統 （19ピン typeA端子） HDMI [本機はWoooリンクに対応しています] （480p/1080i/720p/1080p）

音声

記録・再生 圧縮方式	●MPEG-2 AAC （DR、HG、HX、HE、HL、HM、HBモード・デジタル放送記録時）： 最大 5.1ch 記録 ●Dolby Digital （XP、SP、LP、EP、FR モード）： 2ch記録 ●リニアPCM （XPモードのみ切り換え可）： 2ch記録
アナログ入力	**入力端子**　：2ch入力 1 系統（ピンジャック） **基準入力**　：309 mVrms **入力レベル：** FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB） 入力インピーダンス　：22 kΩ
アナログ出力	**出力端子**　：2ch出力 1 系統（ピンジャック） **基準出力**　：309 mVrms **出力レベル：** FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB） 出力インピーダンス：　1 kΩ （負荷インピーダンス：　10 kΩ）
チャンネル数	**記録**：2ch（デジタル放送記録時：最大5.1ch） **再生**：2ch HDMI 出力：最大 7.1ch 光デジタル出力：最大 5.1ch （Bitstream）
デジタル出力	**光デジタル音声出力端子**：1 系統 （PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応） **HDMI 映像・音声出力端子**： 1 系統 （PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応） （Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio 対応、対応アンプに接続時のみ Bitstream 出力可能）

仕様(つづき)

HDD/BD部

内蔵HDD容量	500 GB
記録可能なディスク[※5]	●BD-RE (25 GB:片面1層/50 GB:片面2層) 1-2X SPEED(Ver.2.1 準拠) (1X SPEED Ver.1.0は非対応) (100 GB:片面3層) 2X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●BD-R (25 GB:片面1層/50 GB:片面2層) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 1-6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 1-2X SPEED LTH type [(Ver.1.2 準拠)(25 GB:片面1層のみ)] 1-4X SPEED LTH type [(Ver.1.3 準拠)(25 GB:片面1層のみ)] 1-6X SPEED LTH type [(Ver.1.3 準拠)(25 GB:片面1層のみ)] (100 GB:片面3層 /128 GB:片面4層[※6]) 2-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) ●DVD-RAM[※7]: 2X SPEED(Ver.2.0 準拠) 2-3X SPEED(Ver.2.1 準拠) 2-5X SPEED(Ver.2.2 準拠) ●DVD-R: 1X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-8X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-16X SPEED(Ver.2.1 準拠) ●DVD-R DL: 2-4X SPEED(Ver.3.0 準拠) 2-8X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●DVD-RW: 1X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 2-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 2-6X SPEED(Ver.1.2 準拠)
リージョンコード	DVD :#2 BD :Region A
再生可能なディスク	●BD-RE(25 GB:片面1層) ●BD-RE(50 GB:片面2層) ●BD-RE(100 GB:片面3層) ●BD-R(25 GB:片面1層) ●BD-R(50 GB:片面2層) ●BD-R(100 GB:片面3層) ●BD-R(128 GB:片面4層[※6]) ●BD-Video (Blu-ray 3D、BD-Live 対応) ●DVD-RAM[※7]: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠[※8]、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠[※8]、 AVCREC 規格準拠[※8] ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠[※8]、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠[※8] ●+R、+R DL(片面2層)、+RW: DVDビデオ規格準拠[※8]、 AVCHD 規格準拠[※8] ●DVD-Video:DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW: CD-DA、JPEGフォーマット記録ディスク

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード[※9※10※11]
対応フォーマット	SD カード: FAT12/FAT16 SDHC カード: FAT32 SDXC カード: exFAT

USB部

バージョン	ハイスピード USB(USB2.0 準拠)
対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32

写真

画像ファイル形式	JPEGベースライン形式
画素数	34×34～8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
解凍時間※12	約2秒(1010万画素)
記録 / 再生可能メディア	HDD、BD-RE、DVD-RAM、SD カード
再生のみ可能メディア	BD-R、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB
ファイル方式	●JPEG: ベースライン方式(DCF 準拠) ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ) ・MOTION JPEG 非対応 ●MPO: マルチピクチャーフォーマット(MPF準拠) ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
フォルダ数	BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB:最大 500※13
ファイル数	HDD :最大 20000 BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB:最大 10000※14
CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW	●ISO9660 level1と2(拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応 ●マルチセッション対応 ●パケットライト方式非対応

DCF 準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。

DCF:Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

※5 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。

※6 2011 年 2 月現在、BD-R(128 GB: 片面 4 層)は発売されていません。

※7 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。

※8 他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

※9 使用可能容量は少なくなることがあります。

※10 SDHCメモリーカード、SDXC メモリーカードを含む。

※11 miniタイプ、microタイプのSDカードを含む。(専用のアダプター装着時)

※12 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

※13 最大フォルダ数:ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数(ルートもフォルダとして数える)

※14 最大ファイル数:ディスク1枚に対し、本機で対応している最大ファイル数(JPEG と MPO のファイル合計)

MPEG-2 動画

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠
圧縮方式	MPEG-2

AVCHD 動画

ファイル形式	AVCHD規格準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

持ち出し動画

ファイル形式/画質	SD VIDEO 規格(ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠 / 320 × 180 15 fps(412 kbps) SD VIDEO 規格(H.264 Mobile Video Profile) 準拠 / 640 × 360 30 fps(1.5 Mbps、1.0 Mbps)
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

予約可能番組数

128（予約可能期間：１年間）

持ち出し番組の記録可能時間の目安

SD カード ＼ 画質	ワンセグ (412 kbps)	VGA(1.0 Mbps)	VGA(1.5 Mbps)
128 MB	約 41 分	約 14 分	約 10 分
256 MB	約 1 時間 20 分	約 29 分	約 20 分
512 MB	約 2 時間 39 分	約 58 分	約 40 分
1 GB	約 5 時間 20 分	約 1 時間 56 分	約 1 時間 20 分
2 GB	約 10 時間 51 分	約 3 時間 57 分	約 2 時間 44 分
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
8 GB	約 43 時間 24 分	約 15 時間 50 分	約 10 時間 58 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
32 GB	約 175 時間 12 分	約 63 時間 57 分	約 44 時間 19 分
48 GB	約 257 時間 32 分	約 94 時間	約 65 時間 9 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

●**最大番組数**：99 [ハイビジョン動画（AVCHD）以外の動画を含む]

録画モードと記録時間の目安

録画モード ＼ ディスク				内蔵HDD (500 GB)	BD-R 25 GB (片面１層)	BD-R 50 GB (片面２層)	BD-R 100 GB (片面３層)	BD-R 128 GB (片面４層)※15
放送画質	DR	BSデジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 45 時間	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 11 時間 10 分
放送画質	DR	BSデジタル	SD放送 (≦12 Mbps)	約 90 時間	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 22 時間 20 分
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 63 時間	約 3 時間	約 6 時間	約 12 時間	約 15 時間 30 分
ハイビジョン画質	HG			約 80 時間	約 4 時間	約 8 時間	約 16 時間	約 20 時間 30 分
ハイビジョン画質	HX			約 126 時間	約 6 時間	約 12 時間	約 24 時間	約 30 時間 50 分
ハイビジョン画質	HE			約 189 時間	約 9 時間	約 18 時間	約 36 時間	約 46 時間 10 分
ハイビジョン画質	HL			約 252 時間	約 12 時間	約 24時間	約 48時間	約 62時間
ハイビジョン画質	HM			約 360 時間	約 17 時間 20 分	約 35 時間	約 70 時間	約 90 時間
ハイビジョン画質	HB			約 562 時間 30 分	約 27 時間 5 分	約 54 時間 10 分	約 108 時間 20 分	約 139 時間 35 分
標準画質	XP			約 110 時間	約 5 時間 15 分	約 10 時間 30 分	約 21 時間	約 27 時間
標準画質	SP			約222時間	約 10 時間 30 分	約 21 時間	約 42時間	約 54時間
標準画質	LP			約442時間	約 21 時間	約 42時間	約 84時間	約 107 時間 40 分
標準画質	EP			約887時間 (約 665 時間)	約42 時間 (約31時間 30 分)	約84 時間 (約63 時間)	約 168 時間 (約126 時間)	約215時間 10 分 (約161時間 30 分)

録画モード ＼ ディスク				BD-RE 25 GB (片面１層)	BD-RE 50 GB (片面２層)	BD-RE 100 GB (片面３層)
放送画質	DR	BSデジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分
放送画質	DR	BSデジタル	SD放送 (≦12 Mbps)	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 17 時間 20 分
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 3 時間	約 6 時間	約 12 時間
ハイビジョン画質	HG			約 4 時間	約 8 時間	約 16 時間
ハイビジョン画質	HX			約 6 時間	約 12 時間	約 24 時間
ハイビジョン画質	HE			約 9 時間	約 18 時間	約 36 時間
ハイビジョン画質	HL			約 12 時間	約 24時間	約 48時間
ハイビジョン画質	HM			約 17 時間 20 分	約 35 時間	約 70 時間
ハイビジョン画質	HB			約 27 時間 5 分	約 54 時間 10 分	約 108 時間 20 分
標準画質	XP			約 5 時間 15 分	約 10 時間 30 分	約 21 時間
標準画質	SP			約 10 時間 30 分	約 21 時間	約 42時間
標準画質	LP			約 21 時間	約 42時間	約 84時間
標準画質	EP			約42 時間 (約31時間 30 分)	約84 時間 (約63 時間)	約 168 時間 (約126 時間)

※ 15　2011 年 2 月現在、BD-R(128 GB: 片面 4 層)は発売されていません。

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM 4.7 GB(片面)	DVD-RAM 9.4 GB(両面)	DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
ハイビジョン画質	HG	約 42 分	約 1 時間 24 分	約 42 分	約 1 時間 20 分	—
	HX	約 1 時間 5 分	約 2 時間 10 分	約 1 時間 5 分	約 2 時間	
	HE	約 1 時間 40 分	約 3 時間 20 分	約 1 時間 40 分	約 3 時間	
	HL	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分	約4時間 10 分	
	HM	約 3 時間 15 分	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分	約 6 時間	
	HB	約5時間	約 10時間	約5時間	約9時間30分	
標準画質	XP	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分	約4時間
	EP	約8時間 (約6時間)	約16時間 (約12時間)	約8時間 (約6時間)	約14時間20分 (約10時間45分)	約8時間 (約6時間)

お知らせ

- HDD 持ち出し番組や写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
- EPモードは「 EP 時の記録時間」(➔116)の設定で時間は異なります。[()内の時間は EP(6 時間)のとき]
  ・「6 時間」の方が高音質です。
  ・RAM(VR) 他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6 時間)モードで記録してください。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。(HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) では、特にその差が著しくなります)
- DR モードの録画時間は放送(転送レート)によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない(ビットレートの低い)番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

記録できる最大番組数 (使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

- HDD :3000(持ち出し番組を含む)(長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) :200
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V) :99

スカパー! HD の番組の記録時間の目安

番組＼内蔵HDD	500 GB
スカパー! HD の ハイビジョン画質の番組	約 116 時間 (約 63 ～ 146 時間)
スカパー! HD の 標準画質の番組	約 199 時間 (約 126 ～ 383 時間)

- 録画する番組によって記録できる時間は変動します。( )は変動する記録時間の目安です。

最大チャプターマーク数

(記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

- HDD :
  1番組あたり約 999 個
- BD-RE ※16 BD-R ※16
  RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) :
  ディスクあたり約 999 個
  ※ 16　BDXL は約 20000 個
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) :
  1 番組あたり約 100 個

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD、DTS-HD Master Audio ｜ Essential 及び DTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。 © DTS, Inc. 不許複製。
- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は商標です。
- DLNA(R)、DLNA ロゴ、DLNA CERTIFIED(R) は、Digital Living Network Alliance の商標または認証マークです。
- スカパー! および「スカパー! HD 録画 ™」ロゴは、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画(以下、AVC/VC-1 ビデオ)を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[スタート] ボタンを押し、“その他の機能へ”→“メール／情報”→“ID表示”→“ソフト情報表示”をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は 2011 年 2 月現在のデジタル放送規格の運用条件(著作権保護内容)に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体に変形や破損した部分がある

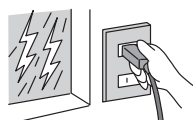
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

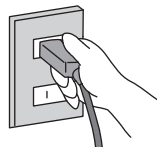
- ●電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- ●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- ●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

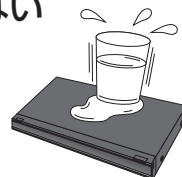
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

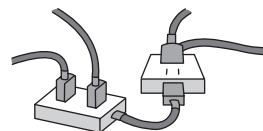
分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

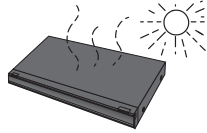
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

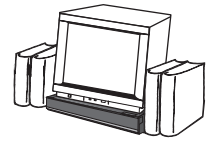
そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠注意

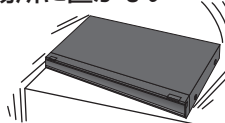
異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

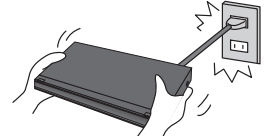
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災·感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災·故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災·感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置·工事は販売店にご相談ください。

⚠注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

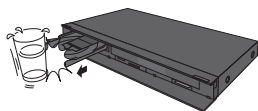
長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。
- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
- 適度な休憩をとってください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

さくいん

英数字　ページ

あ 行

ページ

か 行

ページ

さ 行　ページ

た 行　ページ

な 行　ページ

さくいん(つづき)

は 行 ページ

ま 行 ページ

や 行 ページ

ら 行 ページ

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

- 持込修理および部品購入については、下記エコーセンターまたはお客様相談センターにて、各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

修理などアフターサービスに関する
ご相談はエコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

受付時間　9：00～19：00（365日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについての
ご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

受付時間　9：00～17：30（月～土）
　　　　　9：00～17：00（日、祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

保証とアフターサービス（必ずご覧ください）

修理を依頼されるときは（出張修理）

「故障かな!？」に従って調べていただき、異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載されたお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ブルーレイディスクレコーダー
形名	DVL-BRT11
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	※付近の目印などもあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	

修理料金のしくみ

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。ブルーレイディスクレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（録画内容などの補償）の責について、当社は一切責任を負いません。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　**長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止　事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ　おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	販売店名	電話（　　）　－
形名	DVL-BRT11		
B-CASカード番号	B-CASカード番号を記入してください。お問い合わせのときに必要な場合があります。		

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814　東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL (03) 3260-9611　FAX (03) 3260-9739

TSBRT601
VQT3M68
Printed in China